PUB. DIJ-0455-000C

Canon

4K ビデオカメラ

XC15

使用説明書

Firmware ver. 1.0.1.0

4K XF-AVC HDMI Wi Fi CERTIFIED

本機の特長

XC15は、4K対応の1.0型単板CMOSセンサーを搭載。有効画素数は約1200万画素（4000 x 3000）。記録メディアにCFastカードとSDカードを採用し、4K映像の制作に適した機動性に優れる4Kビデオカメラです。

高画質4K記録システム

1.0型単板CMOSと高画質映像処理プラットフォーム「DIGIC DV 5」を搭載

1.0型単板CMOSセンサーと映像処理プラットフォームDIGIC DV 5の組み合わせにより、低照度でも明るく、ノイズの少ない動画や静止画の撮影が可能です。

XF-AVCビデオフォーマットを採用

4K動画記録にはXF-AVC Intra Frame*を、HD動画記録にはXF-AVC Long GOPを採用。
4K動画記録時には最大305Mbpsのビットレートで撮影が可能です。

* 1フレームごとに圧縮する方式。カット編集やフレームの切り出しに適している。

本格的な静止画カメラ

有効画素数約1200万画素の高画質で静止画を記録。ルック設定（🕮 83）で、本格的な静止画を撮影できます。
また、記録した4K動画から静止画を切り取ることもできます（4K フレームキャプチャー）（🕮 135）。

優れた操作性と汎用性

機動力を発揮する小型ボディ

映像表現の可能性を広げるCINEMA EOS SYSTEMシリーズのサブカメラとして、高性能を小型・軽量ボディに凝縮。機動力が求められる現場で活躍します。付属のマイクロホンアダプター MA-400を装着することで、マイクまたはラインをバランス入力できます。

プロの操作性を追求した撮影操作系

フォーカスリング、ズームリングを独立して操作可能。こだわりのマニュアル撮影が可能。 また、グリップは最大90°まで回転できます。チルト可能な液晶画面（3.0型　約103万ドット）を搭載することで、ハイアングルやローアングルなどの多彩なアングルからの撮影が可能です。また、誤操作防止のロック機構を備えたモードダイヤルを搭載。絞りやシャッター、感度（ISO/ゲイン）を任意に合わせて設定したり、撮影シーンに合わせて設定を変えるなど、さまざまな撮影ができます。

CFastカードに4K動画を、SDカードにHD動画を記録可能

記録メディアにはCFastカードとSDカードを採用。CFastカードとSDカードの2つのスロットを搭載し、4K動画はCFastカードに、HD動画と静止画はSDカードに分けて記録できます。

Canon XF Utility

4K動画とHD動画は、Canon XF Utilityで再生・管理可能。

制作意図に応える多彩な表現力

さまざまな映像表現が可能な記録機能（🕮 113、115、116）

スロー＆ファストモーション記録では、撮影フレームレートを変更することにより、最低1/4倍速のスローモーション撮影や最大1200倍速のファストモーション撮影ができます。また、間隔を空けて静止画を記録するインターバル記録では、時間の経過に伴う変化を表現できます。
プレ記録では撮影開始時点の約5秒前から記録することで、撮り逃がしを防ぎます。
さらに、3段分のNDフィルター（ND8）を内蔵していますので、狙い通りの被写界深度で撮影できます。

映像表現にあわせて、多彩な画づくりを実現するルック設定（📖 83）
動画と静止画それぞれに多彩なルックを搭載。動画では、Cinema EOSの「カラーマトリクス」同等の画質設定をルックとして搭載。シャープネス、コントラスト、色の濃さなど、詳細な画質調整が可能です。さらに、あらかじめプリセットされたルックを使って撮影したり、プリセットのルックをベースとして、好みに合わせて調整するなど、自由な画づくりが実現できます。

業務用途に対応する柔軟性

Wi-Fiによるネットワーク機能（📖 148）
5 GHz帯、2.4 GHz帯に対応するWi-Fiを内蔵。ネットワーク機器からリモート撮影するブラウザーリモートや、撮影した静止画をネットワーク機器のブラウザーで再生／保存するブラウザープレビュー、撮影した静止画をパソコンなどで再生するメディアサーバーを使用できます。

タイムコード生成と重畳出力（📖 98、100）
内蔵のタイムコードジェネレーターでタイムコードを生成できます。生成したタイムコードは、映像とともに記録メディアに記録されるほか、HDMI OUT端子に出力される映像にも重畳されます。また、HDMI出力にユーザービットを重畳することもできます。

使いやすさを向上させるさまざまな機能

- 11種類の機能から使用頻度の高いものを3つのアサインボタンに割り当て可能（📖 124）。また、撮影時に設定する設定項目（FUNC.メニュー）を左右に配置。ルックやセルフタイマーなど撮影前に設定する機能と、絞りやシャッターなど撮影中に設定する機能を分けて配置（📖 123、168）。
- 4K動画再生中に、4Kの動画からHD動画を切り出して拡大再生が可能（📖 135）。
- 撮影をアシストする、ピーキング、拡大、マーカー、ゼブラパターン、波形モニターなどの表示機能。
- マニュアルフォーカス時、ボタンを押している間だけ、AF動作となるPUSH AF（プッシュ AF）（📖 92）。
- FUNC.メニューやメニュー設定をSDカードに保存／読み出しでき、複数のXC15と設定を共有可能（📖 126）。
- 明るい屋外撮影時などに適したファインダーユニットを同梱。液晶画面のチルト操作に連動し、ローアングル撮影にも対応。ファインダーユニット装着時には、ジョイスティックで本体を操作できます。
- 映像にGPS情報を付加するGPSレシーバーGP-E2（別売）に対応。

Contents

本機の特長 2
本書の読みかた 8

はじめに

商品を確認する 10
各部の名称 11
本体の名称 11
マイクロホンアダプター　MA-400の名称 16
ファインダーユニットの名称 17

準　備

バッテリーを充電する 19
バッテリーを充電する 19
カメラを準備する 22
レンズフードを取り付ける 22
ファインダーユニットを使う 22
マイクロホンアダプター　MA-400を取り付ける 25
液晶画面 28
グリップを使う 29
ショルダーストラップを取り付ける 30
本体を三脚に取り付ける 30
カメラを操作する 31
動画撮影または静止画撮影を切り換える 31
撮影モードを切り換える 32
タッチパネルで操作する 33
MENU（メニュー）ボタン／ジョイスティックで操作する 35
日時を設定する 36
FUNC. メニュー／メニューの設定を変える 37
FUNC. メニューの設定を変える 37
メニューの設定を変える 39
記録メディアを準備する 41
使用可能なメモリーカード 41
CFastカードを入れる 42
CFastカードを取り出す 43
SDカードを入れる／出す 44
初期化する 45
クリップを修復する 46
リモート撮影をする 47
リモコンを使う 47

撮　影

動画や静止画を撮影する 50
準備する 50
撮影の基本操作 51
クリップファイル名を設定する 53
動画カメラモード撮影中に静止画を記録する 55
静止画のサイズを選ぶ 55
ドライブモードを選択する 56
ブラウザーリモートで撮影する 57
撮影時の画面表示 58
冷却ファンの動作方法を選ぶ 61
映像の信号形式を選ぶ 63
4K撮影またはHD撮影を設定する 63
システム周波数を設定する 63
録画モードを設定する 64
撮影モードを切り換える 65
M（マニュアル露出） 65
Av（絞り優先AE） 69

Tv（シャッター優先AE）..... 70
P（プログラムAE）..... 71
AUTO（オートモード）..... 71
SCN（シーンモード）..... 72
ISO感度やゲインのリミットを設定する（オートISOリミット／ AGCリミット）..... 74
設定可能な値..... 75
明るさを調整する..... 76
露出を固定する（EXPロック）..... 76
タッチした被写体に自動的に露出を合わせる（タッチ露出）..... 77
露出を調整する（AEシフト）..... 78
明るさの調整のしかたを選ぶ（測光方式）..... 79
ホワイトバランスを調整する..... 80
ホワイトバランスを選ぶ..... 80
好みの画質にする（ルック）..... 83
ルックを設定する..... 84
ズームを操作する..... 85
ズームリングで操作する..... 85
フォーカスを調整する..... 86
オートフォーカス（AF）で調整する..... 86
マニュアルフォーカスで調整する..... 88
PUSH AF（プッシュ AF）で調整する..... 92
顔を検出してフォーカスを合わせる（フェイスキャッチ＆追尾）..... 92
手ブレ補正を使う..... 94
手ブレ補正を設定する..... 94
望遠撮影時の大きな手ブレを抑える（パワードIS）..... 94
マーカー／ゼブラパターンを表示する..... 95
マーカーを表示する..... 95
ゼブラパターンを表示する..... 96
波形モニターを表示する..... 97
タイムコードを設定する..... 98
カウントアップ方式を選ぶ..... 98
ドロップフレーム／ノンドロップフレームを切り換える..... 99
ユーザービットを設定する..... 100
任意の16進数を設定する..... 100
時刻または日付を設定する..... 100
ユーザービットを出力する..... 100
音声を記録する..... 101
外部マイク／外部ライン入力を本機に接続する..... 102
内蔵マイク／外部マイク（Φ3.5mm）の音声を選択する..... 103
外部マイク（INPUT端子）／外部ライン入力（INPUT端子）の音声を選択する..... 104
INPUT端子の録音レベルを調整する..... 105
市販のマイクを使う..... 107
マイクレベルを調整する..... 107
外部マイクにアッテネーターを使う..... 108
MICローカットを使う..... 109
内蔵マイクのアッテネーターを使う..... 109
内蔵マイクローカットを使う..... 110
内蔵マイクの感度を変更する..... 110
ヘッドホンでモニターする..... 111
カラーバー／テストトーンを記録する..... 112
カラーバーを記録する..... 112
テストトーンを記録する..... 112
スロー＆ファストモーション記録を行う..... 113
設定する..... 113
スロー＆ファストモーション記録モードで撮影する..... 113
プレ記録を行う..... 115
インターバル記録を行う..... 116
セルフタイマー..... 117
GPS情報を記録する..... 118
GPSレシーバーを接続する..... 118
ポジションを検出する..... 120
縦横自動回転..... 121

カスタマイズ

FUNC. メニューをカスタマイズする 123
アサインボタンの機能を変更する 124
機能を変更する 125
アサインボタンに割り当てた機能を使う 125
設定データの保存と読み出し 126
設定データをSDカードに保存する 126
設定データをSDカードから読み込む 126

再　生

クリップや静止画を再生する 128
再生インデックス画面 128
再生する 129
カメラモードと再生モードの切り換えについて 130
再生時の画面表示 131
クリップの詳細情報を表示する 134
4KクリップからHDクリップの切り出し再生を行う 135
記録したクリップから静止画を切り取る（4Kフレームキャプチャー／あとからフォト） 135
静止画を拡大して見る 136
クリップや静止画を消去する 138
クリップや静止画を選んで消す 138
再生一時停止中のクリップを消去する 139
再生中の静止画を消す 139

接　続

出力信号形式 142
動画カメラモード時の記録信号形式と出力信号形式 142
再生モードの出力信号形式 143
音声出力を選択する 144
外部モニターを接続する 145
接続のしかた 145
クリップをパソコンに保存する 146
クリップをパソコンに保存する 146

ネットワーク

ネットワークの接続設定をする 148
Wi-Fiで接続する 149
ネットワーク接続設定を表示／変更する 154
文字入力のしかた 157
ネットワーク機器でリモート撮影する（ブラウザーリモート） 158
リモート設定を行う 158
ブラウザーリモートを起動する 159
Webブラウザーで再生／保存する（ブラウザープレビュー） 164
パソコンなどで見る（メディアサーバー） 166

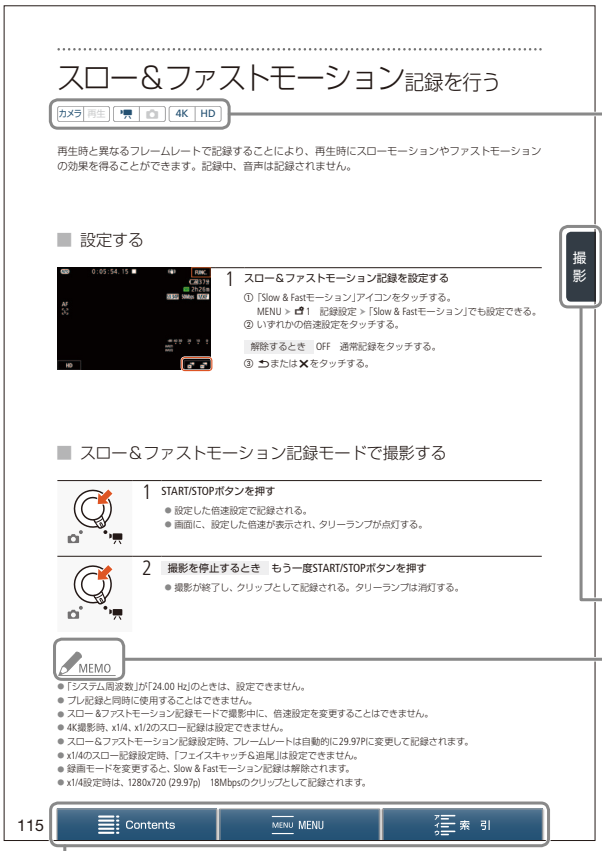
メニュー

FUNC. メニュー一覧 168
各撮影モードで使える機能一覧 168
FUNC. メニューの設定項目 169
メニュー一覧 171
メニューの設定項目 171

その他

トラブルシューティング 181
電源 181
撮影中 181
再生中 182
表示やランプ 182
画面や音 184
アクセサリー 184
他機 185
ネットワーク接続 186
エラーメッセージ 188
Wi-Fi 機能使用時 190
安全上のご注意 192
取り扱い上のご注意 194
ビデオカメラ本体 194
バッテリー 195
メモリーカード 196
充電式内蔵電池 196
その他のご注意 197
ボタン型リチウム電池（CR2032） 197
日常のお手入れ 198
ビデオカメラ本体を清掃する 198
ファインダーユニットについて 198
アクセサリー紹介 199
主な仕様 200
XC15本体 200
付属ユニット 202
付属品 202
静止画の記録可能枚数の目安 203
バッテリーの充電時間／使用時間の目安 203
索引 205
保証書と修理対応 208
修理について 209

本書の読みかた



カメラ 再生 カメラモード (📖 31、51)にする
カメラ 再生 再生モード (📖 128)にする
カメラ 再生 カメラモードか再生モードにする

動画／静止画切り換えレバーの (📖 31) 位置を示すマーク

動画にする
静止画にする
動画か静止画にする

対応する録画モード (📖 63)

4K HD 4K録画モードで使用可能。
4K HD HD録画モードで使用可能。
4K HD 4K録画モードまたはHD録画モードで使用可能。

各章の最初のページにジャンプ。

コラムのマーク

ご注意 必ず守っていただきたいこと
MEMO 知っておいていただきたいこと

Contents Contents (目次)にジャンプ。
MENU MENU 「メニューの紹介」(📖 167)にジャンプ。
索 引 索引にジャンプ。

本文中の表記

📖	参照ページを示す
参考 ▶▶	参考になるページなどを示す
画面	ファインダーユニットの画面、または液晶画面のこと
SDカード	SD / SDHC / SDXCメモリーカードのこと
メモリーカード	CFastカードまたはSDカードのこと
カメラモード	動画撮影モードや静止画撮影モードのこと。機能によっては、動画カメラモード、静止画カメラモード、と表記しています。

- 本書で使用している作例写真はスチルカメラで撮影したものです。
- 本書では、見やすくするために加工した画面を一部使用しています。

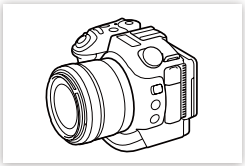
1 はじめに

商品を確認する 10

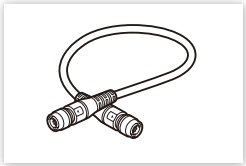
各部の名称 11

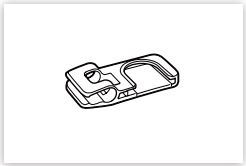
商品を確認する

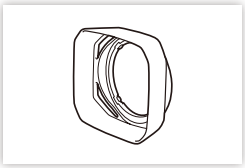
XC15には、次のものが付属しています。ご使用になる前に足りないものはないか確認してください。

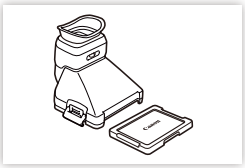

ビデオカメラ本体

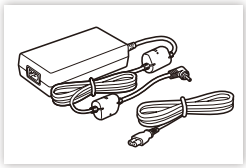
マイクロホンアダプター
MA-400

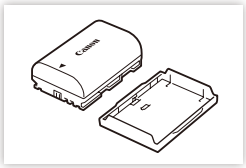

ユニットケーブル
UN-5

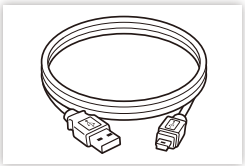

ケーブルクランプ

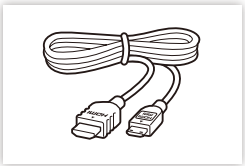

レンズフード

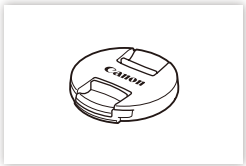

ファインダーユニット
（ファインダーユニットカバー付き）

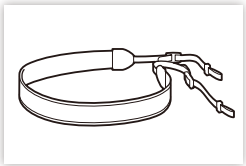

ACアダプター
CA-946

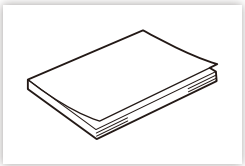

バッテリーパック LP-E6N
（保護カバー付き）


インターフェースケーブル
IFC-300PCU/S（USBケーブル）


ハイスピードHDMIケーブル
HTC-100/S


レンズキャップ


ショルダーストラップ


クイックガイド

使う前に知っておいてください

必ずためし撮りをしてください

事前に、4K動画（CFastカード）では、「4K録画モード」の「29.97P / 305 Mbps」または「23.98P / 305 Mbps」で約5分間、HD動画（SDカード）では「HD録画モード」の「59.94P / 50 Mbps」で約15分間試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。万一、ビデオカメラが正常に動作しないときは、「トラブルシューティング」（181）をご確認ください。

記録内容の補償はできません

ビデオカメラや記録メディアなどの不具合により、記録や再生ができなかった場合であっても、記録内容の補償はご容赦ください。

著作権にご注意ください

録画・録音したビデオは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

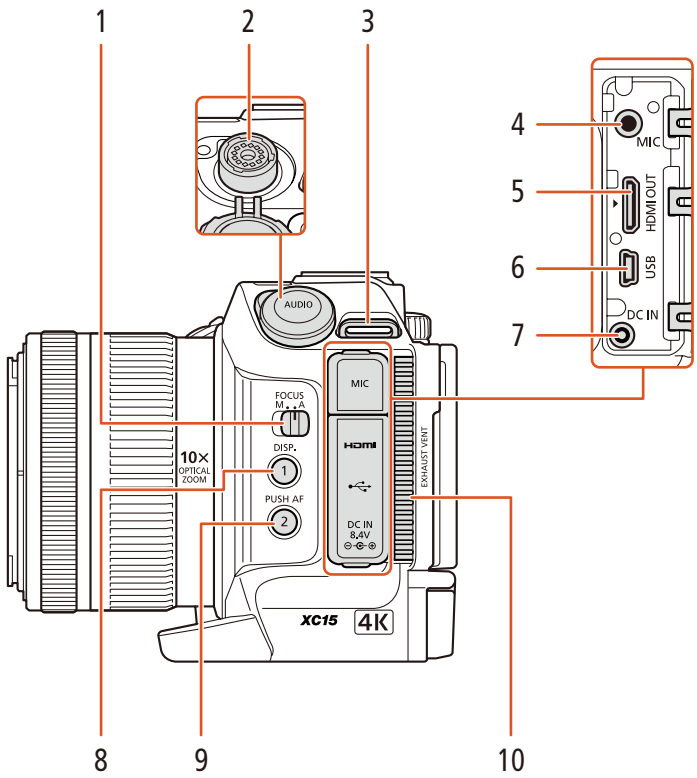
液晶画面について

液晶画面は、非常に精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、黒い点があらわれたり、赤や青、緑の点が常時点灯することがあります。これは、故障ではありません。なお、これらの点は記録されません。

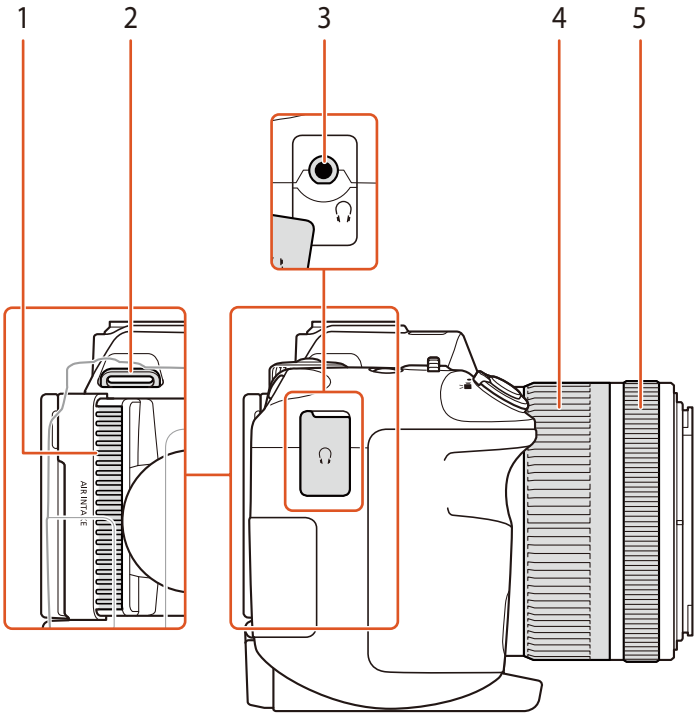
各部の名称

各部の機能と使いかたについては、▶▶🕮に記載されているページをご覧ください。

■ 本体の名称



1 **FOCUS**(フォーカス)スイッチ ▶▶ 🕮 86
2 **AUDIO**(オーディオ)端子 ▶▶ 🕮 25
3 ショルダーストラップ取り付け部 ▶▶ 🕮 30
4 **MIC**(マイク)端子 ▶▶ 🕮 107
5 **HDMI OUT**端子 ▶▶ 🕮 145
6 **USB**端子 ▶▶ 🕮 118
7 **DC IN**端子 ▶▶ 🕮 19
8 **DISP.**(ディスプレイ)／アサイン**1**ボタン ▶▶ 🕮 124
9 **PUSH AF**(プッシュ AF) ／アサイン**2**ボタン ▶▶ 🕮 124
10 **EXHAUST VENT**(排気口) ▶▶ 🕮 61



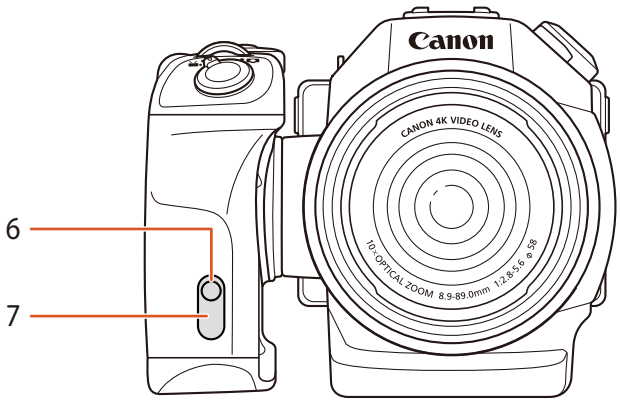
1 **AIR INTAKE**(吸気口) ▶▶ 🕮 61

2 ショルダーストラップ取り付け部 ▶▶ 🕮 30

3 🎧(ヘッドホン)端子 ▶▶ 🕮 111、133

4 ズームリング ▶▶ 🕮 85

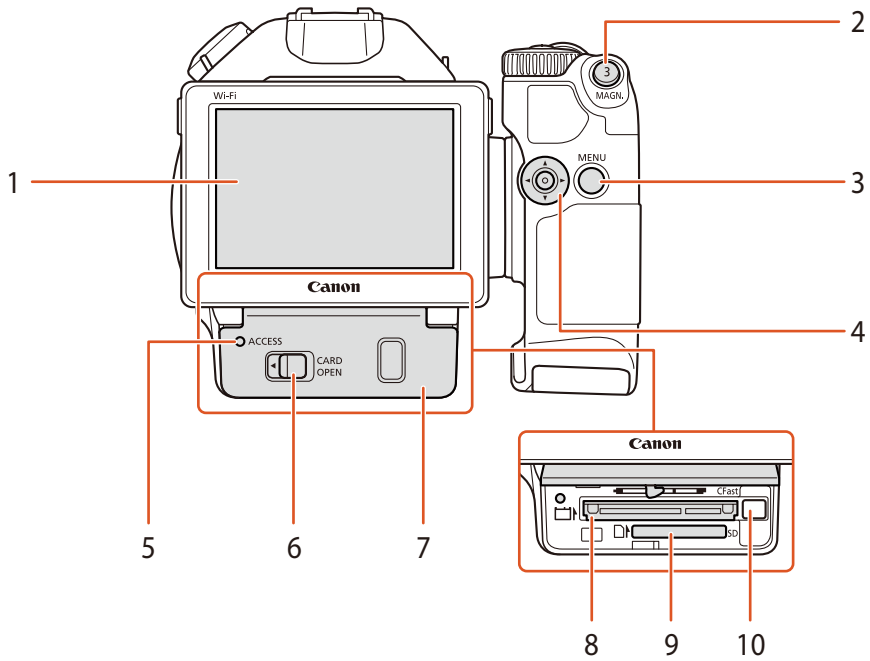
5 フォーカスリング ▶▶ 🕮 86



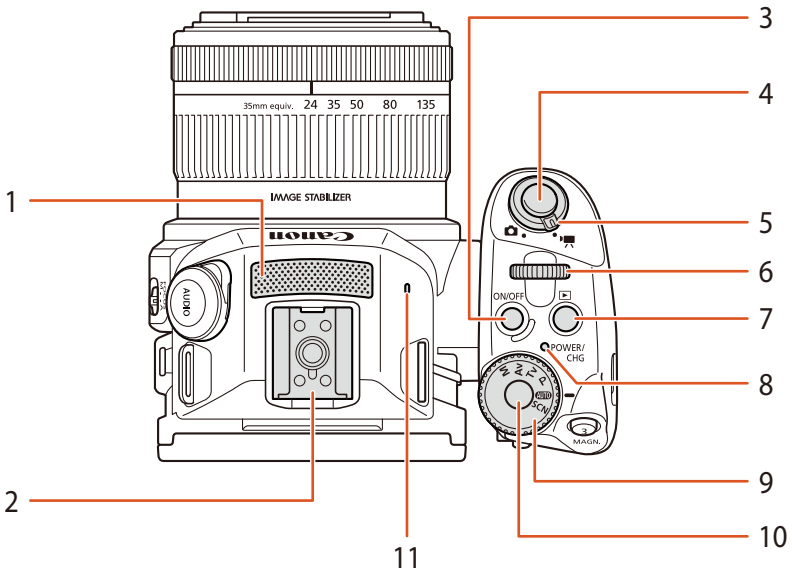
6 タリーランプ ▶▶ 🕮 178

7 リモコン受光部 ▶▶ 🕮 48

- 別売のリモコンRC-6で本体を操作するときに使用します。



1 液晶画面（タッチパネル）▶▶ 🕮 28、33
2 **MAGN.**（拡大）／アサイン**3**ボタン ▶▶ 🕮 124
3 **MENU**（メニュー）ボタン ▶▶ 🕮 35、37
4 ジョイスティック ▶▶ 🕮 35
5 **ACCESS**（アクセス）ランプ ▶▶ 🕮 43、44
6 **CARD OPEN**（カードカバー開く）レバー ▶▶ 🕮 42、44
7 カードカバー ▶▶ 🕮 42、44
8 CFastカードスロット ▶▶ 🕮 42
9 SDカードスロット ▶▶ 🕮 44
10 CFastカード取り出しボタン ▶▶ 🕮 43



1 内蔵マイク ▶▶ 101

2 アクセサリーシュー ▶▶ 16、25
マイクロホンアダプター MA-400を取り付けます。

3 **ON/OFF**(電源)ボタン ▶▶ 51

4 **START/STOP**(スタート／ストップ) ／ **PHOTO**(フォト)ボタン ▶▶ 52
- 本書では、動画カメラモードのときは「START/STOPボタン」、静止画カメラモードのときは「PHOTOボタン」と呼びます。

5 動画／静止画切り換えレバー ▶▶ 31、51

6 電子ダイヤル ▶▶ 65

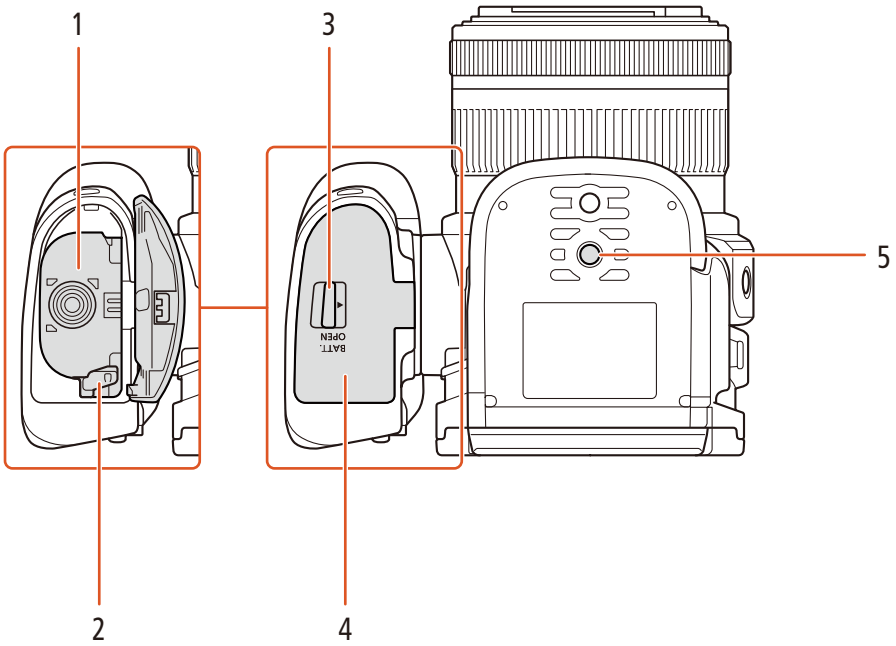
7 ▶(再生)ボタン ▶▶ 128

8 電源ランプ／ **CHG**(充電)ランプ ▶▶ 20

9 モードダイヤル ▶▶ 32

10 モードダイヤルロック解除ボタン ▶▶ 32、65

11 内蔵スピーカー ▶▶ 133



1 バッテリー装着部 ▶▶ 📖 19

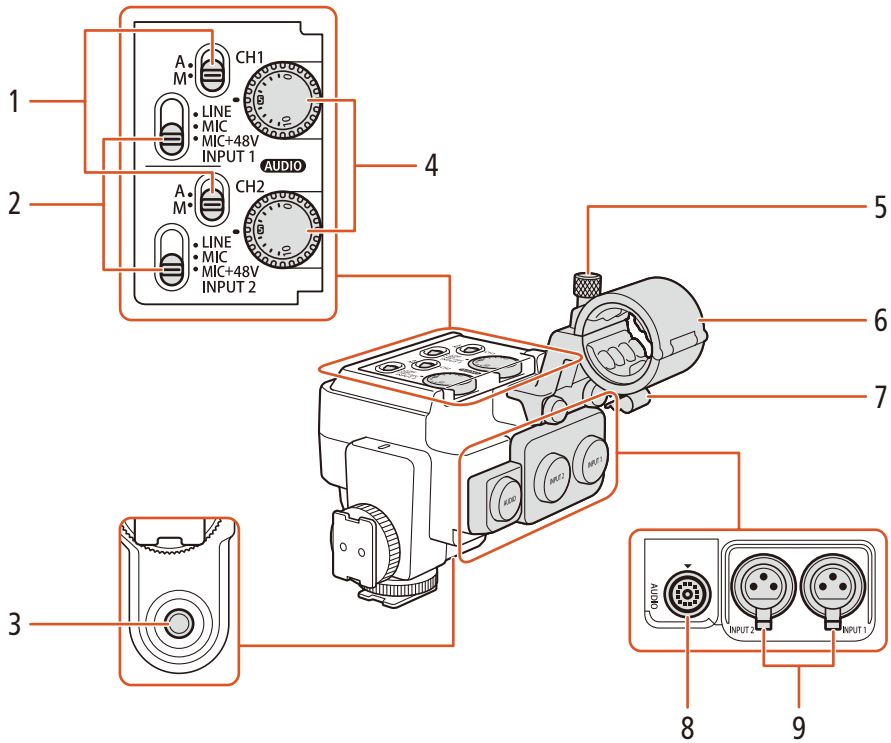
2 バッテリーロック ▶▶ 📖 21

3 **BATT.OPEN**（バッテリーカバー開く）レバー ▶▶ 📖 19、21

4 バッテリーカバー ▶▶ 📖 19、21

5 三脚ねじ穴 ▶▶ 📖 30

■ マイクロホンアダプター　MA-400の名称



1 録音レベル切り換えスイッチ（CH1/CH2）

2 INPUT 1 ／ INPUT 2端子切り換えスイッチ

3 1/4インチネジ穴

4 録音レベル調整つまみ（CH1/CH2）

5 外部マイク固定ネジ

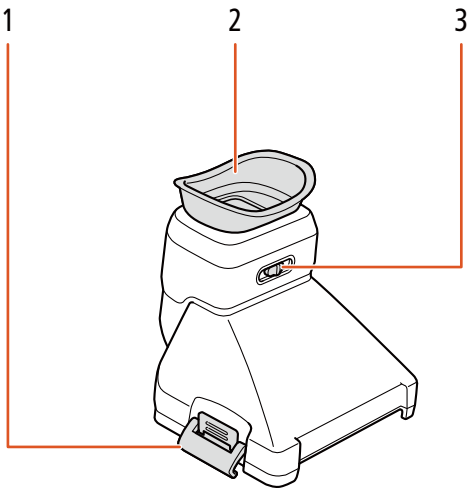
6 外部マイクホルダー
φ19 ～ 20 mmのマイクを固定可能

7 ケーブルクランプ

8 AUDIO端子

9 INPUT 1 ／ INPUT 2端子
XLRコネクターの外部マイク／外部ライン入力機器を接続可能

ファインダーユニットの名称



1 バックル ▶▶ 22
2 アイカップ
3 視度調整レバー ▶▶ 24

2 準　備

バッテリーを充電する 19

カメラを準備する 22

カメラを操作する 31

日時を設定する 36

FUNC. メニュー／メニューの
設定を変える 37

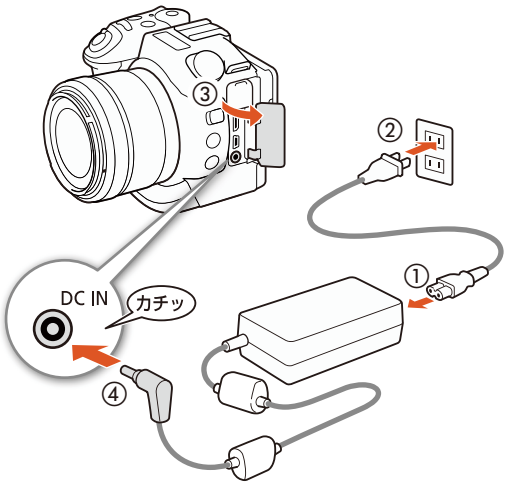
記録メディアを準備する 41

リモート撮影をする 47

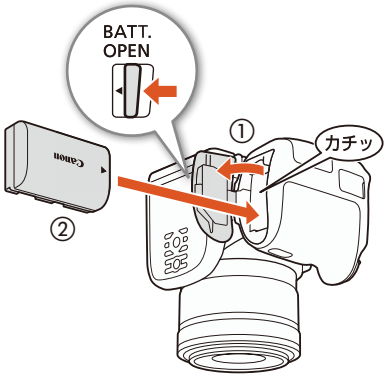
バッテリーを充電する

本機はバッテリーパックを取り付けるか、ACアダプターをつないで使用できます。はじめてお使いになるときは、バッテリーパックを充電してから使います。

■ バッテリーを充電する

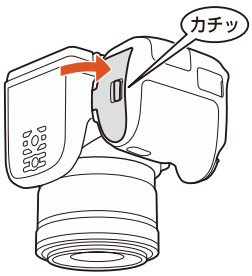


1 イラストの手順に従って、ACアダプターをコンセントにつなぐ

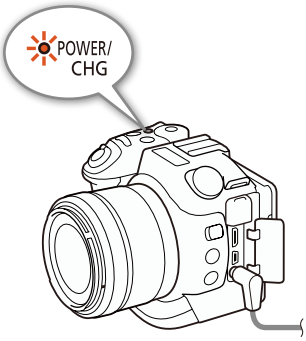


2 BATT.OPEN（バッテリーカバー開く）レバーを矢印の方向に押してバッテリーカバーを開け（①）、電池接点の方からバッテリーを入れる（②）

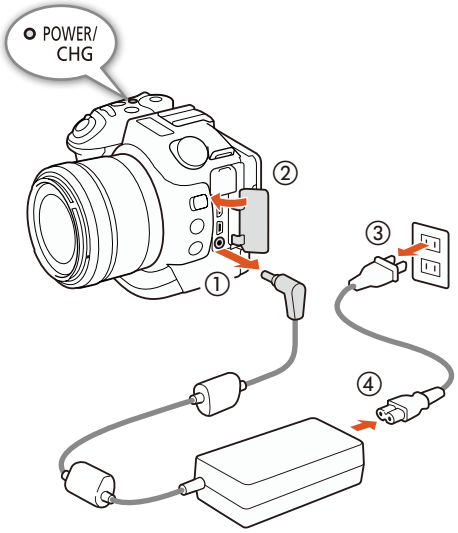
- 「カチッ」と音がするまでしっかりと入れる。



3 「カチッ」と音がするまでバッテリーカバーを押して閉じる



4 電源OFFで充電開始
赤く点灯
- 点滅しているときは、「トラブルシューティング」の「表示やランプ」(182)をご覧ください。

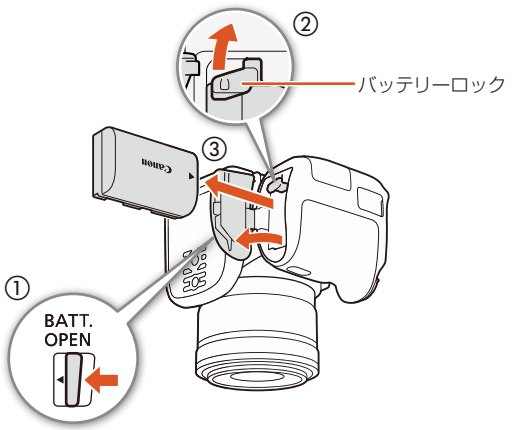


5 点灯 ➤ 消灯で充電おわり

6 イラストの手順に従って、ACアダプターをはずす

バッテリーを取り外すとき

BATT.OPEN（バッテリーカバー開く）レバーを矢印の方向に押してバッテリーカバーを開け（①）、バッテリーロックを押して（②）バッテリーを取り出す（③）。



ご注意

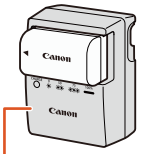
- 電源プラグを抜き差しするときは、まず電源を切って、電源ランプが消えていることを確認してください。撮影したデータが破損する恐れがあります。
- 故障の原因となりますので、ACアダプターを固定して使用しないでください。

MEMO

- 別売のバッテリーパックLP-E6は本機では充電できません。バッテリーパックの底面に記載されている型番を確認して、LP-E6Nを使用してください。

型番

- 10 ℃～ 30 ℃の場所で充電することをおすすめします。バッテリーや周囲の温度が約0 ℃～ 40 ℃（使用温度）の範囲外のときは、充電に時間がかかることや、充電ができないことがあります。
- 充電するときは電源を切ってください。電源が入っているときは充電できません。
- 充電中にコンセントまたはDC IN端子からプラグを抜いたときは、再び接続する前にCHG（充電）ランプの消灯を確認してください。
- バッテリー残量が気になるときは、電源プラグをコンセントにつないだままお使いください。
- バッテリーをフル充電したときの使用時間は203ページをご覧ください。
- フル充電したバッテリーも少しずつ放電します。使用直前に充電することをおすすめします。
- 付属バッテリー LP-E6Nの充電時間は約240分です。なお、周囲の温度や充電状態によって異なります。
- 別売のバッテリーチャージャー LC-E6を使うと約150分で充電できます。詳しくはバッテリーチャージャーの使用説明書をご覧ください。
- バッテリーの取り扱いについては、195ページをご覧ください。



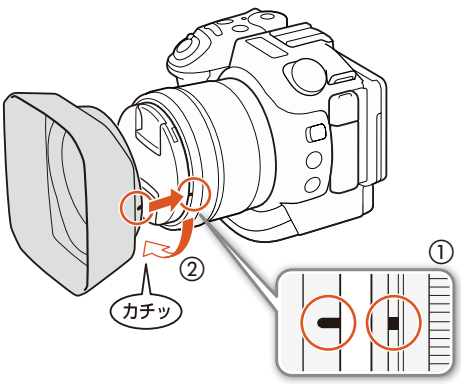
バッテリーチャージャー
LC-E6（別売）

カメラを準備する

ここではレンズフードの取り付け、ファインダーユニットやマイクロホンアダプター　MA-400、液晶画面、グリップの調整など、はじめに行うカメラの準備について説明します。

■ レンズフードを取り付ける

撮影時はレンズフードを取り付けてください。ゴーストやフレアなどの低減に効果的です。



1 レンズ先端部にフードをはめ込み、目印が真下に来るように取り付け（①）、時計方向にカチッと音がして止まるまで回す（②）

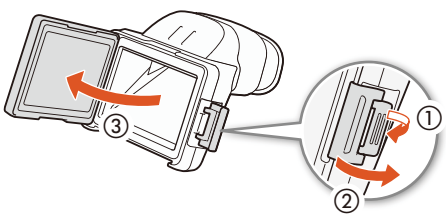
- フードの先端を軽く持って取り付ける。強く握ると変形して、取り付け／取り外しにくくなる。
- レンズフードはまっすぐ、斜めにならないように取り付ける。

レンズフードを取り外す

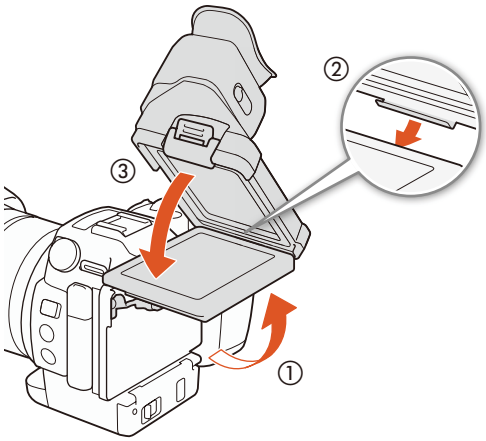
フードを反時計回りに回す。

■ ファインダーユニットを使う

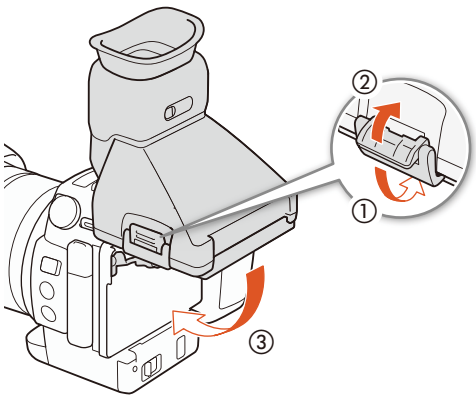
ファインダーユニットを取り付ける



1 バックルを外して（①、②）、ファインダーユニットカバーを外す（③）



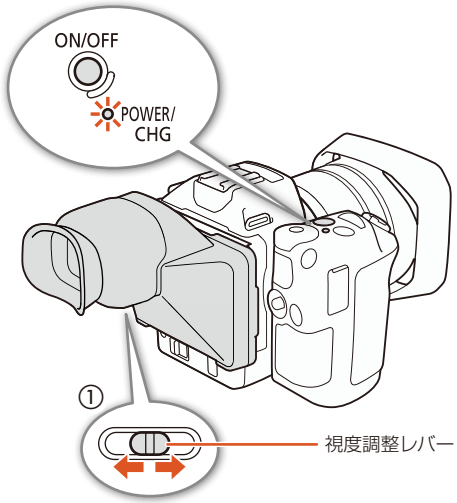
2 液晶画面を上に開き（①）、ファインダーユニットのツメを液晶画面の下に引っ掛けて倒す（②、③）



3 バックルを液晶画面の下に引っ掛けて固定し（①、②）、液晶画面を元の位置に戻す（③）

ファインダーユニットの視度を調整する

映像がはっきり見えるように、視力に合わせて視度を調整します。



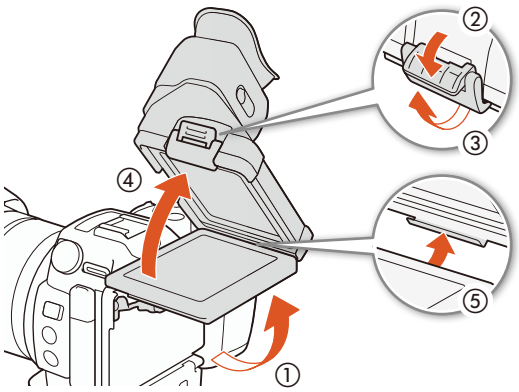
1 本機の電源を入れる（51）

2 視度調整レバーを左右に動かして調整する（①）

明るさを調整するとき

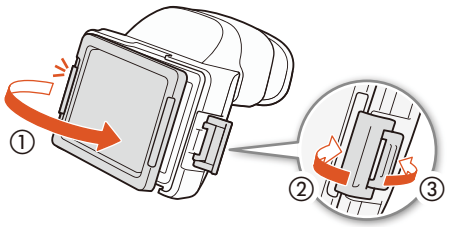
ファインダーユニットで見やすいように「液晶明るさ調整」、「液晶バックライト」を調整する（178）。

ファインダーユニットを取り外す



1 液晶画面を上に開き（①）、バックルを外して（②、③）本体から取り外す（④、⑤）

- バックルを完全に起こしてから取り外す。

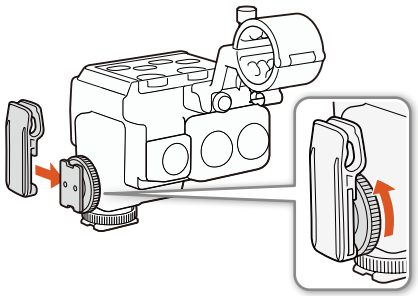


2 ファインダーユニットカバーを取り付けて（①）、バックルを締める（②、③）

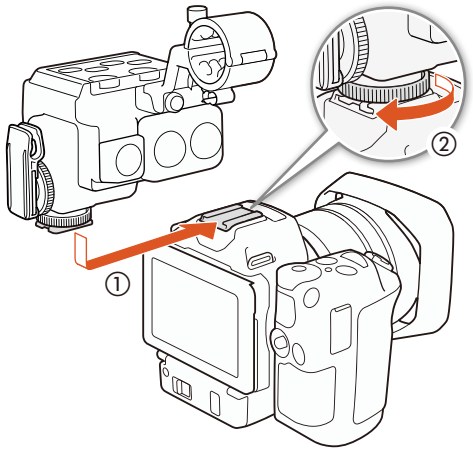
MEMO

● ファインダーユニットを使わないときはファインダーユニットカバーをつけて保管してください。

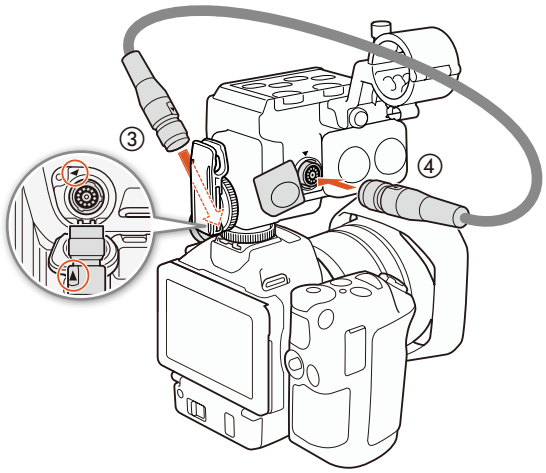
■ マイクロホンアダプター　MA-400を取り付ける



1 ケーブルクランプを取り付ける

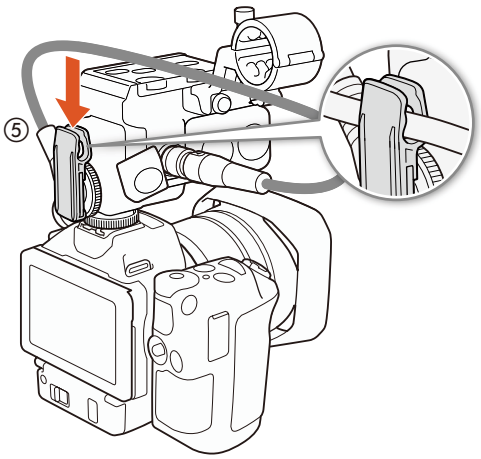


2 マイクロホンアダプター底面の取り付け金具をカメラ上部のアクセサリーシューに差し込み（①）、取り付けネジを回して固定する（②）



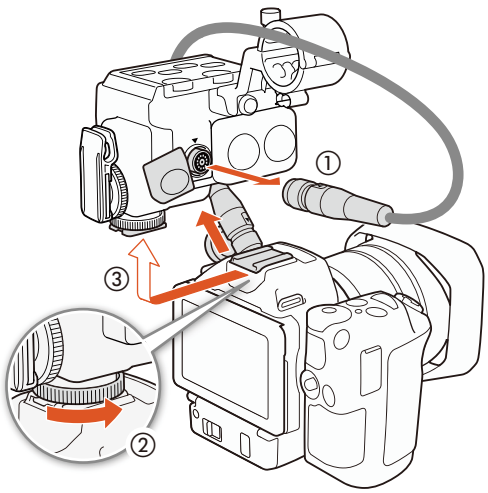
3 ユニットケーブルUN-5で、カメラとマイクロホンアダプターのAUDIO端子を接続する（③、④）

- プラグと端子の▲マークを合わせて接続する。
- ユニットケーブルのプラグは、カメラとマイクロホンアダプターで共通に使用可能。



4 ユニットケーブルをクランプにとめる（⑤）

カメラから取り外す



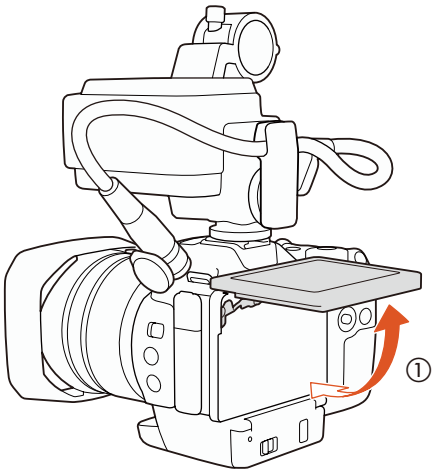
1 ユニットケーブルをクランプから取り外す

2 ユニットケーブルをカメラとマイクロホンアダプターから抜く（①）
- ケーブル先端の金具を手前に引きながら、ケーブルを引き抜く。

3 取り付けネジをゆるめ（②）マイクロホンアダプターを取り外す（③）

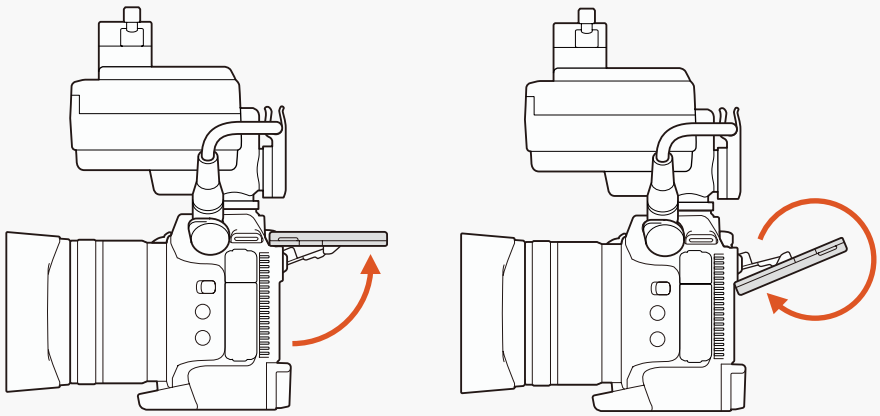
4 ケーブルクランプを取り外す

■ 液晶画面



1 液晶画面を手前に引き出し、見やすい角度に調整する（①）

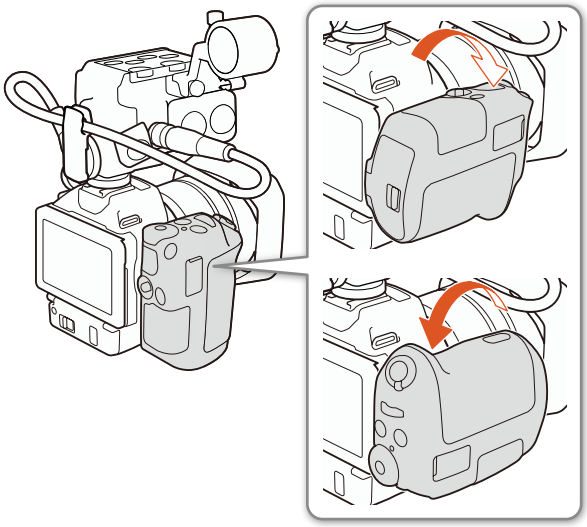
液晶画面はお好みの位置に調整でき、ハイアングルやローアングルの撮影も可能です。



■ グリップを使う

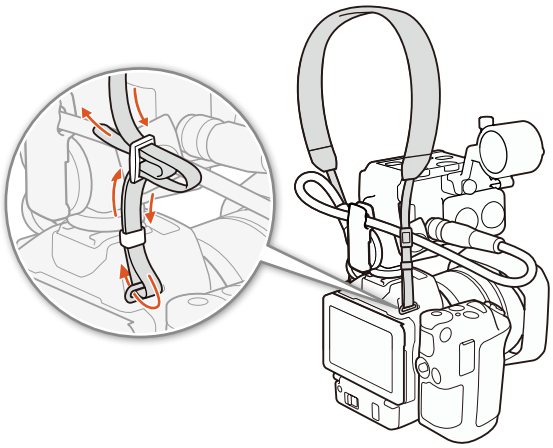
グリップの角度を調整する（回転グリップ）

グリップは前後に最大90°、撮影の状況に応じて好みの角度に調整して使用できます。



1 グリップを好みの角度に合わせる

ショルダーストラップを取り付ける

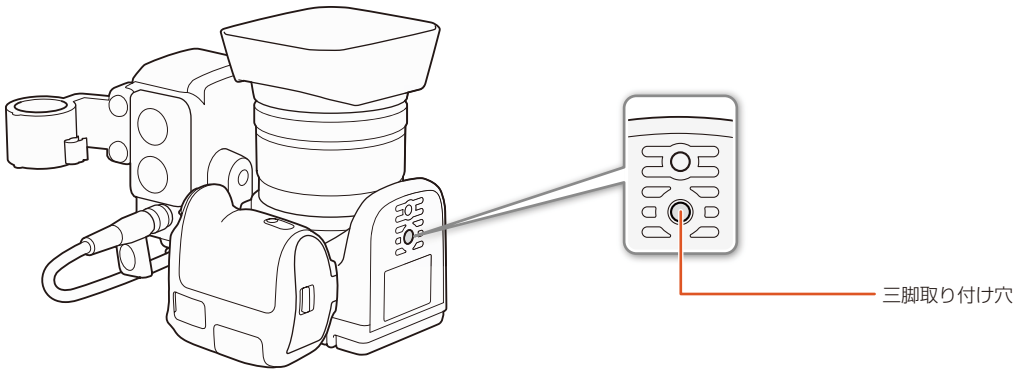


ご注意

- 落下したりしないように、机などの安定した所で調節してください。

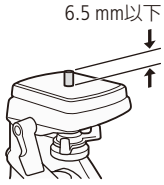
本体を三脚に取り付ける

取り付けネジの長さが6.5mm以下の三脚を取り付けることができます。



ご注意

- ネジの長さが6.5mm以上の三脚を使用すると、本体を破損することがあります。

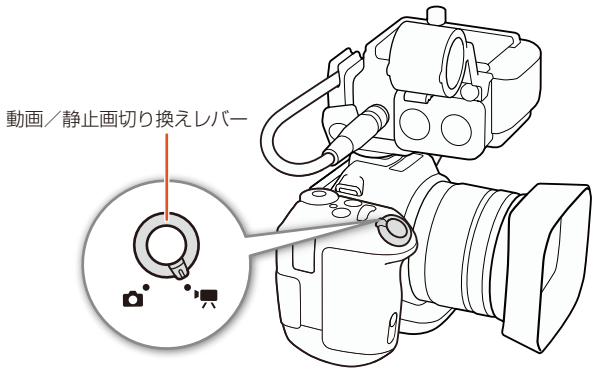


カメラを操作する

ここでは基本的なカメラの操作について説明します。

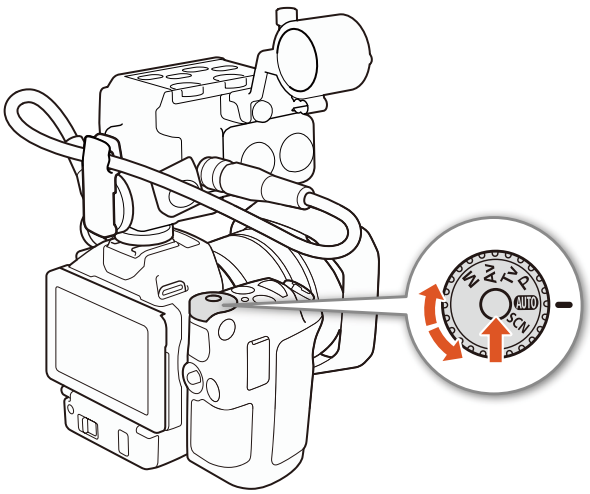
動画撮影または静止画撮影を切り換える

動画を撮影するときは動画／静止画切り換えレバーを（動画カメラモード）に、静止画を撮影するときは動画／静止画切り換えレバーを（静止画カメラモード）に合わせます。



撮影モードを切り換える

モードダイヤルで撮影時のモードを切り換えます。切り換えるときは、ダイヤルの中央のモードダイヤルロック解除ボタンを押しながら、モードダイヤルを回します。



M マニュアル露出：絞り、シャッター、ISO/ゲインの3種類を自由に設定できます（65）。

Av 絞り優先AE：絞りを設定します（69）。

Tv シャッター優先AE：シャッターを設定します（70）。

P プログラムAE：シャッター、絞り、ISO/ゲインを自動で設定します（71）。

AUTO オートモード：ビデオカメラにおまかせで撮影できます（71）。

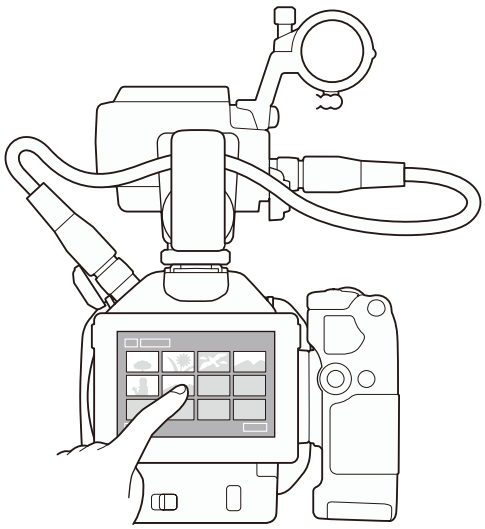
SCN シーンモード：場所や被写体に合わせて撮影できます（72）。

- ポートレート
- 夜景
- ビーチ
- ローライト
- 打上げ花火
- スポーツ
- スノー
- 夕焼け
- スポットライト

タッチパネルで操作する

液晶画面（タッチパネル）を直接タッチして直感的に操作できます。タッチパネルでの操作には、指で液晶画面を押すタッチ操作と、タッチしたまま指を上下や左右に動かすドラッグ操作があります。

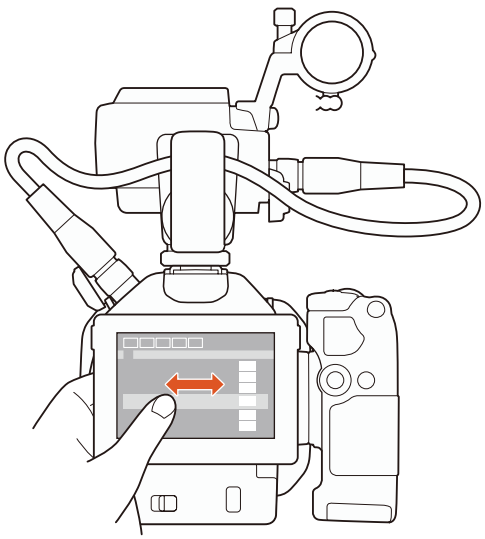
タッチ



画面に表示される項目やボタンなどを指で押します。

- クリップ（動画）の再生、項目の選択などに使います。

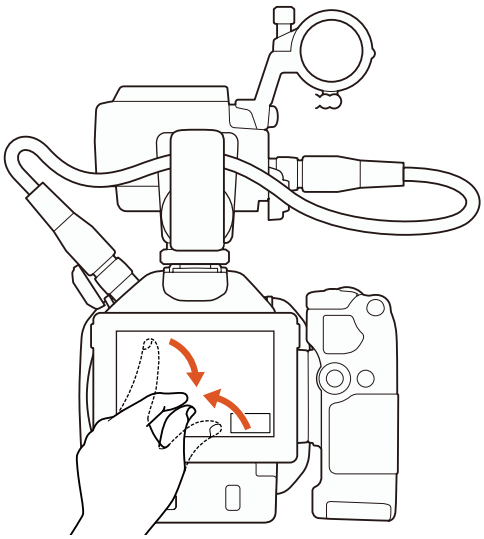
ドラッグ



画面を押したまま上下または左右に指を移動します。

- 指の動きに合わせて画面の表示が変わります。画面スクロールやメニュー操作などに使います。
- 画面によっては、表示される三角マークのボタンをタッチして動かすこともできます。

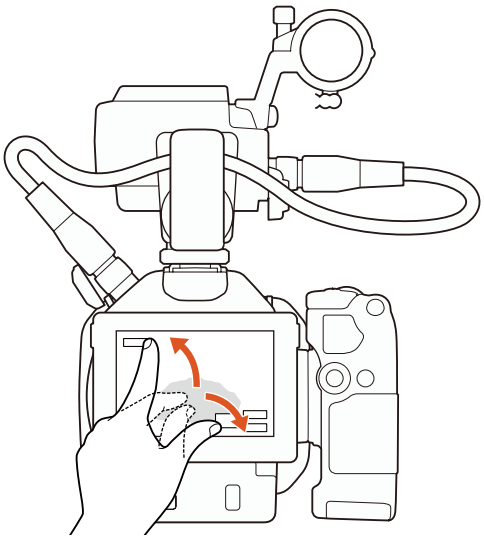
ピンチイン



2本の指で画面を押さえ、指の間隔を狭めます。

- 動画／静止画再生中（129）に、ピンチインすると、再生インデックス画面に戻ります。

ピンチアウト



2本の指で画面を押え、指の間隔を広げます。

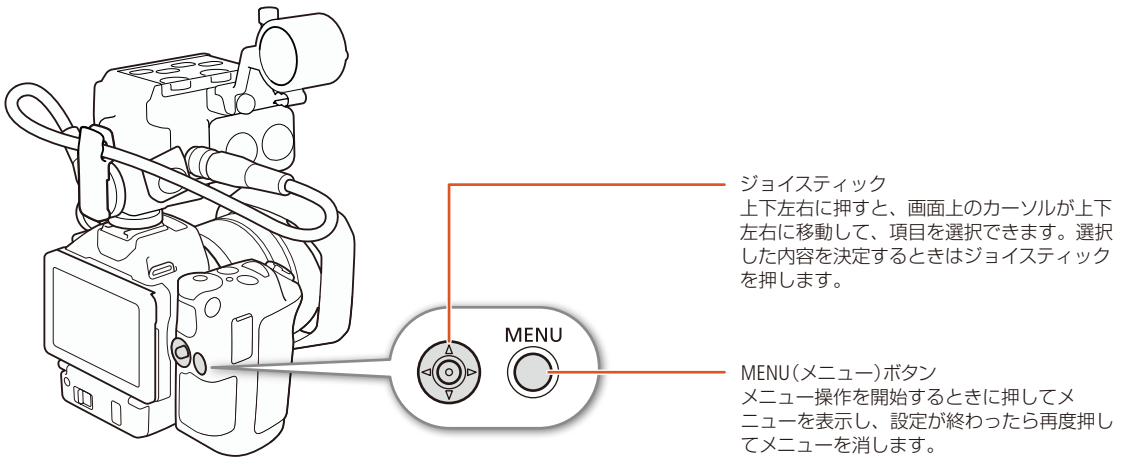
- 再生インデックス画面（128）でピンチアウトすると、動画／静止画の再生を開始します。
- 再生中の静止画を拡大します。ピンチインで縮小します。

ご注意

- タッチパネルは静電容量方式です。次の場合はタッチパネルが正常に動作しないことがあります。
  - 爪先やボールペンなどとがったもので操作をしたとき。
  - ぬれた手や手袋をしたままで操作したとき。
  - 強く押したまま擦る操作をしたとき。
  - 市販の保護シートやシールなどを貼った上から操作したとき。

MENU(メニュー)ボタン／ジョイスティックで操作する

ファインダーユニット装着時などタッチパネルを使わず、MENU（メニュー）ボタンとジョイスティックを使って、本機を操作できます。



日時を設定する

カメラ | 再生 | 4K | HD

はじめてお使いになるときは、日付、時刻を設定する画面が表示されます。時刻は、お住まいの地域と旅先の地域の2か所を設定できます。海外旅行先の日時を指定しておくと、現地時間で記録できます（178）。

1 ON/OFF（電源）ボタンを押す

- 電源ランプが緑色に点灯。
- はじめて電源を入れると「日付/時刻」設定画面が出る。

2 日時を設定する

タッチパネルで操作するとき

① 項目（年月日時分）をタッチし、▲/▼をタッチして設定する。
- この操作を繰り返して日時を設定する。

② 必要に応じて、日時スタイルを設定する。
- 使用するスタイルをタッチして選ぶ。

③「OK」をタッチする。

ジョイスティックで操作するとき

① ジョイスティックを上下に押して「年」の数字を選ぶ。
- ジョイスティックを右に押すと、カーソルが「月」に移動する。

② ①の操作を繰り返して日付/時刻の設定をする。
- ジョイスティックを上下左右に押して「OK」を選びジョイスティックを押す。

MEMO

- 日時設定は、メニューの「日付/時刻」で変更できます。また、地域とサマータイムをメニューの「エリア/サマータイム」で設定できます（176）。
- 本機を約3か月使わないと、内蔵の充電式電池が放電して、日時の設定が解除されることがあります。その場合は、充電してから設定し直してください（196）。
- GPSレシーバーGP-E2（別売）を使用すれば、GPSから得られる時刻情報を本機に自動設定することもできます（118）。

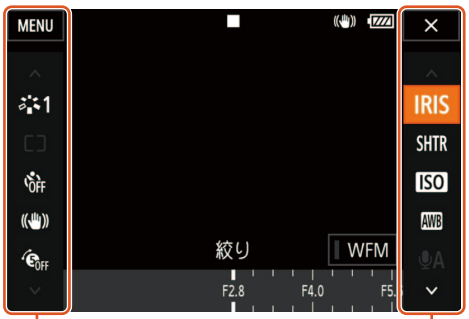
FUNC.メニュー／メニューの設定を変える

カメラ 再生 4K HD

本機のさまざまな機能をご購入時の状態からメニューで変更できます。ここではタッチパネルやジョイスティックを使って行うメニュー設定の基本操作について説明しますので、本書の各項目で説明されている FUNC. メニューやメニュー設定を操作するときの参考にしてください。次ページ以降、本書では主にタッチパネルでの操作を説明しています。FUNC. メニューやメニューの種類については「FUNC. メニュー一覧」(168)や「メニュー一覧」(171)をご覧ください。

FUNC. メニューの設定を変える

撮影時の調整項目を FUNC. メニューで変更できます。FUNC. メニューは画面の左右に配置されています。撮影前に設定する項目が左に（左 FUNC. メニュー）、撮影中に設定できる項目が右に配置されています（右 FUNC. メニュー）。右 FUNC. メニューは、使用頻度の高い機能を割り当てて、より使いやすくカスタマイズできます（123）。



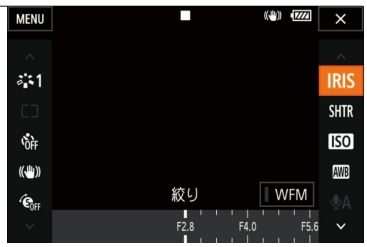
例 「ルック」(83)の設定を「高輝度優先」にする

FUNC.

1 FUNC. メニューを表示させる

タッチパネルで操作するとき
FUNC. をタッチする。

ジョイスティックで操作するとき
ジョイスティックを上下左右に押して FUNC. を選んでジョイスティックを押す。



● 画面に FUNC. メニューが表示される。

✿1

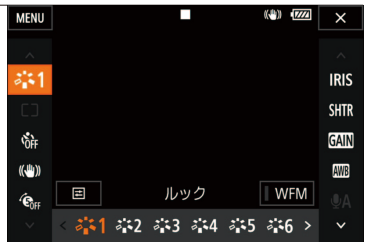
2 項目を選ぶ

タッチパネルで操作するとき

✿1（ルック）をタッチする。

ジョイスティックで操作するとき

ジョイスティックを上下左右に押して、✿1（ルック）を選んでジョイスティックを押す。



✿9

3 「⊞高輝度優先」を選ぶ

タッチパネルで操作するとき

左にドラッグして✿9「⊞高輝度優先」をタッチする。

ジョイスティックで操作するとき

ジョイスティックを右に押して✿9「⊞高輝度優先」を選んでジョイスティックを押す。

✕

4 FUNC. メニューを終了する

タッチパネルで操作するとき

✕をタッチする。

ジョイスティックで操作するとき

ジョイスティックを上下左右に押して、✕を選んでジョイスティックを押す。

MEMO

- 機能によっては、項目や設定内容を選ぶと、メーターが表示されます。タッチパネルで操作するときは、左右にドラッグして値を調整します。ジョイスティックで操作するときは、ジョイスティックを押すと、メーターにオレンジ色の線が表示されるので、ジョイスティックを左右に押して値を調整します。

メニューの設定を変える

本機のさまざまな機能の設定を、メニューで変更できます。

例　「おしらせ音」を「入」に設定する

MENU

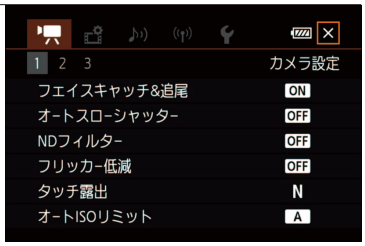
FUNC.

1 MENU（メニュー）を表示させる

MENUボタンを押す。または FUNC. * ➤ MENU をタッチする。

* カメラモード時のみ

● メニュー操作モードになり、画面にメニューが表示される。



♪)))

2 項目を選ぶ

タッチパネルで操作するとき

♪)))3　オーディオ設定メニュー ➤「おしらせ音」をタッチする。

例：本文中の♪)))3は、♪)))（オーディオ設定）タブの「3」（3番目）を選んでいます。

ジョイスティックで操作するとき

① ジョイスティックを左右に押して♪)))を選ぶ。

② ジョイスティックを上下に押して「3」*のタブ ➤「おしらせ音」を選んでジョイスティックを押す。

* 静止画カメラモード、動画/静止画再生の場合は「1」

))) 大
) 小

3 設定内容を選ぶ

「))) 大」または「) 小」を選ぶと、本機の操作に応じて音が鳴る。

タッチパネルで操作するとき

「))) 大」または「) 小」をタッチする。

ジョイスティックで操作するとき

ジョイスティックを上下に押して、「))) 大」または「) 小」を選んでジョイスティックを押す。

×

4 メニューを終了する

タッチパネルで操作するとき

×をタッチする。

ジョイスティックで操作するとき

ジョイスティックを上下左右に押して、×を選んでジョイスティックを押す。

MEMO

- ×をタッチしたり、MENUボタンを押したりすると、メニューはいつでも終了します。
- 他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、灰色で表示されます。

記録メディアを準備する

本機では、4K動画をCFastカードに、HD動画と静止画をSDメモリーカード（SD）／SDHCメモリーカード（SDHC）／SDXCメモリーカード（SDXC）に記録します。記録メディアを使用するときは、はじめに本機で初期化（CFastカードは初期化、SDカードは完全初期化）してください（45）。

使用可能なメモリーカード

動作確認済みカードなどの詳細情報については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

CFastカード

CFast 2.0に準拠したCFastカードを使用可能。

SDカード

メモリーカードのタイプ	SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード
SDスピードクラス*1	CLASS 6　CLASS 10*2

*1 SDカードのデータ記録時の最低速度を保証する規格です。
*2「59.94P / 50 Mbps」でHD動画を記録するときや、Slow & Fastモーション記録を行う時はClass 10のカードを推奨します。
次のメーカー製のSD / SDHC / SDXCメモリーカードについて、HD動画記録時の動作を確認しています（2016年6月現在）。
• Panasonic　• TOSHIBA　• SanDisk

ご注意

● 撮影や編集を繰り返しているカードの場合、データの書き込み速度が低下し、記録が停止することがあります。あらかじめカードの動画や静止画をバックアップしてから、本機でカードを初期化（CFastカードは初期化、SDカードは完全初期化）してください。

SDXCメモリーカードまたはCFastカードを使用するとき

これらのメモリーカードは、exFAT形式で初期化されます。

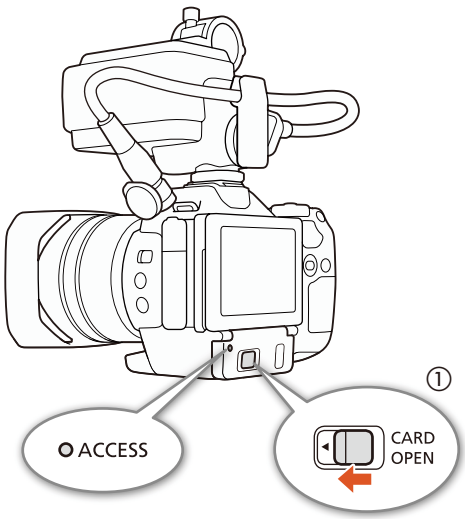
- exFAT形式に対応した機器でのみ使用できます。exFAT形式に対応する、レコーダー、パソコンまたはカードリーダー／ライターなどでご使用ください。対応状況については、パソコン、OSまたはカードのメーカーにお問い合わせください。
- exFAT形式に対応していないOSで使用すると、カードの初期化を促すメッセージが表示されることがあります。**初期化するとデータが失われますので、キャンセルしてください。**

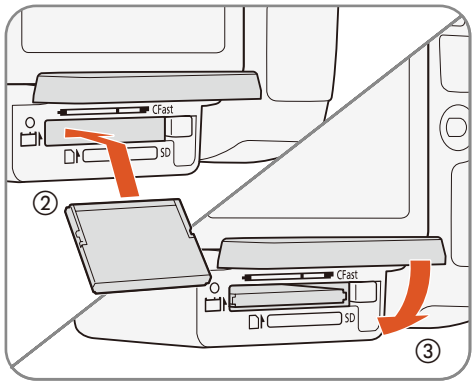
MEMO

● すべてのカードの動作を保証するものではありません。

CFastカードを入れる

カメラ 再生 4K HD

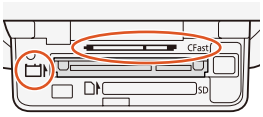




1 本体の電源を切る
- ACCESS（アクセス）ランプが消えていることを確認する。

2 CARD OPEN（カードカバー開く）レバーを◀方向にスライドさせる（①）
- カードカバーが上に開く。

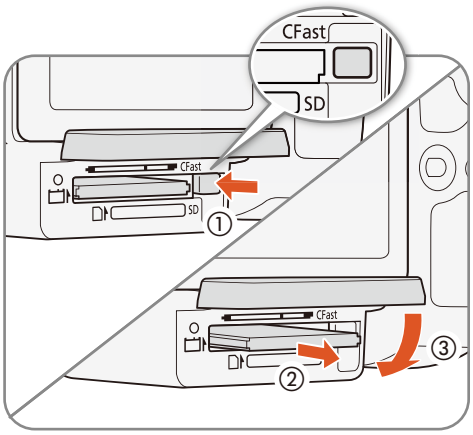
3 CFastカードスロットに印刷されているCFastカードコネクターの形状に合わせてカードを奥までしっかり入れる（②）



4 カードカバーを閉じる（③）
- カードが正しく入っていない状態で、カバーを無理に閉めない。

CFastカードを取り出す

カメラ | 再生 | 4K | HD



1 本体の電源を切る
- ACCESS（アクセス）ランプが消えていることを確認する。

2 CARD OPEN（カードカバー開く）レバーを◀方向にスライドさせる。
- カードカバーが上に開く。

3 CFastカード取り出しボタンを押し込む（①）
- CFastカードが出てくる。

4 CFastカードを取り出す（②）

5 カードカバーを閉じる（③）

ご注意

- カードの出し入れは、本体の電源を切ってから行ってください。本体の電源を入れたままカードの出し入れをすると、故障の原因となることがあります。
- ACCESS(アクセス) ランプが赤色に点灯/点滅中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - カードカバーを開けない。
- カードには表裏の区別があります。カードを裏返しに入れると、本機に不具合が発生することがあります。操作説明に従って正しい向きで入れてください。

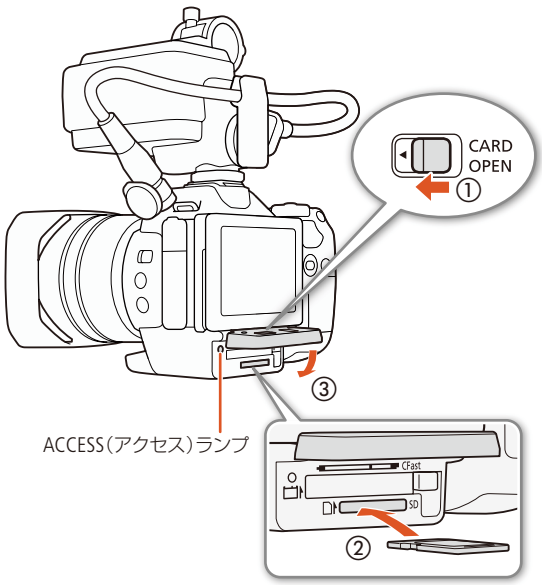
MEMO

ACCESS(アクセス)ランプの光りかた

	カードスロットの状態
点灯／点滅	カードにアクセス中
消灯	● カードにアクセスしていない ● カードが入っていない

SDカードを入れる／出す

カメラ 再生 4K HD



1 本体の電源を切る
- ACCESS（アクセス）ランプが消えていることを確認する。

2 CARD OPEN（カードカバー開く）レバーを◀方向にスライドさせる。(①)
- カードカバーが上に開く。

3 カードのラベル面を上側にして、カチッと音がするまでしっかり入れる (②)

SDカードを出すとき
カードの端を押して、カードが出てきたら抜く。

4 カードカバーを閉じる (③)
- カードが正しく入っていない状態で、カバーを無理に閉めない。

ご注意

- カードの出し入れは、本体の電源を切ってから行ってください。本体の電源を入れたままカードの出し入れをすると、故障の原因となることがあります。
- ACCESS(アクセス) ランプが赤色に点灯／点滅中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - カードカバーを開けない。
- カードには表裏の区別があります。カードを裏返しに入れると、本機に不具合が発生することがあります。操作説明に従って正しい向きで入れてください。

MEMO

誤ってデータを消さないために

カードの誤消去防止ツマミを「LOCK」側にすると、データを保護できます。

誤消去防止ツマミ

ACCESS(アクセス)ランプの光りかた

	カードスロットの状態
点灯／点滅	カードにアクセス中
消灯	● カードにアクセスしていない ● カードが入っていない

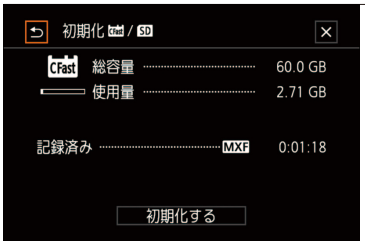
初期化する

カメラ 再生 4K HD

メモリーカードをはじめて使用するときや、メモリーカードに記録した動画／静止画などすべての情報を消去するときは、メモリーカードを初期化します。SDカードの初期化には「初期化」と「完全初期化」とがあり、データを完全に抹消する必要があるときは「完全初期化」を選びます。

1 初期化する記録メディアを選ぶ

① MENUボタンを押す。
② 1 記録設定 ➤「初期化CFast/SD」をタッチする。
③「CFast カード」または「SD カード」をタッチする。



2 初期化を選ぶ

①「初期化する」をタッチする。

「SDカード」を選んだとき 初期化の方法を選ぶ

- データを完全に消去するときは、「完全初期化」をタッチする。

②「はい」をタッチする。
- 完全初期化を中止するときは、「中止」をタッチする。カードはそのまま使用できるが、データはすべて消える。

③「OK」をタッチする。

3 ✕をタッチする

ご注意

- 初期化すると、CFastカード／ SDカード内のすべての情報が消え、元に戻せません。残しておきたいデータがあるときは、バックアップしてから初期化してください。
- SDカードの「完全初期化」は、カードによっては数分かかることがあります。

クリップを修復する カメラ 再生

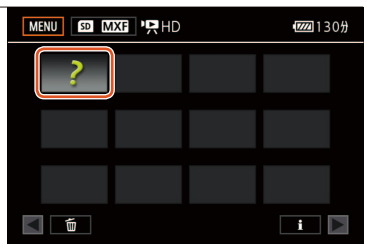
動画を記録中に停電する、記録中にカードを取り出すなどの原因によって、メモリーカードに記録したデータに異常が発生することがあります。このときは、クリップを修復することによってカード内のデータを正常な状態に戻すことができます。修復が必要なメモリーカードを入れたときに「SD（CFast）修復が必要なクリップがあります」が4秒間表示されます。このときは、再生インデックス画面（128でクリップを選択して修復します。

▶

1 インデックス画面を表示する（128

2 修復するクリップを選択する

- サムネイルに ? が表示されているクリップをタッチする。



OK

3 クリップを修復する

① 「データの修復を試みますか？時間がかかる場合があります」が表示される。
② 「はい」をタッチする。
- クリップの修復が行われる。
- 修復が終了すると、「データの修復を終了しました　クリップを確認してください」が表示される。

③ OK をタッチする。

MEMO

記録中に修復が必要な状態になったカードを修復した場合

- 0.5秒未満のクリップは消去されることがある。
- クリップの末尾のデータが最大約0.5秒間消去されることがある。

- 修復を行っても正常な状態に戻らないことがあります。特に、ファイルシステムが壊れているとき、またはメモリーカードが物理的に壊れているときは修復できません。
- 静止画を修復することはできません。
- 本機で撮影したクリップのみ修復できます。

リモート撮影をする

本機には、2種類のリモート撮影機能があります。
①別売のリモートコントローラー RC-6。
②パソコンや携帯端末などのWebブラウザーからのブラウザーリモート。ブラウザーリモートについては「Wi-Fi(無線接続)」の章 (🕮 158)をご覧ください。

リモコンを使う

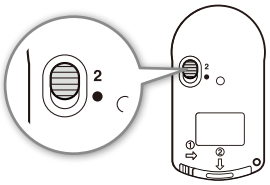
カメラ | 再生 | 動画 | 静止画 | 4K | HD

リモートコントローラー RC-6を使うと、撮影時にワイヤレスで操作できます。

リモコンを有効にする

① MENUボタンを押す。
② 3 システム設定* ➤「リモコンセンサー」をタッチする。
* 静止画の場合は、2 システム設定。
③ ON (入)をタッチする。

レリーズモード切り換えスイッチについて

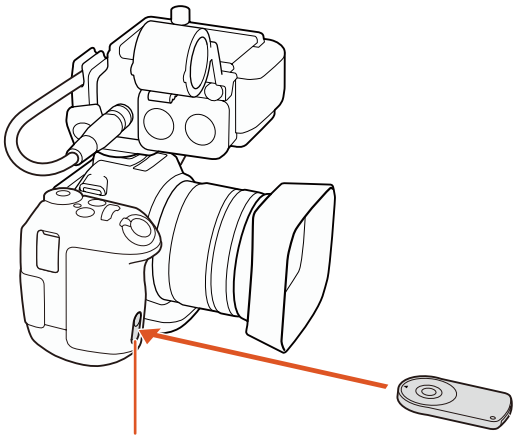


リモコンの送信ボタンの機能を裏面のレリーズモードスイッチで切り換えます。

レリーズモード切り換えスイッチの位置	動画カメラモード時	静止画カメラモード時
2	動画の撮影／撮影停止を行う(START/STOPボタンの操作)	2秒後に静止画を記録
●	静止画を記録	すぐに静止画を記録

リモコンを使って操作する

1 リモコン受光部に向けて、リモコンのボタンを押す



MEMO

- 蛍光灯やLED電球などが近くにあると、光源の影響で本機が正常に動作しないことがあります。できるだけ本機を光源から離してください。
- テレビ用のリモコンなどをカメラに向けて操作すると、本機が誤動作することがあります。
- リモコンのボタンを押しても動作しない、本体に近づかないと動作しないなどのときは、電池を交換してください。
- リモコン受光部に直射日光や照明などの強い光が当たっていると、正常に動作しないことがあります。
- ストロボの発光で、本機が正常に動作しないことがあります。周囲にストロボ光源があるときは、システム設定メニューの「リモコンセンサー」を OFF 切にしてください。

撮　影

動画や静止画を撮影する 50

映像の信号形式を選ぶ 63

撮影モードを切り換える 65

ISO感度やゲインのリミットを設定する（オートISOリミット／ AGCリミット） 74

明るさを調整する 76

明るさの調整のしかたを選ぶ（測光方式） 79

ホワイトバランスを調整する 80

好みの画質にする（ルック） 83

ズームを操作する 85

フォーカスを調整する 86

手ブレ補正を使う 94

マーカー／ゼブラパターンを表示する 95

波形モニターを表示する 97

タイムコードを設定する 98

ユーザービットを設定する 100

音声を記録する 101

カラーバー／テストトーンを記録する 112

スロー＆ファストモーション記録を行う 113

プレ記録を行う 115

インターバル記録を行う 116

セルフタイマー 117

GPS情報を記録する 118

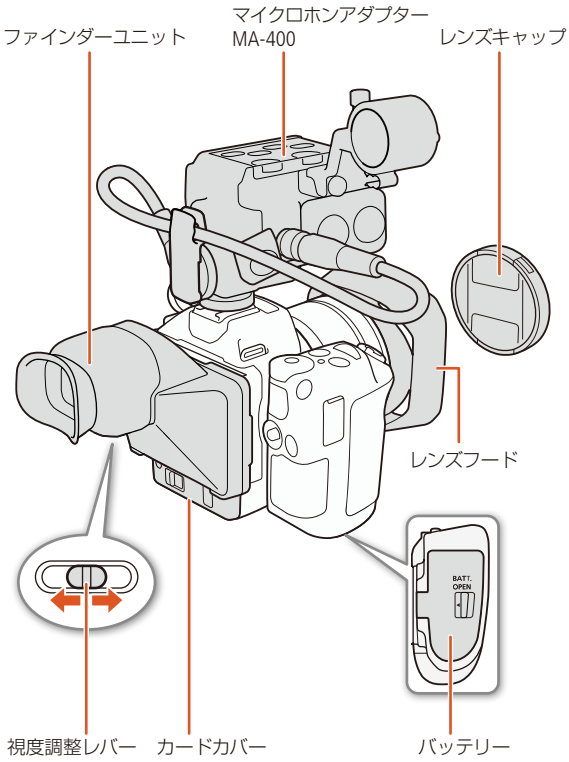
ポジション検出 120

動画や静止画を撮影する

ここでは、動画や静止画の基本的な撮影について説明します。音声の記録については101ページをご覧ください。

準備する

カメラ 再生 | 4K HD



1 レンズキャップを外す

2 レンズフードや、ファインダーユニット、マイクロホンアダプター MA-400を取り付ける（22）

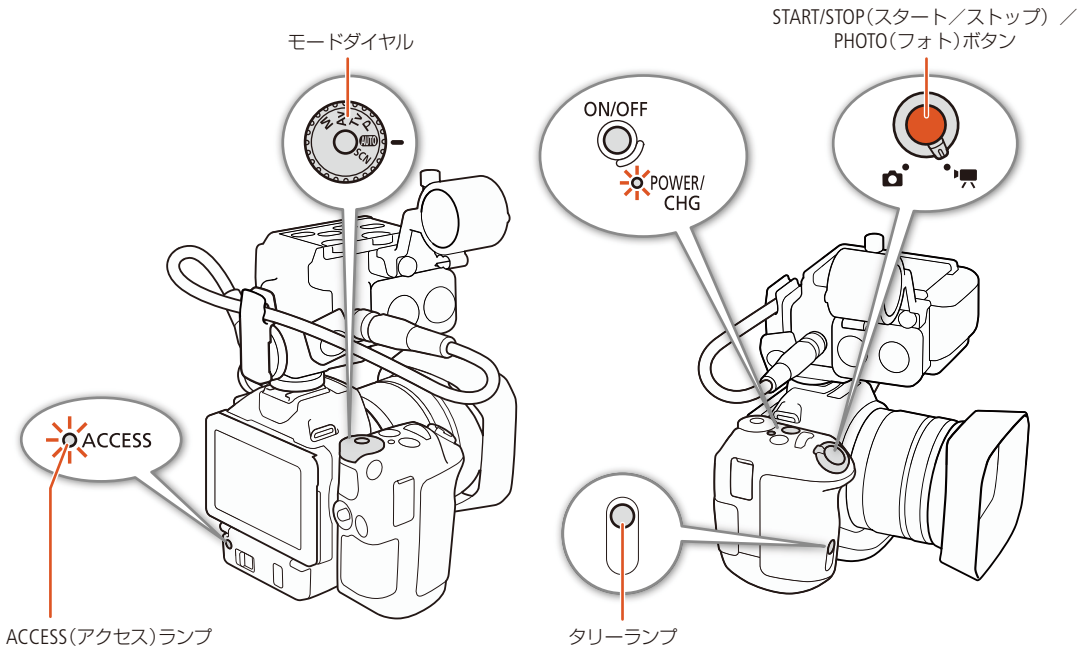
3 充電したバッテリーパックを取り付ける（19）

4 記録メディア（CFastカード、SDカード）を入れる（42、44）

- 4K動画を記録するときはCFastカードを、HD動画や静止画を記録するときはSDカードを、各スロットに入れる。

5 ファインダーユニットを使用するときは、視度を調整する（24）

撮影の基本操作 カメラ 再生 4K HD



1 動画または静止画を選ぶ

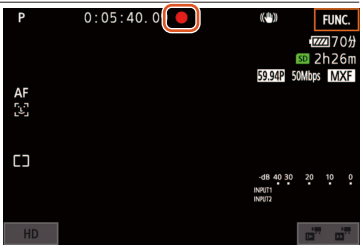
① 動画/静止画切り換えレバーを、動画のときは「」、静止画のときは「」に切り換える。

2 モードダイヤルで撮影モードを切り換える (65)

3 ON/OFF(電源)ボタンを押す

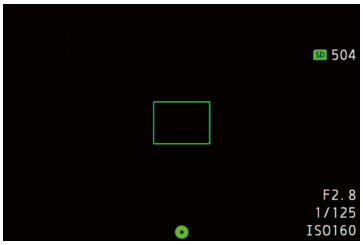
● 電源ランプが緑色に点灯する。

4 動画を撮影するとき　START/STOP（スタート／ストップ）ボタンを押す



- 撮影が始まる。タリーランプが点灯し、画面の■が●に変わる。
- リモートコントローラー RC-6（別売）で操作するときは、送信ボタンを押す（48）。
- 動画撮影中でも静止画を記録できる（55）。

静止画を撮影するとき　PHOTO（フォト）ボタンを押す



- AF時、PHOTOボタンを浅く押すと、ピント合わせが行われ、「フォーカス優先」（87）の設定に応じてAF枠が表示される。ピントを確認して、PHOTOボタンを深く押す。
- 「SD」と記録可能枚数が表示され、静止画がSDカードに記録される。
- リモートコントローラー RC-6（別売）で操作するときは、送信ボタンを押す（48）。

5 動画の撮影を停止するとき　もう一度START/STOP（スタート／ストップ）ボタンを押す

- 撮影が終了してクリップ*がメモリーカードに記録される。

* 本書では、1回の撮影操作で記録される動画を「クリップ」と呼びます。

6 ON/OFF（電源）ボタンを押して、電源をOFFにする

- ACCESSランプが消えていることを確認する。
- 電源を切るときは、電源ランプが消えるまで、ON/OFF（電源）ボタンを押し続ける。

ご注意

- ACCESS（アクセス）ランプが赤色に点灯／点滅中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - カードカバーを開けて、メモリーカードを取り出さない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどを取り外さない。
- 万一のデータ破損に備えて、撮影したデータは必ずバックアップしてください。データ破損の場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

MEMO

- カメラに内蔵されたマイクにより、撮影中の操作音やカメラの作動音なども一緒に録音されることがあります。なお、市販の外部マイクを使用すると、これらの音を録音しないように（低減）することができます。

クリップファイル名を設定する

カメラ 再生 | 4K HD

本機内のメモリーカードに記録されるクリップファイルの名前を設定します。カメラや記録メディアごとに割り振る文字や、任意の文字列（5文字）を設定することができます。

クリップファイル名の構成

A 0 0 1 C 0 0 1 _ y y m m d d X X _ C A N O N _ 0 1

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

	項目	内容
①	カメラインデックス	A ～ Zの1文字。カメラごとに異なる文字を設定する。
②	リール番号	001 ～ 999の3桁の数字。メモリカードごとに異なる番号を設定する。
③	クリップ番号	001 ～ 999の3桁の数字で、先頭に「C」が付いてC001 ～ C999となる。999を超えると「C」が「D」に変わり、D001 ～ D999となる。クリップ番号はクリップごとに自動的に振られる。任意の初期値を設定したり、初期値（C001）にリセットしたりすることもできる。
④	年月日	撮影した年月日が自動的に設定される。
⑤	ランダムID	クリップごとにランダムに付加される、A ～ Z、0 ～ 9からなる2文字。
⑥	ユーザー定義	A ～ Z、0 ～ 9からなる5文字。
⑦	ストリーム番号	記録先がSD / SDHCメモリーカードのHDクリップのときに、「_01~99」の数字が自動的に付加される。クリップ内の映像ファイル（ストリーム）が分割されると1つ繰り上がる。

MENU

1 MENUボタンを押す

2 カメラインデックスを設定する

① 3　記録設定*→「カメラインデックス」をタッチする。

* 「システム周波数」が「24.00 Hz」時は2　記録設定。

② ▲ ／ ▼をタッチして、A ～ Zのいずれかの文字を選ぶ。

③ OKをタッチする。

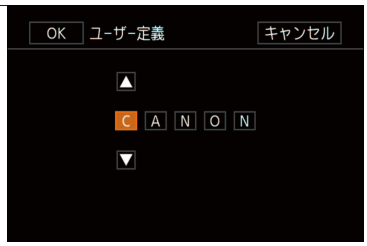
3 リール番号／クリップ番号を設定する

① 3 記録設定→「リール番号」 *または「クリップ番号」をタッチする。
* 「システム周波数」が「24.00 Hz」時は2 記録設定。
- 設定画面が表示され、一番左の桁が選択される。

② ▲ ／ ▼をタッチして、数字を選ぶ。
- 「リセット」をタッチすると、メニューの画面に戻り、番号が「001」にリセットされる。
- 設定を途中で中止するときはキャンセルをタッチする。

③ ②の操作を繰り返して、残りの桁の数字を選ぶ。
④ OKをタッチする。

4 ユーザー定義を設定する



① 3 記録設定→「ユーザー定義」をタッチする。
② ▲ ／ ▼をタッチして、英数字を選ぶ。
- 設定を途中で中止するときはキャンセルをタッチする。

③ ②の操作を繰り返して、5文字の英数字を選ぶ。
④ OKをタッチする。

✕ 5 ✕をタッチする

6 リール番号を設定したとき

使用するカードをすべて初期化する（45）

MEMO

- クリップ番号は、最後に記録したクリップの続き番号から始まります。ただし、メモリーカード内に記録されているクリップ番号のほうが大きいときは、その続き番号になります。

動画カメラモード撮影中に静止画を記録する

カメラ | 再生 | 4K | HD

アサインボタンに「PHOTO Photo」を割り当てると（124）、動画のカメラモードで撮影中または撮影停止中に、静止画を記録できます。割り当てたアサインボタンを押して静止画を記録すると、画面右上にカメラ▷SDが表示されます。記録される静止画サイズは以下のとおりです。また、クリップの再生一時停止中に、クリップから静止画を切り取ることもできます（4Kフレームキャプチャー／あとからフォト）（135）。

4K撮影時：3840 x 2160

HD撮影時：1920 x 1080

MEMO

- 以下のときは、静止画を記録することはできません。
  - HDMI接続中。
  - x1/4、x1/2のスロー記録設定中。
  - 「ルック」の「高輝度優先」を設定しているとき。
  - 「Rolling Shutterひずみ軽減」を「入」にしているとき。

静止画のサイズを選ぶ

カメラ | 再生 | 4K | HD

記録する静止画のサイズを選びます。

① MENUボタンを押す。
② 1 記録設定 ➤「静止画サイズ」をタッチする。
③ いずれかをタッチする。
④ ✕をタッチする。

MEMO

- 静止画を記録した直後に、静止画を確認する時間を設定できます（174）。

ドライブモードを選択する

カメラ | 再生 | 4K | HD

静止画カメラモード時のドライブモードを選びます。

- □　1枚撮影　：1回PHOTOボタンを押すと1枚静止画を撮影する。
- 連続撮影　：PHOTOボタンを押しているあいだ、連続して静止画を撮影する。1枚目の静止画でピントが固定される。1秒間に約3.8枚の連続撮影を行うことができる。
- AF連続撮影　：PHOTOボタンを押しているあいだ、ピントを合わせながら連続して静止画を撮影する。

① FUNC. ➤ □(ドライブモード)をタッチする。
② いずれかをタッチする。
③ ✕をタッチする。

MEMO

- AF連続撮影に設定している場合、撮影シーンやカメラの設定、ズーム位置などによっては、一定の間隔で撮影されなかったり、連続撮影の速度が遅くなったりすることがあります。
- PHOTOボタンから指を離した時に、連続撮影は終了します。

ブラウザーリモートで撮影する

カメラ 再生 4K HD

ブラウザーリモートを使って、ネットワークに接続した機器からリモートで撮影できます。また、ライブビューを使えば、ネットワークに接続した機器の画面で画角を確認することもできます。あらかじめリモート撮影（ブラウザーリモート）の準備を行っておいてください（148）。画面の詳細については162ページをご覧ください。

1 ライブビュー映像を表示する

① LIVE VIEW ON/OFF（ライブビュー）ボタンを押す
- ライブビュー映像が表示される。

例：動画撮影の場合

2 撮影を行う

動画を撮影するとき

① START/STOP（スタートストップ）ボタンを押す。
- 撮影が開始され、撮影状態表示が「● REC」に変わり、START/STOPボタン中央の●が赤色に変わる。
- タイムコードはビデオカメラ本体と同様に表示される。

② 再度、START/STOPボタンを押して撮影を終える。
- 撮影状態表示が「STBY」に変わる。

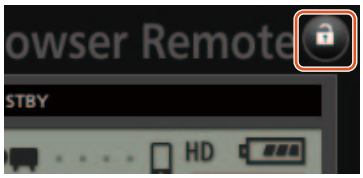
静止画を撮影するとき

PHOTOボタンを押すと、静止画が撮影される。

操作をロックする

ブラウザーリモート画面右上の🔒ボタンを押すとブラウザーリモートのすべての操作をロックすることができます*。🔒を押すと、ロックは解除されます。

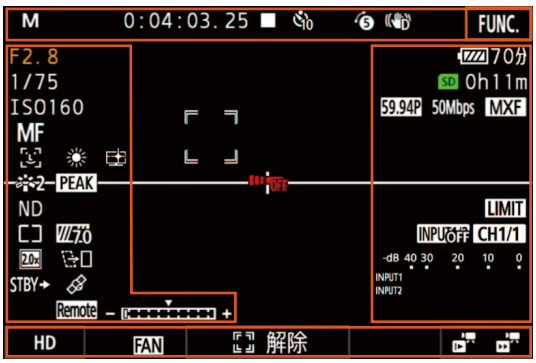
* このとき、本体側の操作はロックされません。



撮影時の画面表示 カメラ 再生 4K HD

カメラモード時に表示される情報です。FUNC.メニュー（123、168）やメニュー（171）、撮影モード（65）の設定状態によって表示が異なります。
動画カメラモードと静止画カメラモードで共通するアイコンについては、動画カメラモード時の画面表示で説明します。

動画カメラモード時の画面表示



画面上部

アイコン／表示	説明	📖
M Av Tv P AUTO	撮影モード	65
0:00:00.00、0:00:00:00	タイムコード	98
● ■	撮影状況　●：撮影中　■：撮影停止中	50
0	セルフタイマー	117
	撮影一時停止中の静止画記録のときに表示される。	55
	プレREC	115
、、	手ブレ補正	94
FUNC.	FUNC.メニュー	123、168

画面左

アイコン／表示	説明	📖
F0.0	絞り	65、69

アイコン／表示	説明	📖
1/0000 000.00°	シャッタースピード シャッターアングル	65、70
±0 0/0、0/0	AEシフト	78
	EXPロック	77
ISO00000 00.0dB	ISO/ゲイン	65
ISO GAIN	オートISOリミット／AGCリミット	74
AF MF 00m	フォーカス	86
	フェイスキャッチ＆追尾	92
K	ホワイトバランス	80
	高輝度優先	83
2 3 4 5 6 7 8 9	ルック	83
PEAK PEAK	ピーキング	90
ND	NDフィルター	172
	測光方式	79

アイコン／表示	説明	🕮
Z70 Z100	ゼブラ	95
20x	デジタルテレコン	85
	ローリングシャッターひずみ軽減	172
STBY➡ REC➡	記録コマンド	178
	GPS信号の受信状態GPSレシーバー GP-E2接続中、衛星未捕捉時は点滅し、衛星を捕捉すると点灯する。	118
Remote	ブラウザーリモートアクセスポイントとして動作中は、画面にRemoteが白色で表示され、ブラウザーリモート起動中、終了中はアイコンが黄色になる。	158
− +	露出バー	68

画面中央

アイコン／表示	説明	🕮
OFF	リモコンセンサー　切	47
	マーカー表示	95
	顔検出枠	92
	タッチ追尾枠	92

画面右

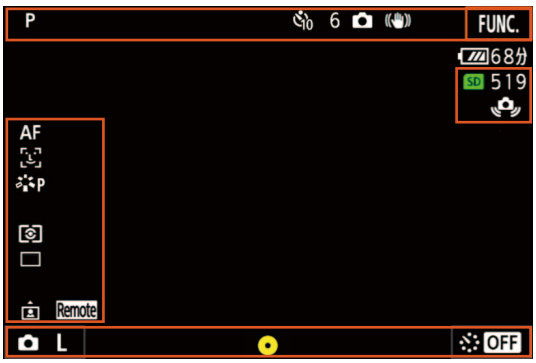
アイコン／表示	説明	🕮
	バッテリー残量と撮影／再生可能時間（分単位）の目安。（赤色）は残量なし。充電したバッテリーと交換する。本機／バッテリーの状態により、実残量と表示が異なることがある。	−
SD	静止画記録。カードエラーのときは（赤色）が出る。	55
CFast 0h00m SD 0h00m	動画の記録先、記録可能時間（時、分）。メモリーカードに空きがなくなると、「CFast END」（赤色）または「SD END」（赤色）が出て、記録を停止する。	−
W T	ズームバー	85

アイコン／表示	説明	🕮
29.97P 23.98P 59.94P 59.94i 24.00P 305 Mbps 205 Mbps 50 Mbps 35 Mbps	録画モード	63
MXF	ファイルフォーマット	−
INPUT OFF	INPUT 1/ INPUT 2端子　切	101
LIMIT	INPUT 1/2 リミッター	105
CH1/1 CH2/2 CH1+2/1+2	モニターチャンネル	176
	レベルメーター	107

画面下部

アイコン／表示	説明	🕮
4K　HD	4K撮影、HD撮影	63
	高温警告内部温度が上昇すると（黄色）が、本機を使い続けてさらに上昇すると（赤色）が表示される。	183
FAN	ファン	61
x1/4 x1/2 x2 x4 x10 x20 x60 x120 x1200	スロー＆ファストモーション記録	113

静止画カメラモード時の画面表示



画面上部

アイコン／表示	説明	🕮
2/10 0	セルフタイマー	117

画面左

アイコン／表示	説明	🕮
P L N F M Se Cl Au	ルック	83
	測光方式	79
	ドライブモード	56
	ポジション検出	120

画面右

アイコン／表示	説明	🕮
000	静止画記録先、記録可能枚数	52
	手ブレ警告 画面に が出たときは、三脚などでビデオカメラを固定することをおすすめします。	–

画面下部

アイコン／表示	説明	🕮
L S	静止画サイズ	55
OFF 5sec 10sec 30sec 1min 10min	インターバル記録	116
	PHOTOボタンを半押しした時に、動作によって●の点灯/点滅、色が変わる。 緑色：点灯 ● AF時：ピント、露出をロックしている ● MF時：露出をロックしている 黄色：点滅 ● ピントが合っていない AF時にピントが合った状態でズーム操作をすると、緑色点灯から黄色点滅に変わる。 白色：点滅 ● ピントを合わせている動作中。	–
MAGN	拡大表示	91

MEMO

- DISP.（ディスプレイ）ボタンを押すと、画面表示を次のように切り換えることができます。
  全表示 ➤ マーカーのみ表示* ➤ 全消去

  * マーカー表示（95）を有効にしているときのみ。

冷却ファンの動作方法を選ぶ

カメラ | 再生 | 4K | HD

本機内部の熱を排出する冷却ファンの動作方法を選びます。初期設定では、「ON 入」に設定されています。

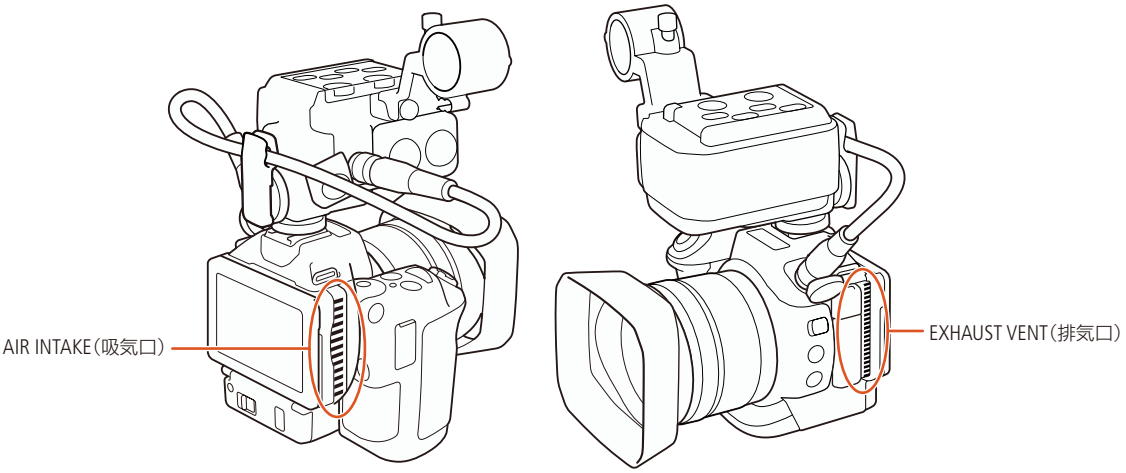
A オート： 冷却ファンは、撮影停止中に回転し、撮影中（画面に●RECが表示中）は自動的に停止する。ただし、撮影中でも、本機の内部温度が上昇すると、冷却ファンが自動的に回転する（画面にFANが出る）。内部温度が十分下がると、再び冷却ファンは停止する。この設定は、冷却ファンの動作音を記録したくないときに使用する。

ON 入： 冷却ファンは常に回転する。通常はこの設定を使用する。

① MENUボタンを押す。
② 3 システム設定 ➤「ファン」をタッチする。
③「A オート」または「ON 入」➤ ✕をタッチする。

ご注意

- 冷却ファンが回転しているとき、EXHAUST VENT（排気口）から暖かい空気が排出されます。
- 内蔵冷却ファンの吸排気口をテープなどで塞がないでください。


AIR INTAKE（吸気口）
EXHAUST VENT（排気口）

映像の信号形式を選ぶ

カメラ | 再生 | 4K | HD

映像を記録するときの信号形式を切り換えることができます。信号形式は、録画モード（フレームレート／ビットレート）と解像度の組み合わせからなります。録画モードは、システム周波数によって選択できる値が異なります。

記録信号形式一覧

	録画モード （フレームレート／ビットレート）	解像度	システム周波数
4K	29.97P 29.97P / 305 Mbps 29.97P 29.97P / 205 Mbps 23.98P 23.98P / 305 Mbps 23.98P 23.98P / 205 Mbps	3840×2160	59.94 Hz 59.94 Hz
	24.00P 24.00P / 305 Mbps 24.00P 24.00P / 205 Mbps		24.00Hz 24.00 Hz
HD	59.94P 59.94P / 50 Mbps 59.94i 59.94i / 35 Mbps 29.97P 29.97P / 35 Mbps 23.98P 23.98P / 35 Mbps	1920×1080	59.94 Hz 59.94 Hz
	24.00P 24.00P / 35 Mbps		24.00Hz 24.00 Hz

4K撮影またはHD撮影を設定する

1 「4K / HD」を選ぶ

① 画面の4KまたはHDをタッチする。
- MENU ➤ 1 記録設定 ➤「4K / HD」でも設定できる。

② 4K動画を撮影するときは「4K 4K動画」を、HD動画を撮影するときは「HD HD動画」をタッチする。

③ ⮌または✕をタッチする。

システム周波数を設定する

1 「システム周波数」を選ぶ

① MENUボタンを押す。

② 4 システム設定 ➤「システム周波数」をタッチする。

③ いずれかをタッチする。

④ OK をタッチする。
- 選んだシステム周波数に設定され、本機が再起動する。

撮影

録画モードを設定する

HD撮影でシステム周波数を24.00Hzに設定すると、同時に録画モードは24.00P / 35 Mbpsに設定されますので、録画モードを変更することはできません。

1 「録画モード」を選ぶ

① MENUボタンを押す。
② 1　記録設定 ➤「4K録画モード」または「HD録画モード」で録画モードをタッチする。
③ いずれかをタッチする。
④ ✕をタッチする。

MEMO

- 1枚の記録メディアに、異なるシステム周波数で撮影したクリップを混在して記録することはできません。
- HDMI OUT端子からの信号については、「出力信号形式」(142)をご覧ください。
- 「4K動画」設定時、　カメラ設定 ➤「Rolling Shutterひずみ軽減」で「入」を選ぶと、ローリングシャッターひずみを軽減できます(172)。

撮影モードを切り換える

カメラ 再生 4K HD

撮影モードを切り換えることで、絞りやシャッター、ISO/ゲインの数値を好みに合わせて設定したり、撮影シーンに合わせて設定を変えたりするなど、さまざまな撮影ができます。シャッターは、スピードとアングルの2つのモードから選べます。*
各撮影モードで使える機能については「FUNC.メニュー一覧」(168)をご覧ください。

* 撮影モードがM(マニュアル露出)またはTv(シャッター優先AE)の動画撮影時のみ。

M(マニュアル露出)

絞り、シャッター、ISO ／ゲインを自由に設定できます*。

* 静止画カメラモード時はISO固定となります。

1 モードダイヤルをMにする (32)

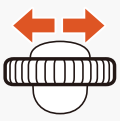
静止画カメラモード時は、操作3に進む。

2 動画カメラモード時 ISOまたはゲインを設定する

① MENUボタンを押す。
② 2 カメラ設定 ➤「ISO / ゲイン」をタッチする。
③ いずれかをタッチする。
④ ⮌をタッチ ➤ 操作3の②に進む。

3 設定する項目を選ぶ

① MENUボタンを押す。
② 2 システム設定 ➤「電子ダイヤル」をタッチして、電子ダイヤルで設定する項目を選ぶ。
③ ✕をタッチする。
● 選んだ項目はオレンジ色で表示される。



4 電子ダイヤルを回して、絞り、シャッター、ISO／ゲインの数値を設定する

シャッターモードを選ぶ

撮影モードが**M**（マニュアル露出）（65）または**Tv**（シャッター優先AE）（70）で動画カメラモード時は、スピードかアングルのモードから選べます。ブラウザーリモート（159）を使ってワイヤレスで調整することもできます。
スピード：秒数でシャッターを設定する。
アングル：開角度でシャッターを設定する。

1 「シャッターモード」を選ぶ

① MENUボタンを押す。
② 3　カメラ設定 ➤「シャッターモード」をタッチする。
③ いずれかをタッチする。
④ ✕をタッチする。

設定可能な値

	刻み幅	動画		静止画
絞り	動画：1/4段 静止画：1/3段	F2.8、F3.2、F3.4、F3.7、F4.0、F4.4、F4.8、F5.2、F5.6、F6.2、F6.7、F7.3、F8.0、F8.7、F9.5、F10、F11		F2.8、F3.2、F3.5、F4.0、F4.5、F5.0、F5.6、F6.3、F7.1、F8.0、F9.0、F10、F11
シャッター	動画：1/4段 静止画：1/3段	スピード*1	1/2、1/3、1/4、1/5、1/6、1/8、1/9、1/10、1/12、1/15、1/17、1/20、1/24、1/25、1/30、1/34、1/40、1/48、1/50、1/60、1/75、1/90、1/100、1/120、1/150、1/180、1/210、1/250、1/300、1/360、1/420、1/500、1/600、1/720、1/840、1/1000、1/1200、1/1400、1/1700、1/2000	0"5*3、0"4*3、0"3*3、1/4、1/5、1/6、1/8、1/10、1/13、1/15、1/20、1/25、1/30、1/40、1/50、1/60、1/80、1/100、1/125、1/160、1/200、1/250、1/320、1/400、1/500、1/640、1/800、1/1000、1/1250、1/1600、1/2000
		アングル*2	フレームレート：59.94P、59.94i	
			360.00°、240.00°、216.00°、180.00°、120.00°、90.00°、60.00°、45.00°、30.00°、22.50°、15.00°、11.25°	
			フレームレート：29.97P	
			360.00°、324.00°、270.00°、240.00°、216.00°、180.00°、120.00°、108.00°、90.00°、60.00°、45.00°、30.00°、22.50°、15.00°、11.25°	
			フレームレート：23.98P、24.00P	
			360.00°、345.60°、288.00°、259.20°、240.00°、216.00°、180.00°、172.80°、144.00°、120.00°、90.00°、86.40°、72.00°、60.00°、45.00°、30.00°、22.50°、15.00°、11.25°	
ISO*4	1/3段	ISO160、ISO200、ISO250、ISO320、ISO400、ISO500、ISO640、ISO800、ISO1000、ISO1250、ISO1600、ISO2000、ISO2500、ISO3200、ISO4000、ISO5000、ISO6400、ISO8000、ISO10000、ISO12800、ISO16000、ISO20000		
ゲイン*4	ノーマル*5　1.5 dB	0.0dB、1.5dB、3.0dB、4.5dB、6.0dB、7.5dB、9.0dB、10.5dB、12.0dB、13.5dB、15.0dB、16.5dB、18.0dB、19.5dB、21.0dB、22.5dB、24.0dB、25.5dB、27.0dB、28.5dB、30.0dB、31.5dB、33.0dB、34.5dB、36.0dB、37.5dB、39.0dB、40.5dB、42.0dB		—
	ファイン*5　0.5 dB	0.0 ～ 42.0dB		—

*1 Slow & Fastモーションで「x1/2」を設定しているときは、1/60未満のスピードは設定できません。「x1/4」を設定しているときは、1/120未満のスピードは設定できません。

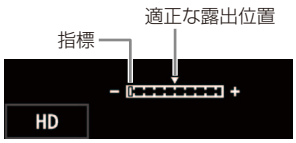
*2 Slow & Fastモーションで「x1/4」を設定しているときのアングルは以下になります。
360.00°、240.00°、180.00°、120.00°、90.00°、60.00°、45.00°、30.00°、22.50°

*3 0"5は0.5秒、0"4は0.4秒、0"3は0.3秒を表しています。

*4 Slow & Fastモーションで「x1/4」（スロー記録）（113）を設定しているときや、ルック（83）で「Production Camera」、「Canon Log」、「Wide DR」を設定しているときは、下限値が9.0dB（ファイン時8.5dB）またはISO500に設定されます。
Slow & Fastモーションで「x1/4」（スロー記録）かつ、ルックで「Production Camera」、「Canon Log」、「Wide DR」を設定しているときは、下限値が18.0dB（ファイン時17.0dB）またはISO1250に設定されます。

*5 2　カメラ設定 ➤「ゲインステップ」で設定できます。

露出バー



撮影モードが**M**のときは、画面に露出バー *が表示され、現在の露出位置を指標で確認できます。

* 1/2段の刻み幅で－2段～ +2段まで表示でき、この範囲を超えると指標が点滅します。

ブラウザーリモートで調整する

ブラウザーリモートを使って、ネットワークに接続した機器からリモートで調整できます。あらかじめリモート撮影（ブラウザーリモート）の準備を行ってください（158）。

F値を選んで調整する

例：絞り

① 設定したい項目のボタンをタッチする。
- 選択可能な値が表示される。

② いずれかを選ぶ。
- 選んだ値がブラウザーリモートの画面に表示される。

IRISボタンで調整する

① IRISの－ボタンまたは＋ボタンをタッチ調整する。

動画

IRIS－ボタンを押すと、絞りを約1/4段刻みで絞る。

IRIS＋ボタンを押すと、絞りを約1/4段刻みで開く。

静止画

IRIS－ボタンを押すと、絞りを約1/3段刻みで絞る。

IRIS＋ボタンを押すと、絞りを約1/3段刻みで開く。

ISO/ゲイン切り換えボタンで調整する

① ISO/ゲイン切り換えボタンをタッチする。
- 動画カメラモード時、ISO/ゲイン切り換えボタンをタッチすると、ISOまたはゲインを変更できる。

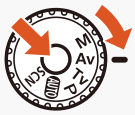
② ISOまたはGain（ゲイン）をタッチする。

③ ISO/ゲイン値ボタンをタッチする。
- 選択可能な値が表示される。

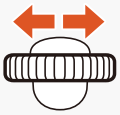
④ いずれかを選ぶ。
- 選んだ値がブラウザーリモートの画面に表示される。

Av（絞り優先AE）

被写体の明るさに応じて絞りを調整します。被写界深度を変えて背景や周囲をぼかし、被写体を引き立たせたいときは絞り値を小さく、近くのものから遠くのものまでピントを合わせたいときは、絞り値を大きく設定します。



1 モードダイヤルを**Av**にする（32）



2 電子ダイヤルを回して、絞りの数値を設定する

- FUNC.で項目を選んで（123）、メーターを左右にドラッグしても設定できる。
- 設定可能な値　参考 ▸▸（67）

MEMO

- 被写体の明るさによっては適正露出に制御できず、絞り値が点滅します。そのときは絞り値を調整してください。

ブラウザーリモートで調整する

ブラウザーリモートを使って、ネットワークに接続した機器からリモートで調整できます。あらかじめリモート撮影（ブラウザーリモート）の準備を行ってください（158）。

① F値ボタンをタッチする。
- 選択可能な値が表示される。

② いずれかを選ぶ。
- 選んだ値がブラウザーリモートの画面に表示される。

Tv（シャッター優先AE）

シャッターを調整すると、動きの速い被写体（スポーツや乗り物など）を鮮明に撮影する、低照度のシーンを明るく撮影するなど被写体や撮影環境に合わせて撮影できます。

1 モードダイヤルをTvにする（32）

2 電子ダイヤルを回して、シャッターの数値を設定する

- FUNC.で項目を選んで（123）、メーターを左右にドラッグしても設定できる。
- 設定可能な値　参考 ▸▸（67）

MEMO

- 被写体の明るさによっては適正露出に制御できず、シャッターが点滅します。そのときはシャッターを調整してください。

ブラウザーリモートで調整する

ブラウザーリモートを使って、ネットワークに接続した機器からリモートで調整できます。あらかじめリモート撮影（ブラウザーリモート）の準備を行ってください（158）。撮影モードが**M**（マニュアル露出）（65）または**Tv**（シャッター優先AE）（70）で動画カメラモード時は、スピードかアングルのモードから選べます。

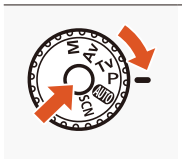
① シャッターモードボタンをタッチして、スピードまたはアングルのモードを選ぶ。

② シャッターボタンをタッチする。
- 選択可能な値が表示される。

③ いずれかを選ぶ。
- 選んだ値がブラウザーリモートの画面に表示される。

P（プログラムAE）

絞り、シャッター、ISO/ゲインを自動で設定します



1 モードダイヤルを**P**にする（32）

AUTO（オートモード）

ビデオカメラにおまかせで撮影できます。

1 モードダイヤルを**AUTO**にする（32）

SCN（シーンモード）

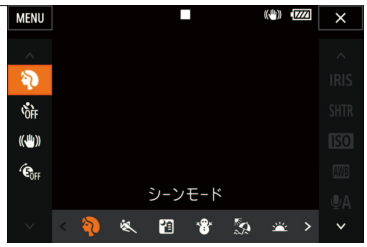
照り返しの強いスキー場や、海に沈む夕日、夜空を彩る打上げ花火など、場所や被写体に合わせてきれいに撮影します。

1 モードダイヤルをSCNにする（32）

FUNC.

2 シーンモードを選ぶ

① FUNC. ➤ （シーンモード）➤ をタッチする。
② いずれかをタッチする。



✕

3 ✕をタッチする

シーンモードで選べる項目

ポートレート
背景をぼかして、被写体を引き立たせる。

スポーツ
動きの速い被写体を撮る。

夜景
夜景をきれいに撮る。

スノー
照り返しの強いスキー場で被写体が暗くなるのを防ぐ。

ビーチ
照り返しの強い海岸で被写体が暗くなるのを防ぐ。

夕焼け
夕焼けを色鮮やかに撮る。

ローライト
暗い場所で被写体を明るく撮る。

スポットライト
スポットライトが当たった被写体をきれいに撮る。

打上げ花火
打上げ花火をきれいに撮る。

MEMO

- ポートレート、スポーツ、スノー、ビーチの各モードで撮影した映像を再生すると、なめらかに見えなかったり、ちらつくことがあります。
- スノー／ビーチのとき、曇りや日陰など周囲が暗いときには、被写体が明るくなりすぎることがあります。画面で映像をご確認ください。

ローライトについて

- 動きのある被写体は、残像が目立つ映像になることがあります。
- 明るく撮影できる分、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
- 画面に白い点などが出ることがあります。
- 自動でピントが合いにくいときは、ピントを調整してください(86)。

- 「ローライト」や「打上げ花火」を使うときは、手ブレを防ぐために、三脚をお使いになることをおすすめします。

ISO感度やゲインのリミットを設定する（オートISOリミット／ AGCリミット）

カメラ | 再生 | 4K | HD

被写体の明るさに応じて映像アンプのISO感度やゲインの上限を設定できます。上限を設定することにより、ノイズの上昇を抑えた撮影ができたり、暗い雰囲気を残したままの撮影ができたりします。撮影モードが、**Av**、**Tv**、**P**のときに使用できます。

MENU

1 MENUボタンを押す。

静止画カメラモードのときは、操作4に進む。

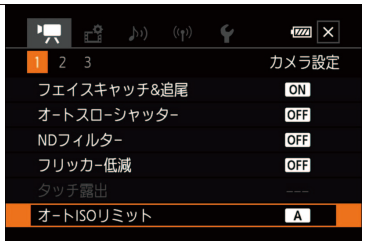
2 2　カメラ設定 ➤「ISO / ゲイン」で「ISO」または「ゲイン」を選ぶ

3 ⮌をタッチする

MENU

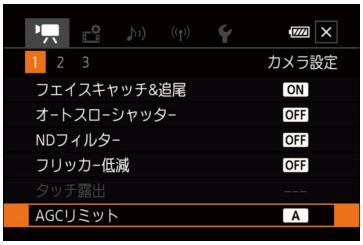
4 「ISO」を選んだとき

1　カメラ設定 ➤「オートISOリミット」をタッチする



「ゲイン」を選んだとき

1　カメラ設定 ➤「AGCリミット」をタッチする



静止画カメラモード時

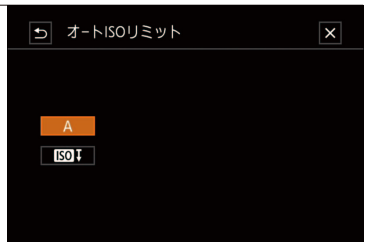
1　カメラ設定 ➤「オートISOリミット」をタッチする

ISO

GAIN

5 上限を設定するとき ISO または GAIN をタッチする

- メーターが表示される。



6 上限を選ぶ

- メーターを左右にドラッグして上限を選ぶ。ジョイスティックで操作するときは、操作5のあと、ジョイスティックを下に押すと、メーターにオレンジ色の線が表示されるので、ジョイスティックを左右に押して値を調整する。

上限を解除するとき

A（オート）をタッチする。

✕

7 ✕をタッチする

- 上限を設定しているときはISOまたはGAINが画面に表示される。

設定可能な値

	ISO/dB*1	設定範囲	刻み幅
動画	ISO	ISO160、ISO200、ISO250、ISO320、ISO400、ISO500、ISO640、ISO800、ISO1000、ISO1250、ISO1600、ISO2000、ISO2500*2、ISO3200*2、ISO4000*2	1/3段
	dB	0.0dB、1.5dB、3.0dB、4.5dB、6.0dB、7.5dB、9.0dB、10.5dB、12.0dB、13.5dB、15.0dB、16.5dB、18.0dB、19.5dB、21.0dB、22.5dB、24.0dB、25.5dB、27.0dB、28.5dB	1.5 dB
静止画	ISO	ISO160、ISO200、ISO250、ISO320、ISO400、ISO500、ISO640、ISO800、ISO1000、ISO1250、ISO1600、ISO2000	1/3段

*1 Slow & Fastモーションで「x1/4」（スロー記録）（113）を設定しているときや、ルック（83）で「Production Camera」、「Canon Log」、「Wide DR」を設定しているときは、下限値が9.0dBまたはISO500に設定されます。
Slow & Fastモーションで「x1/4」（スロー記録）かつ、ルックで「Production Camera」、「Canon Log」、「Wide DR」を設定しているときは、下限値が18.0dBまたはISO1250に設定されます。

*2 動画カメラモード時、ISO2500、ISO3200、ISO4000に設定して静止画カメラモードに切り換えると、設定値はISO2000に変わります。

明るさを調整する

カメラ | 再生 | 4K | HD

逆光のときに被写体が黒くなったり、強い光が当たったときに白くとんでしまうことがあります。このようなときは明るさ（露出）の調整をします。撮影モードを AUTO（オートモード）やM（マニュアル露出）、SCN*に設定しているときは使用できません。

* EXPロックとタッチ露出はSCNの「打上げ花火」以外で使用できます。

露出を固定する（EXPロック）

現在の露出で固定します。

FUNC.

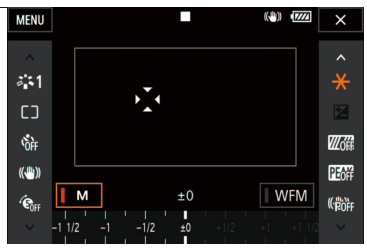
1 FUNC. ➤ ✳（EXPロック）をタッチする

M

2 露出を調整する

① Mをタッチする。
- メーターが表示される。

② メーターを左右にドラッグして選ぶ。
- ジョイスティックで操作するときは、ジョイスティックを下に押すと、メーターにオレンジ色の線が表示されるので、ジョイスティックを左右に押して値を調整する。
- 調整後の明るさで固定される。
- 明るさによっては数値がグレーになり、調整可能な範囲が変わる。



自動の露出調整に戻すとき

Mをタッチする。
- WFMをタッチすると波形モニターを表示できます（97）。

✕

3 ✕をタッチする
- 露出固定中は、✳が、露出を調整したときは✳、▣、露出の調整値が画面に出る。

ブラウザーリモートで調整する

① 「☀」を押す
- ボタン上の「☀」の下のバーがオレンジになる。

② 露出調整値ボタンを押す
- 選択可能な値が表示される。

③ いずれかを選ぶ
- 選んだ値がブラウザーリモートの画面に表示される。

タッチした被写体に自動的に露出を合わせる（タッチ露出）

タッチした部分を重点的に測光し、露出調整を行い固定します。カメラ設定メニューの「タッチ露出」で「ハイライト」を選択すると、タッチした部分が明るくなりすぎないように補正するので、白い雲などでも白とびしない範囲で明るく撮影できます。

1 ハイライトAEを使うとき　ハイライトを設定する

① MENUボタンを押す。
② 1　カメラ設定 ➤「タッチ露出」をタッチする。
③「H　ハイライト」をタッチする。
④ ✕をタッチする。

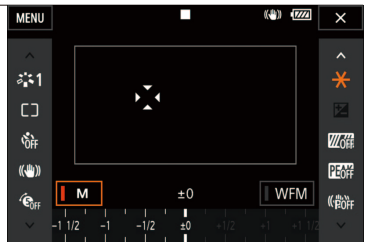
FUNC.
☀

2 FUNC. ➤ ☀（EXPロック）をタッチする

3 露出を調整する

画面上の、露出を合わせたい被写体をタッチする。

- タッチした場所に✳が点滅して、明るさが自動で調整され、露出が固定される。
- **M**ボタンがONになりメーターが表示される。
- メーターを左右にドラッグしてさらに調整することもできる。ジョイスティックで操作するときは、ジョイスティックを下に押すと、メーターにオレンジ色の線が表示されるので、ジョイスティックを左右に押して値を調整する。



✕ 4 ✕をタッチする

- 露出固定中は、✳が、露出を調整したときは✳、◪、露出の調整値が画面に出る。

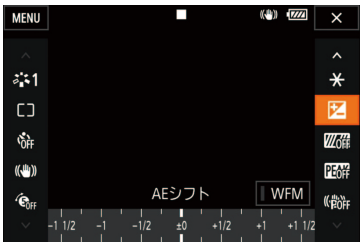
MEMO

- WFM（波形モニター）表示中はタッチ露出で調整することはできません。
- 「ルック」が「高輝度優先」のときは、ハイライトAEを設定できません。

■ 露出を調整する（AEシフト）

AEによって自動的に決められる露出を意図的に補正して、明るめや暗めに撮影できます。補正量は-2段～ +2段までの範囲で、設定できる値は以下の通りです。

動画： -2、-1 3/4、-1 1/2、-1 1/4、-1、-3/4、-1/2、-1/4、 ±0、+1/4、+1/2、+3/4、+1、+1 1/4、+1 1/2、+1 3/4、+2
静止画： -2、-1 2/3、-1 1/3、-1、-2/3、-1/3、 ±0、+1/3、+2/3、+1、+1 1/3、+1 2/3、+2



① FUNC. ➤ ◪（AEシフト）をタッチする。
② メーターを左右にドラッグして値を選ぶ。
- ジョイスティックで操作するときは、ジョイスティックを押すと、メーターにオレンジ色の線が表示されるので、ジョイスティックを左右に押して値を調整する。

③ ✕をタッチする
- 画面に◪と補正値が表示される。

MEMO

- EXPロックまたはタッチ露出が**M**のときは、AEシフトを設定できません。

明るさの調整のしかたを選ぶ（測光方式）

カメラ | 再生 | 4K | HD

撮影シーンに合わせて測光方式を選びます。撮影モードが、**P**、**Tv**、**Av**のときに使用できます。

動画カメラモード時

[ ]スタンダード　：画面中央の被写体に重点を置きながら、画面全体を測光する。
[ ]スポットライト　：スポット的に明るくなった部分が最適な明るさになるように制御する。
[ ]バックライト　：逆光時の暗部をより明るく制御する。

静止画カメラモード時

[ ]評価　：普段の撮影に適している。
[ ]中央部重点平均　：中央の被写体を適正露出に制御する。
[ ]スポット　：範囲の狭い、中央の被写体を適正露出に制御する。

FUNC.
[ ]
[ ]

1 測光方式を選ぶ

動画カメラモード時
① FUNC. ➤ [ ]（測光方式）をタッチする。
② いずれかをタッチする。

静止画カメラモード時
① FUNC. ➤ [ ]（測光方式）をタッチする。
② いずれかをタッチする。

×

2 ×をタッチする

ホワイトバランスを調整する

カメラ 再生 4K HD

太陽光や蛍光灯など周りの光によって、白い壁や白い紙などはオレンジっぽくなったり、青っぽくなったりします。撮影時の光に応じて「白いものを白く」写すように色を調整できます。動画カメラモード時「ショックレスWB」(172)を「ON 入」にすると、ホワイトバランスを切り換えたときに値がなめらかに変化します。撮影モードが**M**、**Av**、**Tv**、**P**のときに使用できます。

AWB オート	通常はAWB（オート）*1を選択。自動的に自然な色合いに調整される。
太陽光	晴天の屋外で撮影するときに選択。
日陰	日陰で撮影するときに選択。
くもり	曇天時に撮影するときに選択。
蛍光灯	昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、昼白色タイプ（3波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。
蛍光灯H	昼光色蛍光灯、昼光色タイプ（3波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。
電球	電球や電球色タイプ（3波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。
K 色温度	2000K ～ 15000Kの範囲で色温度を設定する。
セット1 セット2	実際に白い紙などを写して設定し、設定値を「セット1」または「セット2」として登録する。

*1 AWBはAuto White Balance（オート ホワイト バランス）の略です。

ホワイトバランスを選ぶ

FUNC.

1 ホワイトバランスを選ぶ

① FUNC. ➤ AWB（ホワイトバランス）をタッチする。
② いずれかをタッチする。
- 撮影する環境に合わせて目的のホワイトバランスを選ぶ。

K（色温度）を選んだとき
③ ➤ メーターを左右にドラッグして色温度を調整する。

撮影

(セット1)または(セット2)を選んだとき

③ グレーカードや白い無地の被写体を画面いっぱいに写す。

④ ▶「白取り込み」をタッチする。

- (セット)が点滅 ➤ 消灯に変わったら調整完了。調整されたホワイトバランスは電源を切っても記憶されている。

2 ✕をタッチする

MEMO

- (セット1)または(セット2)を選んで調整するとき
  - 場所や明るさが変わったときや、「NDフィルター」(172)の設定を切り換えたときは再調整してください。
  - 光によっては、ごくまれに(セット)が点滅 ➤ 消灯に変わらないことがありますが、自動調整よりも適切なホワイトバランスに調整されていますのでそのままお使いください。

AWB(オート)でうまくいかないとき

次のような条件で撮影するとき、画面の色が不自然であれば(セット1)または(セット2)で調整をしてください。

- 照明条件が急に変わる場所での撮影。
- クローズアップ撮影。
- 空や海、森など単一色しか持たない被写体の撮影。
- 水銀灯や一部の蛍光灯、LED照明のもとでの撮影。

- 蛍光灯の種類によっては、(蛍光灯)や(蛍光灯H)を選んでも色合いが最適に調整されないことがあります。画面で色が不自然に見えるときは、AWB(オート)または(セット1)または(セット2)を選んでください。

ブラウザーリモートで調整する

ブラウザーリモートを使って、ネットワークに接続した機器からリモートで調整できます。あらかじめリモート撮影（ブラウザーリモート）の準備を行っておいてください（158）。

1 ホワイトバランスの調整方法を選ぶ

① ホワイトバランスの調整方法を押す。
② いずれかを選ぶ。

「K（色温度）」を選んだとき　色温度を設定する

① 色温度の値を押す。
- 選択可能な色温度が表示される。

② いずれかの値を選ぶ。
- 選んだ色温度が決定され、ブラウザーリモートの画面に表示される。

1（セット1）または2（セット2）を選んだとき　基準白色を取り込んで、登録する

① グレーカードや白い無地の被写体をビデオカメラの画面いっぱいに写し、「」を押す。
- 「1」または「2」が早く点滅し、点灯に変わったら調整完了。

好みの画質にする（ルック）

カメラ | 再生 | 4K | HD

シャープネス、コントラスト、色の濃さを調整して撮影することができます。撮影モードがAUTOとSCN以外のときに設定できます。あらかじめ動画／静止画それぞれに9個のルックがプリセットされています。プリセットのルックをベースにして、好みに合わせて調整することもできます。

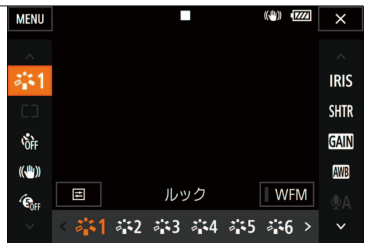
選択可能なルック

動画	1スタンダード	動画の基準画質設定です
	2Cinema EOS Std.	Cinema EOSのColor Matrix（カラーマトリクス）「Video」同等の業務機用の映像表現
	3ニュートラル	Cinema EOSのColor Matrix（カラーマトリクス）「Neutral」同等の忠実な色再現の映像表現
	4Production Camera*	Cinema EOSのColor Matrix（カラーマトリクス）「Production Camera」同等の映画制作用の映像表現
	5Color Matrix Off	Cinema EOSのColor Matrix「Off」同等の映像表現
	6Canon Log	ダイナミックレンジが広く、ポスト処理に適した色調の映像に
	7EOS Std.	EOSのピクチャースタイル「スタンダード」の鮮やかでくっきりした画質を再現
	8Wide DR	広いラチチュードを持つガンマとガンマに合わせた色再現に
	9 高輝度優先	高輝度領域も圧縮せずに自然な階調で撮影します。外部モニターは明るめ設定を推奨
	ユーザー設定1、ユーザー設定2	ベースのルックを登録し、好みにあわせて調整できます
静止画	Sスタンダード	静止画の基準画質設定です
	Pポートレート	人物の肌の色を、透明感ある健康的な表現に
	L風景	空の青や木々の緑などを鮮烈な印象で再現
	Nニュートラル	被写体のディテールを豊かに残し、画像加工にも適した画質
	F忠実設定	被写体の色そのものを記録する、現物重視の画像になります
	Mモノクロ	白黒になります
	Seセピア	セピアになります
	Clクリア	コントラストを強調し、立体的かつ、くっきりと表現
	Au紅葉	もみじやイチョウなどの色彩の美しさを際立たせます
	ユーザー設定1、ユーザー設定2	ベースのルックを登録し、好みにあわせて調整できます

* ガンマは、カラーグレーディング後をイメージしたWide DRを採用。

■ ルックを設定する

1 ルックを選んで調整する

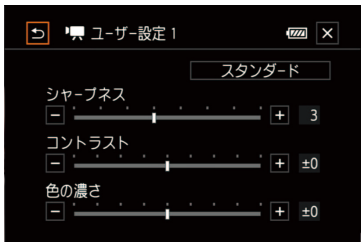


① FUNC. ➤ 1（ルック）*をタッチする。
* 静止画カメラモード時はS（ルック）
② いずれかのルックをタッチする。
③「Canon Log」以外を設定したときは、をタッチして詳細設定が可能。
④ ✕をタッチする

設定項目	設定値	内容
シャープネス	0～7	輪郭強調の強さを調整する。0：控えめ　7：強め
コントラスト*1	−4～+4	明暗差を調整する。−4：明暗差・弱　+4：明暗差・強
色の濃さ*2	−4～+4	色の濃さを調整する。−4：薄い　+4：濃い

*1 Production Camera、Wide DR、高輝度優先以外で設定可能。
*2 ニュートラル（動画）、モノクロ、セピア以外で設定可能。

「ユーザー設定」のとき



プリセットされたルックをベースとして登録し、好みに合わせて調整する。
① ➤「スタンダード」をタッチする。登録するルックを選ぶ。
- 「ユーザー設定」の「テンプレート選択」で「Canon Log」を選択したときは、シャープネス、コントラスト、色の濃さの詳細設定を変更することはできない。

② 「はい」➤ OK をタッチする。
- 詳細設定画面が表示されるので好みに合わせて調整する。

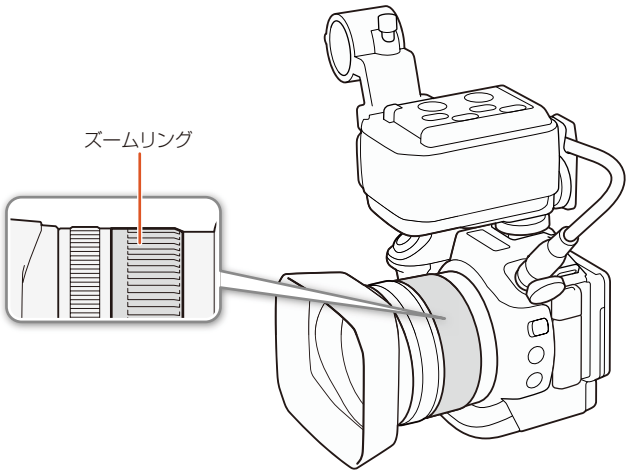
MEMO

- 「高輝度優先」を選んだとき、メニューの「ビューアシスト」（📖 176）を「入」にすると、より適切な映像を画面で確認することが出来ます。
- 「高輝度優先」設定時は、静止画記録できません（📖 55）。

ズームを操作する

カメラ | 再生 | 4K | HD

ズームリングを操作して、光学で10倍までズームできます。



■ ズームリングで操作する

ズームリングを回してズームを調整します。

MEMO

- ズームリングをすばやく操作すると、フォーカスの調整が追いつかなくなることがあります。このとき、ズームリングの操作終了より遅れてピントが合います。
- アサインボタンに「20x デジタルテレコン」を割り当てたり(124)、システム設定 ➤ 「FUNC. カスタマイズ」で「デジタルテレコン」(168)を割り当てたりすると、焦点距離を2倍にして撮影できます*。

* 映像をデジタル処理するため、ズームの全域で映像が粗くなります。

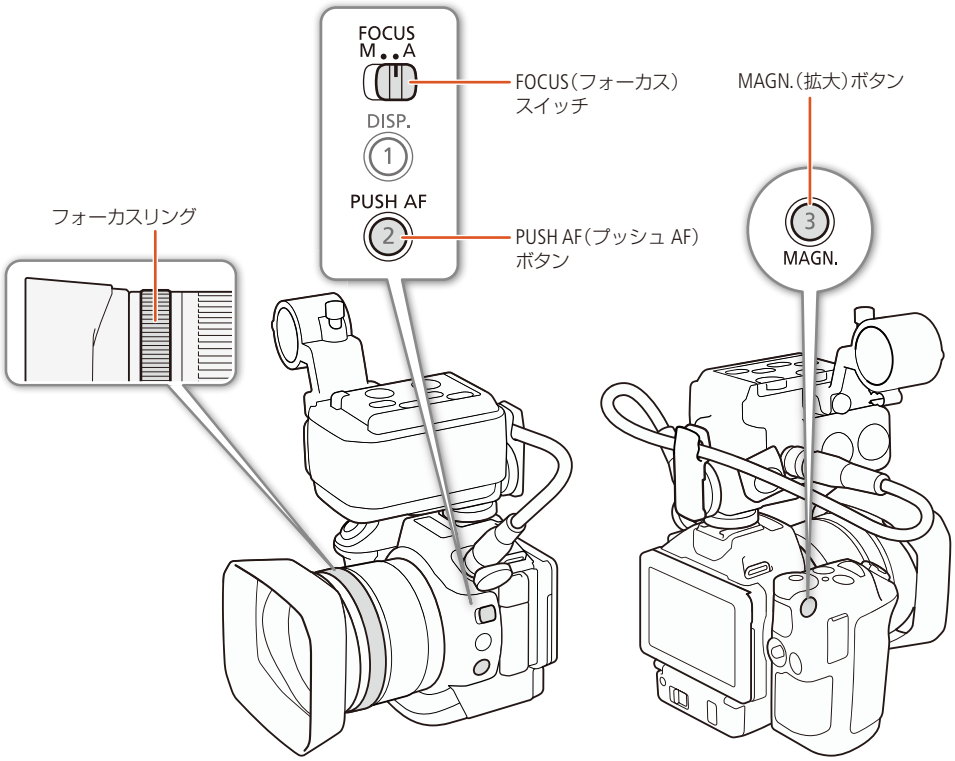
フォーカスを調整する

フォーカス調整のしかたには、次の3種類があります。マニュアルフォーカスで調整中は、ピーキング（輪郭強調）表示や拡大表示などのフォーカスアシスト機能を使うとピントを合わせやすくなります。

オートフォーカス（AF）：　常にフォーカスを自動調整する。フォーカスリング操作（回転端なし）も有効。

マニュアルフォーカス（MF）：　フォーカスリングを回すか、FUNC.でフォーカスを調整する。ブラウザーリモートでもフォーカスを調整できる。

PUSH AF（プッシュ AF）：　マニュアルフォーカス使用時に、PUSH AFボタンを押している間だけフォーカスを自動調整する。



■ オートフォーカス（AF）で調整する

カメラ　再生　4K　HD

TTL方式のオートフォーカスとなり、ファインダーの中央部にある被写体にピントが合うように、フォーカスを常に自動調整します。8cm（ワイド端のとき、レンズ先端から）～∞（無限遠）まで自動的にピント合わせが可能です。オートフォーカス中でもフォーカスリングを回すと、操作している間だけマニュアルフォーカスになります。操作をやめるとオートフォーカスに戻ります。ガラス越しに撮影するときなどに便利です。

1　FOCUSスイッチをAにする

- 画面にAFが表示される。

静止画カメラモード時のフォーカスの調整方法を選ぶ

カメラ 再生 4K HD

静止画カメラモード時、PHOTOボタンを浅く押したときに行われるピント合わせの方式をFUNC.メニューで選べます。また、設定に応じて、ピントを合わせるときに表示されるAF枠の表示のしかたが変わります。

1 「フォーカス優先」を選ぶ

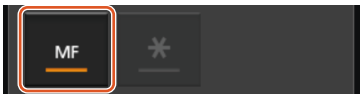
① FUNC. ➤「フォーカス優先」をタッチする。
② いずれかをタッチする

- 切： PHOTOボタンを押してすぐに記録したいとき。AF枠は表示されない。
- AiAF： 撮影状況によって、9つの枠の中から、自動でピントを合わせるAF枠を選ぶ。
- 中央固定：画面中央にAF枠が1つ表示され、枠内の被写体にピントを合わせる。ねらった被写体にピントを合わせたまま構図を変えることができる。

2 ✕をタッチする

ブラウザーリモートで操作する

ブラウザーリモートを使って、ネットワークに接続した機器からリモートで調整できます。あらかじめリモート撮影（ブラウザーリモート）の準備を行っておいてください（158）。ブラウザーリモートでは、本体の設定に関係なく、オートフォーカス（AF）とマニュアルフォーカス（MF）を切り換えられます。



① 「MF」を押して、オートフォーカス（AF）とマニュアルフォーカス（MF）を切り換える。
- オートフォーカスにすると、ボタン上の「MF」の下のバーが灰色になる。

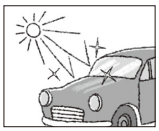
MEMO

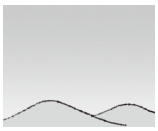
- 晴れた日の屋外など明るいシーンを撮影するときは、絞りが絞り込まれ、小絞りによるボケが生じます。このボケは、テレ側よりワイド側の方が目立ちます（被写体が小さく撮影されるため）。このときは、カメラ設定の「NDフィルター」（172）を「ON」にしてください。
- 録画モードを29.97P、23.98Pまたは24.00Pに設定していると、59.94Pまたは59.94iよりもフォーカスが合うまで若干時間がかかります。
- 暗い室内などで撮影するときは、絞りが開き、ピントの合う範囲が非常に狭くなります。このため、特に奥行きのある被写体を撮影すると、全体にボケたような画像に見えることがあります。
- カメラ設定の「AFスピード」で、オートフォーカス（AF）時のピントの合わせの速度を変更できます（171）。
  ただし、シャッターが遅くなるほど、「AFスピード」の設定によるピント合わせの速度の違いは小さくなります。

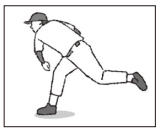
「フォーカス優先」について

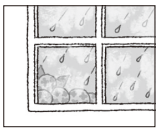
- FUNC.の「ドライブモード」で「凹 AF連続撮影」に設定しているときは、「▣ 中央固定」となります。
- 撮影モードのSCNで「打上げ花火」に設定しているときは、自動的に「切」になります。
- 撮影モードがAUTOのときは、自動的に「AiAF」になります。
- 「フェイスキャッチ&追尾」を「ON」にしているときは検出した顔にピントを合わせます。
- シャッタースピードが1/8未満のときは、PHOTOボタンを浅く押してもオートフォーカスでピント合わせを行わず、AF枠や●は黄色で表示されます。

オートフォーカス／プッシュ AFでピントが合いにくいとき


強い光が反射


画面中央に
明暗差がない


動きが速い


水滴が付いた
ガラス越しの撮影

夜景

マニュアルフォーカスで調整する

カメラ | 再生 | 4K | HD

フォーカスリングで調整する

フォーカスリングを回して、手動でフォーカス調整を行います。フォーカスリングの回転速度に応じてフォーカスが移動します。

1 FOCUSスイッチをMにする

- 画面にMFが表示される。

2 フォーカスリングを回してピントを合わせる

MEMO

- フォーカスリングの操作方向と敏感度を、カメラ設定の「フォーカスリング操作方向」および「フォーカスリング敏感度」でそれぞれ設定できます(172)。

FUNC.で操作する

1 FOCUSスイッチをMにする

- 画面にMFが表示される。

2 FUNC.に「フォーカス」を割り当てる

① MENUボタンを押す。
② 2 システム設定 ➤「FUNC.カスタマイズ」* ➤「フォーカス」をタッチする。
* 静止画カメラモード時は「FUNC.カスタマイズ」

3 ピントを合わせる

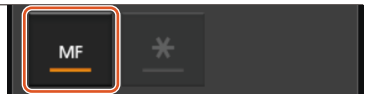
① FUNC. ➤ (フォーカス)をタッチする。
② 液晶画面上の、ピントを合わせたい被写体をタッチすると、タッチした場所に が点滅する。ピントが自動で調整された後にマニュアルフォーカスになる。

ブラウザーリモートで調整する

ブラウザーリモートを使って、ネットワークに接続した機器からリモートで調整できます。あらかじめリモート撮影(ブラウザーリモート)の準備を行っておいてください(158)。

1 「MF」を押して、フォーカスモードをマニュアル(MF)にする

- マニュアルにすると、ボタン上の「MF」の下のバーがオレンジ色になる。



‹ « ‹‹
› » ››

2 いずれかのフォーカス操作ボタンを押して、ピントを合わせる

- NEARのボタン(‹ 、« 、‹‹)を押すと至近方向に調整し、FARのボタン(› 、» 、››)を押すと無限方向に調整します。
- 調整量は押すボタンによって異なり、‹ / › は小、« / » は中、‹‹ / ›› は大です。

被写体との距離情報について

数値：有限距離
∞： 無限

フォーカスリング操作中は、被写体との距離情報が画面に数秒間表示されますので、目安として使用できます。距離の単位（m / ft）は、4 システム設定* ➤「距離単位」で設定できます（179）。

* 静止画カメラモード時は3 システム設定

MEMO

- ピントを合わせたあとでズーム操作を行うと、ピントがズレることがあります。
- 電源を入れたままで放置するとピントがボケることがあります。これはレンズとカメラ内部の温度上昇によってピント面がわずかに移動するためです。撮影を開始する前に再度ピントを確認してください。

フォーカスアシスト機能を使う

フォーカスを調整するとき、ピーキング（輪郭強調）表示や拡大表示を使うと、ピントが合わせやすくなります。両方を同時に使うこともできます。また、画面を白黒に変えて輪郭につける色（ピーキング色）をさらに強調することもできます。なお、色は「レッド」、「ブルー」、「イエロー」の3色から選ぶことができます。

ピーキング

FUNC.

1 ピーキングを選ぶ

FUNC. ➤ PEAK（ピーキング）をタッチする。

PEAK

2 ピーキング色を表示する

PEAK をタッチする。

- ピントの合った被写体の輪郭に色が表示される。

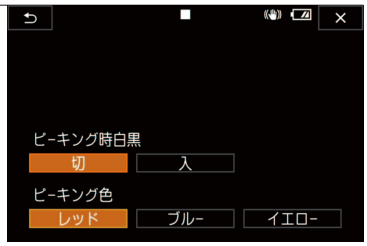
ピーキングを使わないとき

PEAK をタッチする。

3 ピーキング色を選ぶ

▶ いずれかをタッチする。

- 「ピーキング時白黒」を「入」にしたとき画面が白黒になり、ピーキング色がさらに強調される。



4 ✕をタッチする

拡大表示

1 MAGN.(拡大)ボタンを押す

FUNC. ▶ MAGN. 「拡大表示」▶「実行」でも設定できる。

- 画面に MAGN. が表示され、画面の中心部が約2倍*に拡大される。
  * 倍率は記録信号形式の解像度によって異なる。
- 拡大領域の位置を示す表示が画面に出る。

2 必要に応じて拡大位置を移動させる

画面をドラッグ、またはジョイスティックを上下左右に押して、拡大位置を移動させる。

- もう一度MAGN.ボタンを押すか、✕をタッチすると拡大表示が解除される。

MEMO

- ピーキング表示／拡大表示は画面にのみ表示され、出力端子から出力される映像には表示されません。また、記録される動画／静止画には影響しません。
- カラーバー表示中は拡大表示できません。
- WFM（波形モニター）表示中に拡大表示を設定すると、WFM表示は解除されます。

PUSH AF(プッシュ AF)で調整する

カメラ | 再生 | 4K | HD

PUSH AF

マニュアルフォーカス時、PUSH AFボタンを押している間だけ、フォーカスの自動調整ができます。

MEMO

- PUSH AF(プッシュ AF) を使用するときは、オートフォーカスのMEMOと「オートフォーカス／プッシュ AFでピントが合いにくいとき」をご確認ください(88)。

顔を検出してフォーカスを合わせる（フェイスキャッチ＆追尾）

カメラ | 再生 | 4K | HD

AFモード時、人物の顔を検出して自動的にピントを合わせ、被写体が動いても追尾します。複数の人物を検出したときは、主な被写体を自動的に決定し、その人物にピントを合わせます。主な被写体を変更することもできます。被写体を選ぶときは、タッチパネルで操作してください。

MENU

1 フェイスキャッチ＆追尾を選ぶ

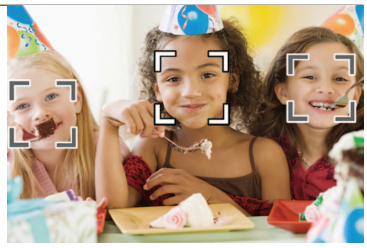
① MENUボタンを押す。
② 1 カメラ設定* ➤「フェイスキャッチ＆追尾」をタッチする。
* 静止画カメラモード時は1 カメラ設定
③ ON(入) をタッチする。

解除するとき
OFF(切)をタッチする。

④ ✕をタッチする。

2 カメラを人物に向ける

- 主な被写体と判断した顔に白い枠、その他の顔にグレーの枠が表示される。



複数の人物から特定の人を選ぶとき

特定の人物をタッチする。

- タッチした被写体に白い2重枠が出る。
- 被写体が動くと、自動で枠も一緒に動く。

解除するとき

「解除」をタッチする。

MEMO

- 人物以外の被写体を、誤って顔として検出することがあります。そのときは「フェイスキャッチ&追尾」を「切」にしてください。
- 撮影モードがAUTOのときは、自動的に「フェイスキャッチ&追尾」が「入」になります。
- 被写体の特徴的な部分（色など）をタッチすると追尾しやすくなります。なお、タッチした被写体と特徴が似ている被写体が周囲にあると、別の被写体を追尾することがあります。そのときは、もう一度被写体をタッチしてください。

顔が検出されない主な例

- 顔が画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗いまたは明るいとき。
- 顔が横や斜めを向いていたり、顔が上下逆さのとき、顔の一部が隠れたりしているとき。

フェイスキャッチ&追尾が使用できない場合

- シャッタースピードを1/30秒未満にしているとき（「4K録画モード」、「HD録画モード」が23.98Pまたは24.00Pのときは、1/24秒未満）。
- 撮影モードのSCNで「夜景」、「ローライト」、「打上げ花火」を設定しているとき。
- 「Slow & Fastモーション」で「x1/4」を設定しているとき。
- 静止画カメラモード時、「ドライブモード」で「AF連続撮影」を設定しているとき。
- 「Rolling Shutterひずみ軽減」で「入」を設定しているとき。

手ブレ補正を使う

手持ちで撮影するときに手ブレの少ない安定した映像を撮影できます。補正方式は次の2種類があり、撮影のしかたによって選べます。また、静止して望遠撮影するときは、パワードISを使うと大きな手ブレを抑えることができます。

スタンダード： 静止して手持ちで撮影するときなどの比較的小さな手ブレを補正。自然な映像が撮影できる。
ダイナミック*： 歩きながら撮影するときなどの大きな手ブレを補正。ズームを広角側にするほど補正効果が大きい。
切： 三脚などを使って撮影するとき。

* 4K動画撮影、Slow & Fastモーション撮影、静止画カメラモード時のときは設定できません。

手ブレ補正を設定する

カメラ | 再生 | 4K | HD

1 手ブレ補正を有効にする

① FUNC. ➤ （手ブレ補正）をタッチする。
② いずれかの補正方式をタッチする。静止画カメラモード時は「入」と「切」になる。
- 画面に または が表示される。
- 手ブレ補正を使用しないときは をタッチする。

③ ✕をタッチする。

望遠撮影時の大きな手ブレを抑える（パワードIS）

カメラ | 再生 | 4K | HD

パワードISを使うと、補正方式がパワードISになり、静止して望遠撮影するときの大きな手ブレを抑えることができます。補正効果はズームを望遠側にするほど大きくなります。パンやチルトなどカメラを動かす撮影には向きません。

① FUNC. ➤ （パワードIS）をタッチする。
② をタッチする。
- 画面に が表示される。
- をタッチすると、元の手ブレ補正方式に戻る。

③ ✕をタッチする。

MEMO

- アサインボタンに「パワードIS」を割り当てると、アサインボタンを押して、パワードISの入／切を切り換えることができます（124）。
- 手ブレが大きすぎると補正しきれないことがあります。
- ダイナミックIS使用時、大きな手ブレを補正すると画像の周辺の画質が劣化（ゴースト、ひずみ、暗くなるなど）することがあります。
- 「ダイナミック」設定時と「スタンダード」、「切」設定時とでは、撮影画角が変わります。

マーカー／ゼブラパターンを表示する

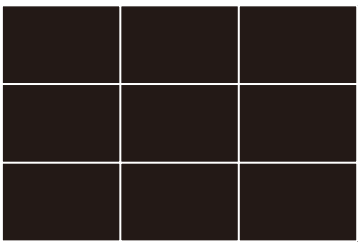
カメラ 再生 4K HD

撮影時、画面に各種マーカーやゼブラパターンを表示することができます。これらの表示は記録される映像には影響しません。

マーカーを表示する

構図を決める際のガイドとして、次の2種類のマーカーを表示することができます。表示する色を「白」または「グレー」から選べます。

水平マーカー



グリッド

① MENUボタンを押す。
② 2　カメラ設定* ➤「マーカー表示」をタッチする。
* 静止画カメラモード時は1　カメラ設定
③ いずれかのマーカー表示をタッチする。
④ ✕をタッチする。

MEMO

● 他の画面表示を消して、マーカーだけを表示することもできます（61）。

ゼブラパターンを表示する

露出オーバーで白とびするおそれがある領域に、縞状のパターンを表示することができます。「100%」では白とびするような明るさのとき、「70%」ではそれに近い明るさのときに縞模様が表示されます。

ゼブラパターンを選ぶ

表示するゼブラパターンを選び、輝度レベルを設定します。

① FUNC. ➤ ゼブラ（ゼブラ）をタッチする。
② 「ゼブラ 70」または「ゼブラ 100」をタッチする。

ゼブラパターンを表示しないとき
ゼブラ OFFをタッチする。

③ ✕をタッチする。

MEMO

- ゼブラパターンはHDMI OUT端子からは出力されません。

波形モニターを表示する

カメラ | 再生 | 4K | HD

画面に波形モニター（Waveform Monitor）を表示することができます。波形モニターは液晶画面のみに表示され、HDMI OUT端子からの映像には表示されません。

1 モニター表示を有効にする

① 右FUNC.メニューに「絞り」、「シャッター」、「ISO/ゲイン」、「EXPロック」、「AEシフト」、「Waveform Monitor」のいずれかを割り当てる（123）。

② 割り当てた項目をタッチする。

- WFMをタッチすると波形モニターが表示される。WFMをタッチするたびに波形モニター表示が入／切される。
- 「Waveform Monitor」を選んだときは、「実行」をタッチする。✕をタッチすると波形モニター表示が消える。

MEMO

- アサインボタンに「WFM Waveform Monitor」を割り当てると、アサインボタンを押して、波形モニターの入／切を切り換えることができます。
- WFM（波形モニター）表示中に拡大表示を設定すると、WFM表示は解除されます。

撮影

タイムコードを設定する

カメラ 再生 4K HD

撮影時に内蔵のタイムコードジェネレーターでタイムコードを生成できます。生成したタイムコードは、映像とともに記録メディアに記録されるほか、HDMI OUT端子に出力される映像にも重畳されます。
タイムコードのカウントアップ方式には次の3種類があります。また、「録画モード」が「23.98P」、「24.00P」以外のときは、ドロップフレームとノンドロップフレームを選択できます。

Rec Run（レックラン）：　タイムコードは記録時に歩進する。タイムコードの初期値は任意に設定可能。同一のメディアに記録中、タイムコードは記録したクリップの順で連続する。

Free Run（フリーラン）：　タイムコードは、記録状態に関係なく常に歩進する。初期値は任意に設定可能。

Regen.（リジェネ）：　タイムコードは記録時に歩進する。記録メディアに記録されている最後のタイムコードを読み出し、その続きから歩進する。同一のメディアに記録中、タイムコードは記録したクリップの順で連続する。

■ カウントアップ方式を選ぶ

カウントアップ方式は、歩進モード（タイムコードモード）で「Preset」または「Regen.」を選びます。「Preset」を選んだときは、歩進方法（タイムコードラン）で「Rec Run」または「Free Run」を選び、任意の初期値を設定します。

1 歩進モードを選ぶ

① MENUボタンを押す。
② 2　記録設定 ➤「タイムコードモード*」をタッチする。
　*「システム周波数」が「24.00 Hz」時は1　記録設定。
③「PRESET Preset」または「REGEN. Regen.」をタッチする。
　PRESET Preset：「タイムコードスタート値」で設定した任意のタイムコードから歩進する。
　REGEN. Regen.：記録メディアに記録されている最後のタイムコードの続きから歩進する。
　●「REGEN. Regen.」を選んだときは、操作4へ進む。
④ ⮌をタッチする。

2 「Preset」を選んだ場合　歩進方法を選ぶ

①「タイムコードラン」をタッチする。
②「REC RUN Rec Run」または「FREE RUN Free Run」➤ ⮌をタッチする

3 「Preset」を選んだ場合　任意の初期値を設定する

① 「タイムコードスタート値」をタッチする。
- タイムコードの設定画面が表示され、「時」の桁が選択される。
- 「リセット」をタッチすると、タイムコードが「00:00:00.00」にリセットされる。「Free Run」を選んでいるときは、リセット後のタイムコードから歩進を続ける。
- 設定を途中で中止するときは「キャンセル」をタッチする。

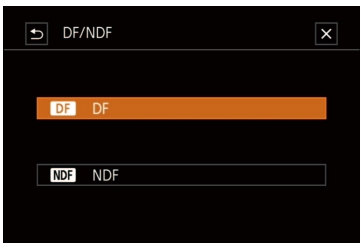
② ▲ ／ ▼をタッチして数値を選ぶ。

③ ②の操作を繰り返して、「分」、「秒」、「フレーム」の数値を選ぶ ➤ 「OK」をタッチする。
- 「Free Run」を選んでいるときは、この時点で設定値のタイムコードから歩進する。

4 ✕をタッチする

ドロップフレーム／ノンドロップフレームを切り換える

ドロップフレーム（DF）またはノンドロップフレーム（NDF）を切り換えることができます。なお、「録画モード」が「23.98P」、「24.00P」のときはNDFに固定され、メニューでDFまたはNDFを選ぶことはできません。



① MENUボタンを押す。

② 2　記録設定 ➤ 「DF/NDF」を順に選ぶ。

③ 「DF」または「NDF」を選ぶ ➤ ✕をタッチする。
- DFとNDFで画面上のタイムコード表示が次のように異なる。
  DFのとき　00：00：00. 00
  NDFのとき　00：00：00：00

MEMO

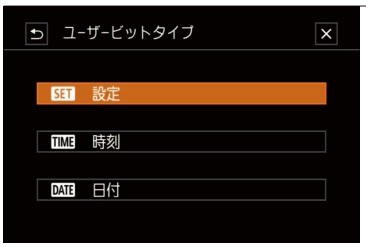
- タイムコードのフレームカウントは、フレームレートが23.98P、24.00Pのときは0 ～ 23、それ以外は0 ～ 29となります。「録画モード」が23.98Pで、HDMI出力が59.94i (P)時、または「録画モード」が24.00Pで、HDMI出力が60.00P時、HDMI端子から出力されるタイムコードは0 ～ 29に振り直されます。
- 「Slow & Fastモーション」記録のときは、「Free Run」は使用できません。また、プレRECのときは「Free Run」固定となり、カウントアップ方式は設定できません。
- ドロップフレーム、ノンドロップフレームを混在させて録画すると、撮影開始時のタイムコードが不連続になることがあります。
- 内蔵2次電池が充電されていれば、バッテリーなどの電源がなくても、フリーランタイムコードは歩進します。ただし、電源ON時に比べて精度が低下します。

ユーザービットを設定する

カメラ 再生 4K HD

8桁の16進数（0 ～ 9、A ～ Fの英数字）をユーザービットとして設定し、映像と一緒に記録メディアに記録されるほか、HDMI OUT端子にも出力できます。ユーザービットには、撮影情報や撮影した映像の管理情報など、記録／出力した映像に付加したい情報を自由に設定することができます。また、時刻や日付（年月日）をユーザービットとして記録／出力することもできます。

任意の16進数を設定する



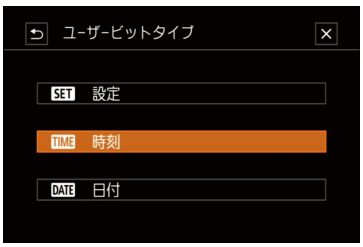
1 「設定」を選ぶ

① MENUボタンを押す。
② 2 記録設定 ➤「ユーザービットタイプ」をタッチする。
③「SET 設定」をタッチする。
- ユーザービットの設定画面が表示され、一番左の桁が選択される。
- 設定を途中で中止するときは「キャンセル」を押す。

2 8桁の任意の16進数を入力する

① ▲ ／ ▼をタッチして数値を選ぶ。
② ①の操作を繰り返して、残りの桁の英数字を選ぶ ➤「OK」をタッチする。
③ ✕をタッチする

時刻または日付を設定する



① MENUボタンを押す。
② 2 記録設定 ➤「ユーザービットタイプ」をタッチする。
③「TIME 時刻」または「DATE 日付」をタッチする。
④ ✕をタッチする

ユーザービットを出力する

設定したユーザービットをHDMI OUT端子から出力します。「録画モード」が23.98Pや24.00Pで撮影する場合、MENU ➤ 2 記録設定メニュー ➤「ユーザービット出力モード」を「PULLDOWN プルダウン」にすると、ユーザービットが2：3プルダウン情報になります。

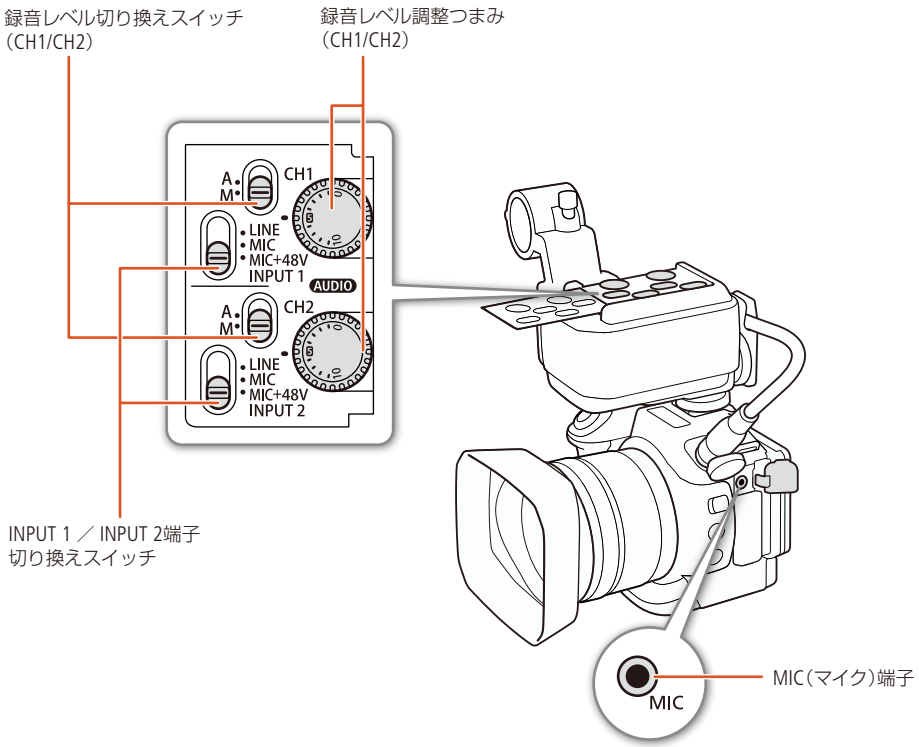
音声を記録する

カメラ | 再生 | 4K | HD

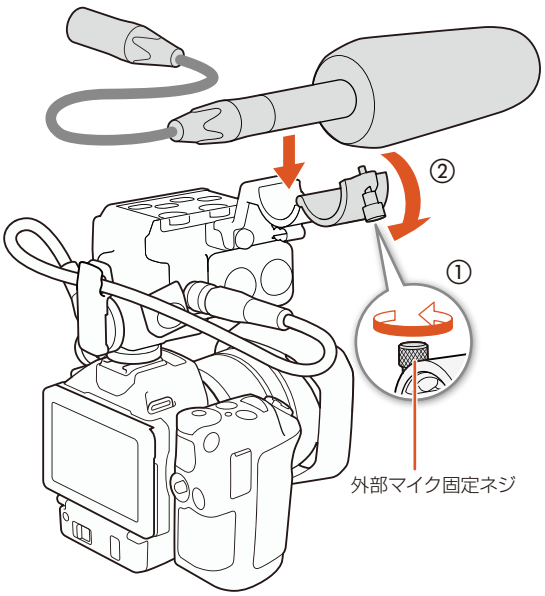
本機では、2チャンネルのリニアPCM記録方式の音声を記録／再生できます。サンプリング周波数は48kHzです。収録する音声は、外部マイク入力（Φ3.5mmマイク／ INPUT端子*）、外部ライン入力（INPUT端子*）、内蔵マイクから選択できます。

「Slow & Fastモーション」記録時、音声は記録されません。

* マイクロホンアダプター MA-400装着時のみ

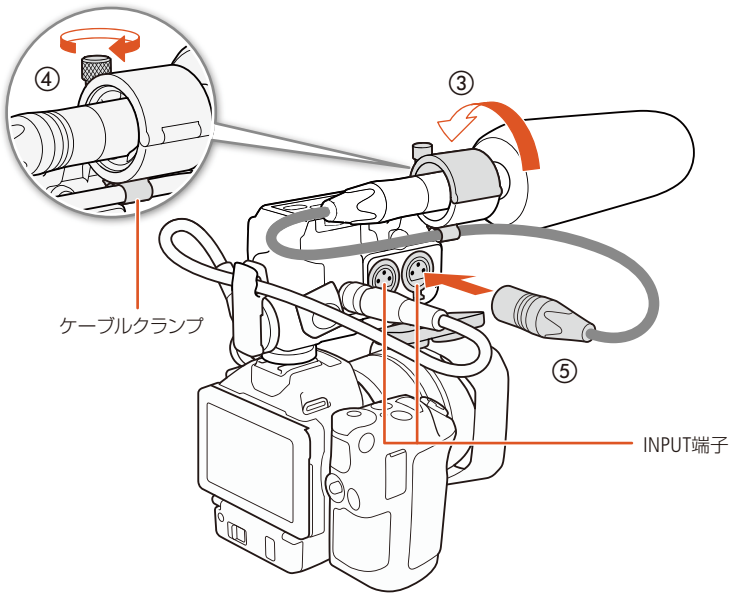


■ 外部マイク／外部ライン入力を本機に接続する



1 マイクのとき

外部マイク固定ねじをゆるめ（①）、外部マイクホルダーを開く（②）



2 マイクのとき

外部マイクを取り付けて固定し（③）、ケーブルをクランプにとめる（④）

3 外部マイク／外部ライン入力機器のケーブルを本機に接続する（⑤）

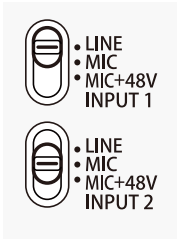
■ 内蔵マイク／外部マイク（Φ3.5mm）の音声を選択する

マイクロホンアダプター MA-400を装着したまま内蔵マイク／外部マイク（Φ3.5mm）で音声を収録するときは、メニューでINPUT端子からの入力を無効に設定します。

① MENUボタンを押す。
② ♪)1　オーディオ設定 ➤「INPUT 1/2」を順に選ぶ。
③「INPUT OFF 切」を選ぶ。
④ ✕をタッチする。
- Φ3.5mmマイク端子にマイクを接続すると、内蔵マイクからΦ3.5mmマイクへ自動的に切り換わる。

外部マイク（INPUT端子）／外部ライン入力（INPUT端子）の音声を選択する

INPUT 1端子とINPUT 2端子の音声入力はそれぞれ個別に選択できます。



1 INPUT 1 ／ INPUT 2端子切り換えスイッチをLINE（ライン）またはMIC（マイク）にする

- ファンタム電源が必要なマイクを使うときはMIC＋48Vに切り換える。ファンタム電源をONにするときはマイクを接続してから行い、OFFにするときは接続したまま行う。
- INPUT端子を1チャンネルのみ使用するときは、INPUT 1端子を使用する。

ご注意

- ＋48V対応のマイク以外の機器を接続するときは、必ずLINEまたはMICを使用してください。「MIC+48V」のままで使用すると、接続したマイクなどの機器が故障することがあります。

CH2に記録する入力音声を選ぶ

CH2に録音する入力音声をINPUT 1端子とINPUT 2端子から選択できます。CH1にINPUT 1端子の音声を記録し、CH2にINPUT 1端子の音声のバックアップを記録するときなどに使用します。その場合、CH1 / CH2の録音レベルを独立して設定することもできます。

① MENUボタンを押す。
② ♪)1 オーディオ設定 ➤「CH2入力」を順に選ぶ。
③「INPUT2 INPUT 2」または「INPUT1 INPUT 1」を選ぶ。
④ ✕をタッチする。

INPUT 2：INPUT 1 ／ INPUT 2端子の入力をそれぞれCH1 / CH2として録音する。
INPUT 1：INPUT 1端子の入力をCH1 / CH2の両方に録音する。INPUT 2端子の音声は録音されない。

INPUT端子の録音レベルを調整する

INPUT端子の録音レベルはチャンネルごとにオート／マニュアルを個別に設定できます。

オートで調整する

録音レベル切り換えスイッチをA（オート）にすると、そのチャンネルの録音レベルがオートになり、自動調整されます。

INPUT 1 ／ INPUT 2端子の録音レベル調整を連動させる

INPUT 1 ／ INPUT 2端子が同じ音声入力（外部ライン入力または外部マイク）に設定されている場合、録音レベルをオートに設定すると、CH1とCH2のレベル調整を連動させることができます。♪)))オーディオ設定メニュー ➤「INPUT 1/2 ALCリンク」（175）で設定します。

マニュアルで調整する

INPUT 1 ／ INPUT 2端子の録音レベルをそれぞれ個別に手動調整できます。調整は−∞〜 +18 dBの範囲で行うことができます。

1 **録音レベル切り換えスイッチをM（マニュアル）にする**

2 **録音レベル調整つまみを回して、調整する**

- つまみの0（−∞） 〜 5（0 dB） 〜 10（+18 dB）の範囲でレベルを調整できる。
- 画面に表示されるオーディオレベルメーターの−18 dB（−20 dBのひとつ右隣り）より右が時々点灯するように調整する。

音声信号レベルを制限する

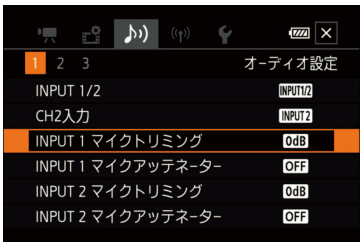
過大な音声入力によるひずみを防止するために、音声信号レベルを制限することができます。録音レベルをマニュアルで調整するときに、入力レベルが約−6 dBFSを超えると自動的に信号レベルを制限してひずみを防止します。CH1とCH2のいずれかがマニュアルレベル調整のときに設定できます。設定は、MENU ➤ ♪)))オーディオ設定メニュー 2 ➤「INPUT 1/2 リミッター」（175）で行います。

MEMO

- レベルメーターが適切に表示されているのに音がひずむときは、INPUT端子に接続した機器ではメニューで「INPUT1(2) マイクアッテネーター」を「入」にしてください(175)。
- 録音レベルを調整したり、「INPUT1(2) マイクアッテネーター」を「入」に設定したりしているときは、ヘッドホンで音量を確認することをおすすめします(111)。

外部マイク (INPUT端子)の入力感度を調整する

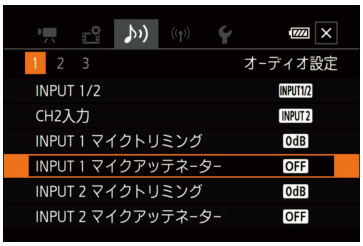
INPUT 1 ／ INPUT 2端子切り換えスイッチがMICまたはMIC+48Vのときに機能します。



① MENUボタンを押す。
② ♪)))オーディオ設定メニュー1 ➤「 INPUT 1 マイクトリミング」または「INPUT 2 マイクトリミング」をタッチする。
③ 下記のいずれかをタッチする。
+12 dB、+6 dB、0 dB、−6 dB、−12 dB
④ ✕をタッチする。

外部マイク (INPUT端子)のアッテネーターを使う

INPUT 1 ／ INPUT 2端子切り換えスイッチがMICまたはMIC+48Vのときに機能します。



① MENUボタンを押す。
② ♪)))オーディオ設定メニュー 1 ➤「 INPUT 1 マイクアッテネーター」または「INPUT 2 マイクマイクアッテネーター」をタッチする。
③「入」をタッチする。
④ ✕をタッチする。
- マイク信号にアッテネーター (20 dB)がかかる。

■ 市販のマイクを使う

本機には市販のマイクを取り付けることもできます。電源を内蔵したコンデンサーマイクをお使いください。端子の直径が3.5 mmのステレオマイクなら、多くが使用できます。ただし、録音時の音量は内蔵マイクと異なります。

1 市販のマイクをMIC端子につなぐ

MEMO

- 外部マイクを取り付けているとき、Wi-Fi機能使用時に音にノイズが出ることがあります。なるべく本機から外部マイクを離して使用してください。

■ マイクレベルを調整する

内蔵マイクや外部マイク（Φ3.5mm）の録音時の音量（マイクレベル）を手動で調整できます。

1 マニュアル設定にする

① FUNC. ➤ 🎙A（マイクレベル）をタッチする。
② 🎙Mをタッチする。
- レベルメーターと調整用の◀／▶が表示される。

2 マイクレベルを調整する

- ◀または▶をタッチして調整する。
- レベルメーターの表示が-10dBよりも右が時々点灯する状態を目安に調整する。

自動調整に戻すとき
🎙Aをタッチする。

3 ✕をタッチする

MEMO

- レベルメーターの「0」の位置が赤く表示されているときは、音がひずむことがあります。
- マイクレベルを調整したり、「内蔵マイクアッテネーター」を「入」にしたりしているときは、ヘッドホンで音量を確認することをおすすめします(111)。

外部マイクにアッテネーターを使う

外部マイク使用時、MIC端子の信号に対し大音量の音声がひずまないように、アッテネーター(20 dB)を使用します。

1 MICアッテネーターを選ぶ

① MENUボタンを押す。
② ♪))2 オーディオ設定 ➤「MICアッテネーター」をタッチする。
③ いずれかをタッチする。

ON 入	アッテネーターが常に働き、音の強弱をより忠実に記録できる。
OFF 切	アッテネーターは常に働かない。

2 ✕をタッチする

MICローカットを使う

外部マイク使用時、屋外で撮影するときに発生する風の音や、低い音を低減します。風の影響を受けない場所で撮影するときや、低音まで収録するときは「切」を選びます。

1 MICローカットを選ぶ

① MENUボタンを押す。
② ♪))2 オーディオ設定 ➤「MICローカット」をタッチする。
③ ON（入）をタッチする。

2 ✕をタッチする

内蔵マイクのアッテネーターを使う

大音量の音声がひずまないように、内蔵マイクの信号に対しアッテネーター（20 dB）を使用します。

1 内蔵マイクアッテネーターを選ぶ

① MENUボタンを押す。
② ♪))2 オーディオ設定 ➤「内蔵マイクアッテネーター」をタッチする。
③ いずれかをタッチする。

ON 入	常にアッテネーターが働き、音の強弱をより忠実に記録できる。
OFF 切	常にアッテネーターは働かない。

2 ✕をタッチする

内蔵マイクローカットを使う

内蔵マイク使用時、屋外で撮影するときに発生する風の音や、低い音を低減します。風の影響を受けない場所で撮影するときや、低音まで収録するときは「切」を選びます。

1 内蔵マイクアッテネーターを選ぶ

① MENUボタンを押す。
② ♪)) オーディオ設定メニュー 2 ➤「内蔵マイクローカット」をタッチする。
③ いずれかをタッチする。

LC2 Low Cut 2	海辺やビルの近くなど風の強いところ、常に風の影響を受ける屋外で撮影する場合に、風の「ボコボコ」という音の影響を低減する。収録する低い音の一部も風の音と一緒に低減される。
LC1 Low Cut 1	人の声を中心に録音するとき。
OFF 切	

2 ✕をタッチする

内蔵マイクの感度を変更する

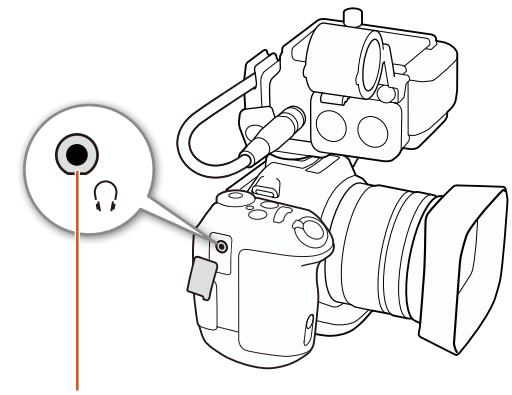
1 内蔵マイク感度を選ぶ

① MENUボタンを押す。
② ♪)) オーディオ設定メニュー 3 ➤「内蔵マイク感度」をタッチする。
③ いずれかをタッチする。

NORM ノーマル	通常感度
HIGH ハイ	高感度

2 ✕をタッチする

■ ヘッドホンでモニターする



🎧(ヘッドホン)端子

Φ3.5mmステレオミニプラグのヘッドホンを🎧(ヘッドホン)端子に接続して、収録される音声をモニターできます。

① MENUボタンを押す。
② 🎵3　オーディオ設定 ➤「ヘッドホン音量」をタッチする。
③ 🎧または🎧をタッチして音量を調整する。
- メーターを左右にドラッグしても調整できる。

④ ✕をタッチする。
- 調整した位置で音量が固定される。

カラーバー／テストトーンを記録する

カメラ 再生 4K HD

測定器の調整やモニターの輝度・色相・彩度の調整を行うために、カラーバーを出力／記録することができます。また、同時に1 kHzのテストトーンを出力／記録することもできます。カラーバーとテストトーンは次の端子にも出力されます。

	HDMI OUT端子*	∩(ヘッドホン)端子
カラーバー	●	—
テストトーン	●	●

* 4K録画モード時、記録されるカラーバーは4K解像度（3840x2160）ですが、HDMI端子から出力されるカラーバーはHD解像度（1920x1080）になります。

■ カラーバーを記録する

出力／記録するカラーバーは、SMPTE準拠、EBU準拠、ARIB準拠のいずれかをメニューで選べます。

1 カラーバーのタイプを選ぶ

① MENUボタンを押す。
② 3 記録設定 ➤「カラーバー」をタッチする。
③「SMPTE SMPTE」、「EBU EBU」、「ARIB ARIB」のいずれかをタッチする。
- 画面にカラーバーが表示される。

2 ✕をタッチする

- START/STOPボタンを押して撮影を開始すると、カラーバーを記録できる。
- 電源を切るか再生モードに切り換えると、自動的に「切」になる。

■ テストトーンを記録する

テストトーンのレベルは、接続する機器に合わせて－12 dB、－18 dB、－20 dBから選ぶことができます。

① MENUボタンを押す。
② 3 記録設定 ➤「1 kHzトーン」をタッチする。
③「-12dB －12 dB」、「-18dB －18 dB」、「-20dB －20 dB」、「OFF 切」のいずれかをタッチする。
④ ✕をタッチする。
- 選択したレベルのテストトーンが出力される。
- START/STOPボタンを押して撮影を開始すると、カラーバーとテストトーンを記録できる。

スロー&ファストモーション記録を行う

カメラ 再生 4K HD

再生時と異なるフレームレートで記録することにより、再生時にスローモーションやファストモーションの効果を得ることができます。記録中、音声は記録されません。

設定する

1 スロー&ファストモーション記録を設定する

① 「Slow & Fastモーション」アイコンをタッチする。
MENU ➤ 1 記録設定 ➤ 「Slow & Fastモーション」でも設定できる。
② いずれかの倍速設定をタッチする。

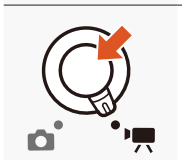
解除するとき OFF 通常記録をタッチする。

③ ⮌または✕をタッチする。

スロー&ファストモーション記録モードで撮影する

1 START/STOPボタンを押す

- 設定した倍速設定で記録される。
- 画面に、設定した倍速が表示され、タリーランプが点灯する。



2 撮影を停止するとき もう一度START/STOPボタンを押す

- 撮影が終了し、クリップとして記録される。タリーランプは消灯する。

MEMO

- 「システム周波数」が「24.00 Hz」のときは、設定できません。
- プレ記録と同時に使用することはできません。
- スロー &ファストモーション記録モードで撮影中に、倍速設定を変更することはできません。
- 4K撮影時、x1/4、x1/2のスロー記録は設定できません。
- スロー&ファストモーション記録設定時、フレームレートは自動的に29.97Pに変更して記録されます。
- x1/4のスロー記録設定時、「フェイスキャッチ&追尾」は設定できません。
- 録画モードを変更すると、Slow & Fastモーション記録は解除されます。
- x1/4設定時は、1280x720 (29.97p) 18Mbpsのクリップとして記録されます。

タイムコードについて

カウントアップ方式と歩進

Slow & Fastモーション記録中のタイムコードは、Rec Run（レックラン）またはRegen.（リジェネ）で記録され、記録フレーム数ずつ歩進します。Free Run（フリーラン）に設定している状態でSlow & Fastモーション記録モードにすると、強制的にRec Run（レックラン）に設定され、Slow & Fastモーション記録モードを解除すると、元のカウントアップ方式に戻ります。

プレ記録を行う

カメラ 再生 4K HD

プレ記録モード（プレREC）では、START/STOP（スタート／ストップ）ボタンを押して撮影を開始する約5秒前からの映像と音声を記録することができます。HD動画撮影時のみ設定できます。

FUNC.

1 プレRECを設定する

① FUNC. ➤ （プレREC）をタッチする。
② をタッチする。
● 画面にが表示され、プレRECモードになる。

解除するとき
をタッチする。

2 START/STOPボタンを押す

● 撮影が開始され、タリーランプが点灯する。

撮影を停止するとき
もう一度START/STOPボタンを押す。
● 撮影開始5秒前からの映像が記録される。タリーランプは消灯する。

MEMO

プレRECのタイムコードについて

プレREC中のタイムコードは、Free Run（フリーラン）で記録されます。タイムコードの記録は、撮影開始操作の約5秒前から行われます。Rec Run（レックラン）またはRegen.（リジェネ）に設定しているときにプレRECモードにすると、強制的にFree Run（フリーラン）に設定されます。プレRECを解除すると、元のカウントアップ方式に戻ります。

● Slow & Fastモーション記録と同時に使用することはできません。
● メニューを表示したときや、ルック（83）の設定を変更すると、プレRECモードは解除されます。

インターバル記録を行う

カメラ | 再生 | 4K | HD

間隔を空けて自動的に静止画を連続して記録して、時間の経過に伴う変化を表現できます。

1 インターバル記録を選ぶ

① 「インターバル記録」アイコンをタッチする。
1 記録設定 ➤「インターバル記録」でも設定できる。
② いずれかの記録間隔をタッチする。

解除するとき　OFF（切）をタッチする。

③ ⮌または✕をタッチする。

2 撮影する

PHOTOボタンを押す。

- 記録が始まる。
- 次の撮影までの時間がカウントダウンされる。静止画が記録されると、記録した静止画の枚数が表示される。

3 撮影を終える

PHOTOボタンを押す。

MEMO

- インターバル記録中は、フェイスキャッチ＆追尾、タッチフォーカス、EXPロック、タッチ露出、AEシフトは使用できません。
- ピントはインターバル撮影を開始すると固定されます（撮影中はオートフォーカスは停止します）。
- カードによっては書き込みに時間がかかり、設定した間隔以上でのインターバル記録になる場合があります。

セルフタイマー

カメラ | 再生 | 4K | HD

セルフタイマーを「2秒」または「10秒」にして、START/STOP（PHOTO）ボタンを押すと、約2秒または10秒後に撮影が始まります。

FUNC.

1 セルフタイマーを選ぶ

① FUNC. ➤ （セルフタイマー）をタッチする。
② 「2秒」または「10秒」をタッチする。

2 撮影する

① START/STOP（PHOTO）ボタンを押す。
- 撮影開始までの時間がカウントダウンされる。カウントダウン中にSTART/STOP（PHOTO）ボタンを押すと、カウントダウンが解除される。

MEMO

- リモートコントローラー RC-6（別売）で操作するときは、リモコンのレリーズモードを設定していても、「セルフタイマー」で設定した時間で撮影が開始されます。
- 以下の操作を行うと、セルフタイマーが解除されます。
  - 電源を切る。
  - （再生）ボタンやモードダイヤルを操作する。

GPS情報を記録する

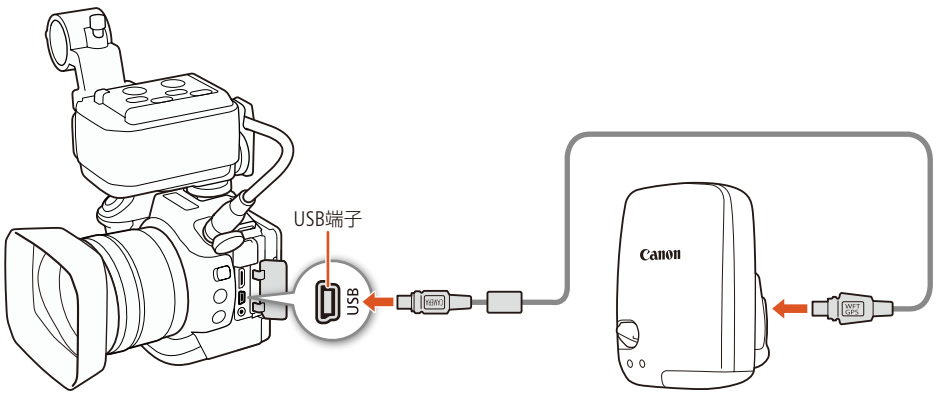
カメラ | 再生 | 4K | HD

本機のUSB端子（📖 11）にGPSレシーバー GP-E2（別売）を接続して撮影すると、クリップまたは静止画にGPSから取得した経度、緯度、標高、協定世界時（UTC）など（以下「GPS情報」）を記録できます*。GPS情報はクリップのメタデータに記録され、Canon XF Utility（📖 146）で検索に使用することもできます。

* 協定世界時（UTC）は静止画のみ。

GPSレシーバーを接続する

GP-E2の電源を切り、GP-E2付属の接続ケーブルを使って本機のUSB端子に接続します。GP-E2の詳細については、GP-E2の説明書をご覧ください。



GP-E2を本機に取り付けるときは、GP-E2付属の携帯用ケースに入れて、腰への取り付けをおすすめします。

1 GP-E2の電源を切り、本機に接続する

2 GP-E2 電源を入れる

- GPS機能が有効になる。画面に🛰が点滅表示されGPS衛星を探索する。
- 衛星を捕捉すると🛰が点灯し、以降に記録するクリップ／静止画にGPS情報が付加される。

日時を自動的に設定する

GPSから取得した時刻情報を使って本機の日時を自動的に設定できます。

① MENUボタンを押す。
② 🔧4 システム設定* ➤「GPS自動時刻設定」をタッチする。
* 静止画の場合は🔧3 システム設定
③ A（自動更新）➤ ✕をタッチする。

- 以降、GP-E2を接続後、最初に時刻設定可能な衛星捕捉状態になったときに日時を自動設定する。
- 「GPS自動時刻設定」が「自動更新」の場合、🔧1 システム設定 ➤「日付/時刻」は使用できません。
- ブラウザーリモートを使用中、自動時刻設定は働きません。

GPS情報を表示する

クリップや静止画のGPS情報を表示します。

① MENUボタンを押す。
② 4 システム設定* ➤「GPS情報表示」をタッチする。
* 静止画の場合は3 システム設定
● GPS情報が表示される。
③ ✕をタッチする。

ご注意

- GPSレシーバーは、使用する国／地域の法令等の規制に従って使用してください。国／地域によってはGPSの使用などが規制されていることがあります。国外で使用するときは特にご注意ください。
- 電子機器の使用が制限されている場所での使用には十分ご注意ください。
- 記録されるGPS情報には、個人を特定する情報が含まれていることがあります。そのためGPS情報が記録された動画／静止画を他人に渡したり、インターネットなどの不特定多数の人々が閲覧可能な環境に掲載したりするときは、十分ご注意ください。
- GPSレシーバーは、磁石やモーターの近くなど強い磁気を発生する場所には絶対に置かないでください。

MEMO

- バッテリーなどの電源を交換したときや本機の電源を長時間切ったときは、GPS衛星からの信号の受信に時間がかかることがあります。
- 本機は、GP-E2の次の機能には対応していません。
  - 「自動時刻設定」の「今すぐ実行」
  - 「位置情報の更新間隔」
  - 「電子コンパス」（方位情報）
- 動画から切り取った静止画（135）には、GPS情報は記録されません。

ポジションを検出する

カメラ | 再生 | 4K | HD

ポジション検出を「入」にして静止画を撮影すると、撮影時の回転情報をExif情報に記録します。

MENU

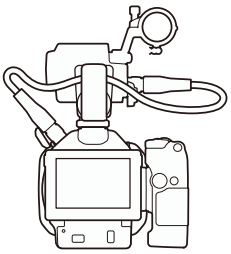
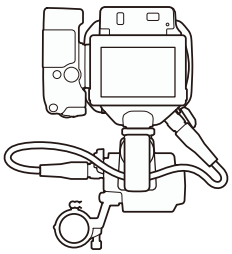
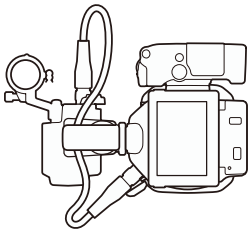
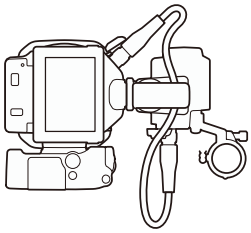
1 ポジション検出を選ぶ

① MENUボタンを押す。
② 1 記録設定 ➤「ポジション検出」をタッチする。
③「ON 入」をタッチする。

✕

2 ✕をタッチする

ポジション検出を「ON 入」にしたときの撮影例

撮影時		再生時
向き*	画面のマーク	
		
		
		
		

* レンズを奥側に向けた場合の本機の向きを表しています。

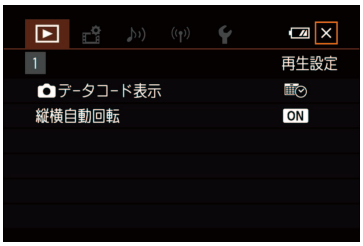
撮影

MEMO

- ポジション検出を「ON　入」にして静止画を撮影しても、「縦横自動回転」を「OFF　切」にしている場合は、正しい向きで再生されません(121)。

縦横自動回転 カメラ 再生

ポジション検出を「ON　入」にして静止画を撮影した静止画を、再生時に自動的に回転して正しく表示します。



① MENUボタンを押す。
② ▶1　再生設定 ➤「縦横自動回転」をタッチする。
③「ON　入」をタッチする。
④ ✕をタッチする。

4 カスタマイズ

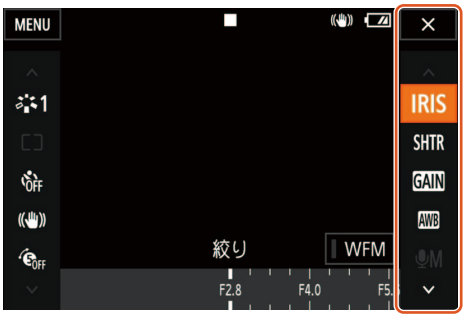
FUNC. メニューをカスタマイズする... 123
アサインボタンの機能を変更する 124
設定データの保存と読み出し..... 126

FUNC. メニューをカスタマイズする

カメラ | 再生 | 4K | HD

FUNC. メニューに、使用頻度の高い機能を割り当てて、より使いやすくカスタマイズすることができます。

カスタマイズ可能なFUNC. メニュー。初期設定で、以下の機能が割り当てられています。



動画カメラモード時

IRIS：	絞り
SHTR：	シャッター
ISO/GAIN：	ISO/ゲイン
AWB：	ホワイトバランス
A：	マイクレベル
：	EXPロック
：	AEシフト
：	ゼブラ
：	ピーキング
：	パワードIS

静止画カメラモード時

IRIS：	絞り
SHTR：	シャッター
ISO：	ISO
AWB：	ホワイトバランス
：	EXPロック
：	AEシフト
：	ゼブラ
：	ピーキング
：	フォーカス
MAGN.：	拡大表示

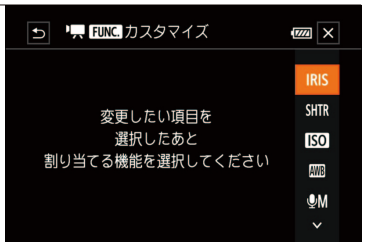
MENU

1 MENUボタンを押す

2 システム設定 ➤「 FUNC. カスタマイズ」または「 FUNC. カスタマイズ」をタッチする

3 変更したい項目をタッチする

- 機能一覧が表示される。



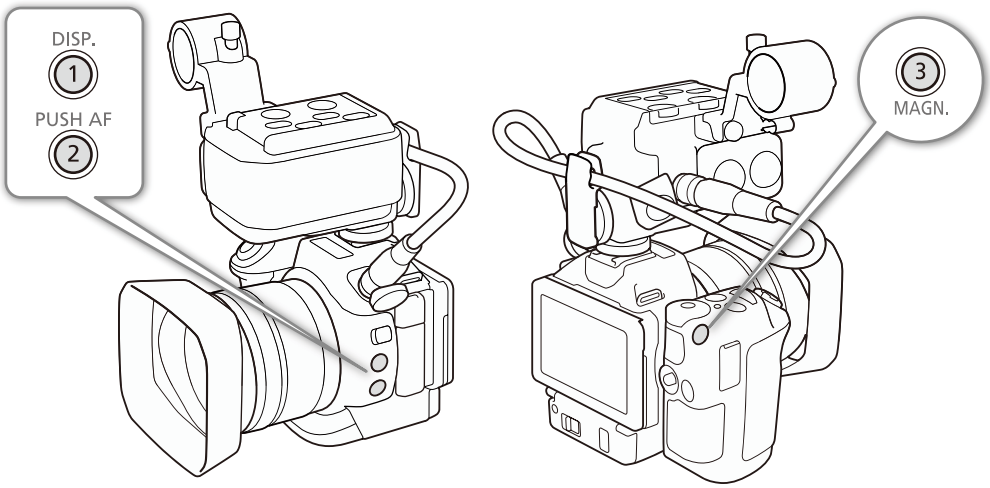
4 変更したい機能をタッチする

5 ✕をタッチする

アサインボタンの機能を変更する

カメラ 再生 4K HD

本機には3個のアサインボタンがありますので、使用頻度の高い機能を割り当てて、より使いやすくカスタマイズすることができます。

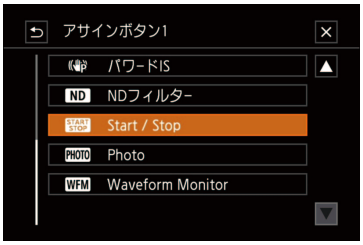


アサインボタンには、初期設定でそれぞれのボタン名の機能が割り当てられています。
アサインボタンには次の機能を割り当てることができ、カメラモードと再生モードでそれぞれ個別に設定できます。使用可能な機能は、下表のようにモードによって異なります。

機能名	内容	カメラモード		再生モード
DISP. 表示切り換え	画面表示を切り換える。長押しすると、「液晶バックライト」の「高輝度」と「通常」を切り換える。「低輝度」を設定中に長押しすると、「通常」に戻る。	○	○	○
PUSH AF プッシュ AF	マニュアルフォーカス時、アサインボタンを押している間だけ、フォーカスの自動調整ができる。	○	○	
MAGN. 拡大表示	拡大表示の入／切を切り換える。	○	○	
ゼブラ	ゼブラパターン表示の「切」、「70%」、「100%」を切り換える。	○	○	
PEAK ピーキング	ピーキングの入／切を切り換える。	○	○	
20x デジタルテレコン	デジタルテレコンの入／切を切り換える。	○		
パワードIS	パワードISの入／切を切り換える。	○		
ND NDフィルター	NDフィルターの入／切を切り換える。	○	○	
START STOP Start / Stop	動画の撮影／撮影停止操作（START/STOPボタンの操作）を行う。	○		
PHOTO Photo	動画撮影中に静止画を記録する。	○		
WFM Waveform Monitor	波形モニター表示の入／切を切り換える。	○		

機能を変更する

例：アサインボタン1に「Start / Stop」を割り当てる場合



① MENUボタンを押す。
② 2　システム設定 ➤「アサインボタン1」をタッチする。
③ 上下にドラッグして「START STOP　Start / Stop」をタッチする。
④ ✕をタッチする。

アサインボタンに割り当てた機能を使う

必要なときに、機能を割り当てたアサインボタンを押して使用します。

設定データの保存と読み出し

カメラ | 再生 | 4K | HD

FUNC. メニュー、メニューで行った各種の設定情報を設定データとしてSDカードに保存することができます。設定データは、必要に応じて本機に読み出して再利用できます。複数のカメラを同じ設定にするときに便利です。

設定データをSDカードに保存する

メニュー設定を設定データとしてSDカードに保存します。

① MENUボタンを押す。
② 4 システム設定* ➤「メニュー設定保存 SD」をタッチする。
* 動画再生、静止画カメラモード/再生の場合は、3 システム設定。
③「保存」➤「はい」をタッチする。
● 現在のメニュー設定が、設定データとしてSDカードに保存される。
④「OK」をタッチする。
⑤ ✕をタッチする。

設定データをSDカードから読み込む

SDカードに保存されている設定データを読み込んで本機に設定します。

① MENUボタンを押す。
② 4 システム設定* ➤「メニュー設定保存 SD」をタッチする。
* 動画再生、静止画カメラモード/再生の場合は、3 システム設定。
③「読み込み」➤「はい」をタッチする。
● メニューの設定が、SDカードから読み込んだ設定データの内容に設定される。
● 設定データが本機に読み込まれたあと、画面が一度消え、本機が再起動する（メニュー画面は消える）。

MEMO

● XC15の設定データのみ読み込み可能です。
● 以下の項目はSDカードに保存できません。

■ FUNC. メニュー
・ プレREC
・ セルフタイマー
・ EXPロックのオート／マニュアル
・ パワードIS
・ 拡大表示

■ メニュー
・ インターバル記録
・ カラーバー
・ スマートフォン接続設定
・ 日付／時刻

カスタマイズ

5

再　生

クリップや静止画を再生する..... 128

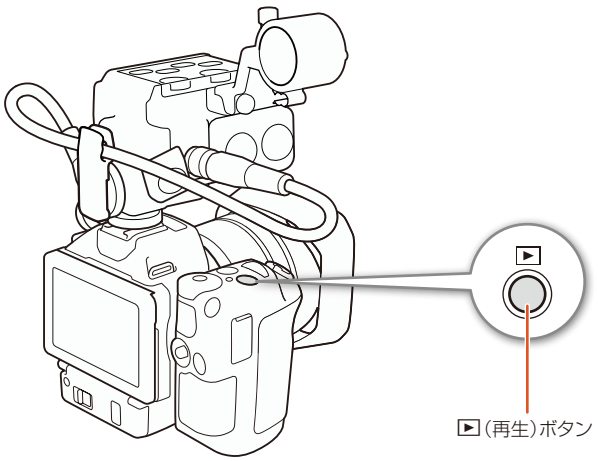
クリップや静止画を消去する..... 138

クリップや静止画を再生する カメラ 再生

撮影した映像（クリップ）や静止画の再生について説明します。外部モニターに接続して再生するときは、「接続」（145）をご覧ください。

再生インデックス画面

電源OFF時に▶（再生）ボタンを長押しすると、本機が再生モードで起動し、メモリーカードに記録されているクリップや静止画のサムネイル（縮小画）がインデックス画面に表示されます。



▶

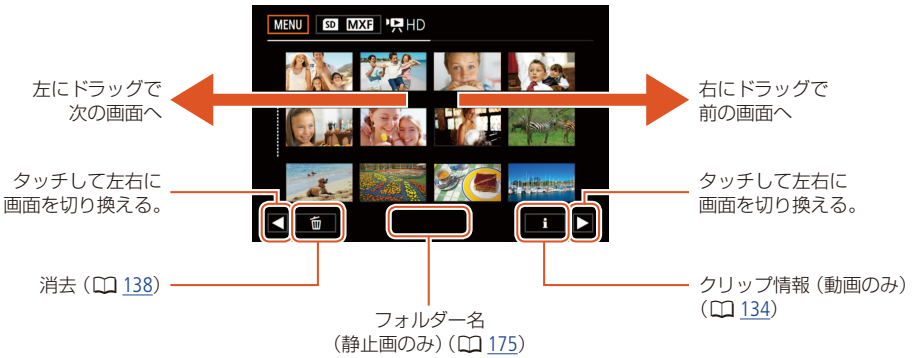
1 ▶（再生）ボタンを長押しする

- インデックス画面が表示される。
- もう一度▶（再生）ボタンを長押しすると、カメラモードに切り換わる。

2 インデックス画面を切り換える

① SD MXF をタッチする。
② 切り換えたいインデックス画面をタッチする。
- 選んだインデックス画面に切り換わる。
  - CFast MXF 4K動画：4K撮影したクリップのサムネイル（縮小画）を表示する。
  - SD MXF HD動画：HD撮影したクリップのサムネイル（縮小画）を表示する。
  - SD 静止画： 静止画のサムネイル（縮小画）を表示する。

「ルック」の「高輝度優先」で撮影したクリップには、が表示される。



再生する

インデックス画面で選んだクリップや静止画を、各種操作ボタンを使って再生します。ジョイスティックで操作することもできます。

動画を再生する

1 クリップをタッチする

- 再生が始まる。
- タッチしたクリップの再生が終わると、インデックス画面の最後のクリップまで自動的に再生される。
- 画面をタッチしたり、DISP.ボタンを押したりすると、操作ボタンが出る。操作しないと数秒で消える（再生中のみ）。

再生を終えるとき

画面をタッチして、■（停止）ボタンを押す。

- インデックス画面が表示される

MEMO

- 「ルック」の「高輝度優先」で撮影したシーンを再生するときは、「ビューアシスト」（176）をONにすると、より適切な映像を確認することが出来ます。また、外部モニターに接続して再生するときは、明るめに設定して再生することをおすすめします。

静止画を再生する

1 静止画をタッチする

- 静止画が再生される（1枚表示画面）。
- 左右にドラッグすると次または前の静止画に切り換わる。ジョイスティックを左右に押して、前後の静止画に移動することもできる。
- 画面をタッチしたり、DISP.ボタンを押したりすると、操作ボタンや撮影情報が出る。このとき、ジョイスティックの操作は、操作ボタンの移動となる。

カメラモードと再生モードの切り換えについて

カメラモードのときに▶（再生）ボタンを長押しすると、本機が再生モードに切り換わり、最後に記録したクリップまたは静止画が表示されます。このとき動画／静止画切り換えレバーが動画のときはクリップが、静止画のときは静止画が表示されます。クリップが表示されたときは、画面の▶をタッチすると、再生が始まります。
再生中の操作は、再生インデックス画面からの再生操作時と同じです（129）。

ご注意

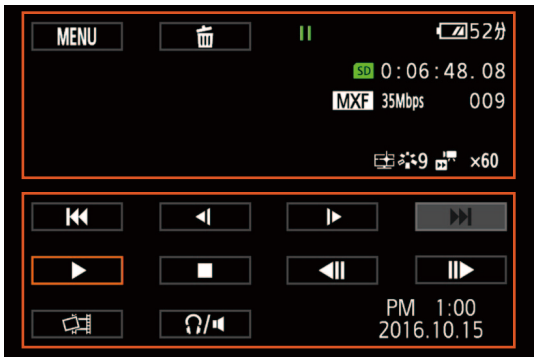
- ACCESS（アクセス）ランプが点灯／点滅中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - カードカバーを開けない。

MEMO

- クリップが切り換わるときに映像と音声が途切れることがあります。
- 次の静止画は正しく再生されないことがあります。
  - 本機以外の製品で記録したとき。
  - パソコンで作成や加工をしたとき。
  - パソコンでファイル名を変更したとき。

■ 再生時の画面表示

動画再生時の画面表示



画面上部

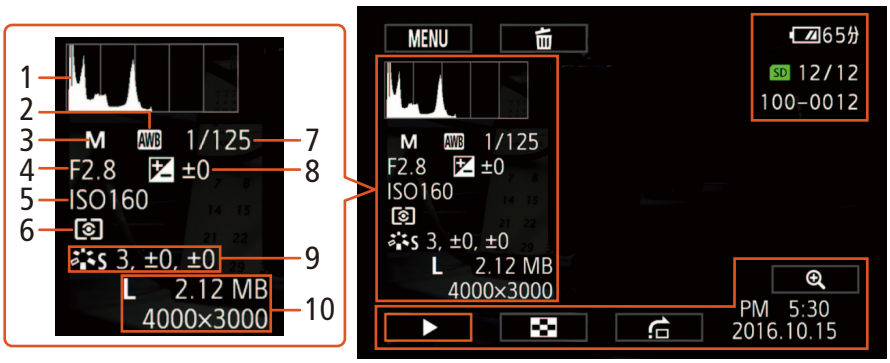
アイコン／表示	説明	🕮
MENU	メニュー	171
🗑	消去	138
▶、II、◀I/I▶、▶▶、◀◀、◀II/II▶	再生状況 ▶：再生、II：再生一時停止、◀I/I▶：逆スロー再生／スロー再生、▶▶：早送り、◀◀：早戻し、◀II/II▶：コマ戻し／コマ送り	–
CFast / SD	再生中のメモリーカード	–
0:00:00.00	タイムコード	
MXF	ファイルフォーマット	–
000Mbps	ビットレート	63
000	再生クリップ番号	–
CH1/1 CH2/2 CH1+2/1+2	モニターチャンネル	176
x1/4 x1/2 x2 x4 x10 x20 x60 x120 x1200	スロー＆ファストモーション記録	113
9	高輝度優先	83
2 3 4 5 6 7 8 9	ルック	83

画面下部

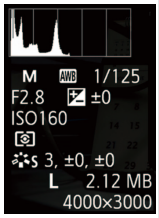
アイコン／表示	説明	🕮
I◀◀、▶▶I、II、■、◀◀、▶▶、▶、◀I、I▶、◀II、II▶	操作ボタン I◀◀：前へスキップ、▶▶I：次へスキップ、▶：再生、II：再生一時停止、■：再生停止、◀◀：早戻し、▶▶：早送り、◀I/I▶：逆スロー再生、I▶：スロー再生、◀II：コマ戻し、II▶：コマ送り	133
	4Kフレームキャプチャー、あとからフォト	135
	ヘッドホン音量／スピーカー音量	133
	4Kクリップ からHDクリップの切り出し再生	135
F0.0 0/000 2016. 10. 15	データコード表示	173

再生

静止画再生時の画面表示



画面左

アイコン／表示	説明	📖
	撮影情報 1　ヒストグラム 2　ホワイトバランス 3　撮影モード 4　絞り 5　ISO 6　測光方式 7　シャッター 8　露出 9　ルック、ルック補正値 10　静止画サイズ　データ量	

画面右

アイコン／表示	説明	📖
SD 00/00	表示枚数／全枚数	
000-0000	ファイル番号	

画面下部

アイコン／表示	説明	📖
🔍	拡大表示	
▶ ⊞ ⎌	操作ボタン ▶：スライドショー ⊞：インデックス画面 ⎌：ジャンプ	
PM 5:30 2016. 10. 15	データコード表示	

さまざまな再生

早送りや早戻し、コマ送り、スキップ再生などの再生方法があります。操作は、再生操作ボタンで行います。

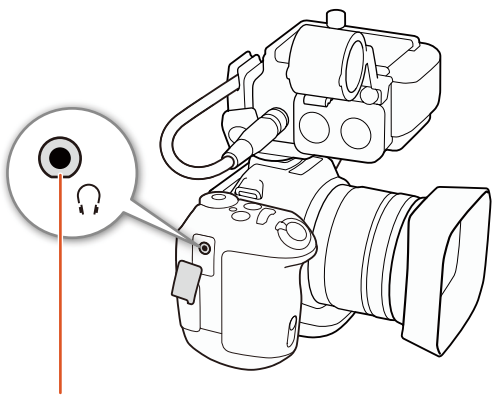
機　能	操　作	ボタン	説　明
早送り*1	再生中に	▶▶	押すたびに再生速度が約5倍 ➤ 約15倍 ➤ 約60倍に切り換わる。*2
早戻し*1	再生中に	◀◀	
コマ送り	一時停止中に	▮▮▶	押すたびに1コマ進む。
コマ戻し*3	一時停止中に	◀▮▮	押すたびに1コマ戻る。
スキップ再生	再生中に	▶▶▮	次のクリップの先頭から再生。
	再生中に	▮◀◀	現在のクリップの先頭から再生。
	再生中に 2回押す	▮◀◀	前のクリップの先頭から再生。
スロー再生	再生中に	▮▶	押すたびに再生速度が1/8倍 ➤ 1/4倍に切り換わる。再生中、音声は出ない。
逆スロー再生*4		◀▮	

*1 操作中、画面が乱れることがあります。　*2 画面に出る倍速表示は目安です。
*3 ・4K撮影したクリップ：押すたびに1コマ戻る。
　・HD撮影したクリップでフレームレートが59.94Pのとき：押すたびに約0.2秒戻る。
　・HD撮影したクリップでフレームレートが59.94P以外のとき：押すたびに約0.5秒戻る
*4 逆スロー再生は、フレームレートが59.94Pのときは約0.2秒間隔、59.94P以外では約0.5秒間隔の再生になります。

MEMO

- さまざまな再生中は音声は聞こえません。
- 早送りや早戻し中に▶ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

音声を聞く



∩(ヘッドホン)端子

通常の再生中は、音声をヘッドホンまたは内蔵スピーカー(モノラル)で聞くことができます。∩(ヘッドホン)端子にヘッドホンを接続したり、HDMI OUT端子で他機と接続したりすると、内蔵スピーカーはOFFになります。音声は、HDMI OUT端子にも出力されます(145)。

音量を調整する

① 再生中に画面をタッチ ➤「∩/🔊」をタッチする。
　ヘッドホン音量とスピーカー音量の調整バーが出る。
② 調整バーの左右のマークをタッチするか、バーの上を左右にドラッグして調整する。
③ ⮌をタッチする。

静止画再生中の操作

ボタン	内容
▶（スライドショー）	静止画を順番に再生する
（インデックス画面）	静止画再生中にインデックス画面に切り換える。
（ジャンプ）	ジャンプのつまみを左右にドラッグすると他の静止画にジャンプする。↩をタッチして終了。
（アップ／ワイド）	静止画を拡大して見る（136）

クリップの詳細情報を表示する

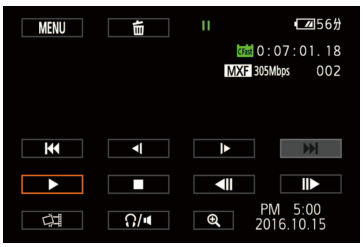
クリップのインデックス画面でiをタッチするとクリップの詳細情報が表示されます。

① iをタッチ ➤ 詳細情報を表示したいクリップを選択する。
- 「クリップ情報」画面が表示される。
- 画面の◀ ／ ▶をタッチすると、前／次のクリップに移動します。

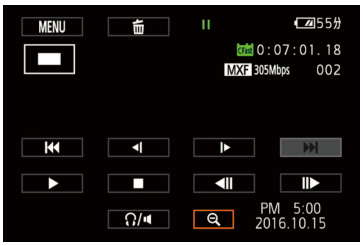
② ↩を2回タッチする。

4KクリップからHDクリップの切り出し再生を行う

4Kクリップ再生時、🔍をタッチすると、HDクリップへの切り出し再生を行います。このとき、HDMI OUT端子から4K出力していた場合、HD出力へ変わります。



① 4Kクリップを再生する（128）。
② 4Kクリップ再生中または一時停止中に🔍をタッチする。



- 切り出し画面が表示される。切り出し位置の移動は、画面をドラッグして操作する。
- 🔍をタッチすると、切り出し前の再生画面に戻る。

記録したクリップから静止画を切り取る（4Kフレームキャプチャー／あとからフォト）

再生モードで、クリップの再生一時停止中に、クリップから静止画を切り取ることができます。静止画を記録するときは、PHOTOボタンを使用します。記録される静止画のサイズは以下のとおりで、静止画はSDカードに保存されます。

4Kクリップ再生時（4Kフレームキャプチャー）：3840 × 2160
HDクリップ再生時（あとからフォト）：1920 × 1080
1/4スロー記録クリップ再生時：1280 × 720

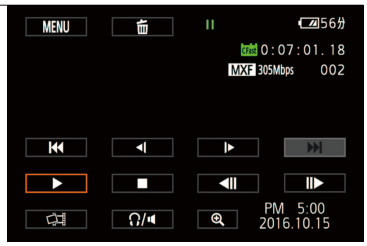
1 クリップを再生する

① 静止画の切り取りを行うクリップを選ぶ。
② ▶（再生）ボタンを押して、クリップを再生する。
③ 静止画を切り取りたいフレームで、❚❚（一時停止）ボタンを押す。または、クリップ再生途中でPHOTOボタンを浅く押すと、1/8スロー再生となり、そのまま深くPHOTOボタンを押す。
- 再生一時停止状態になる。

2 静止画を記録する

① PHOTOボタンを押す。または画面上の📷をタッチする。
- 「📷▶SD」が表示されて、静止画がSDカードに記録される。
- 記録中はACCESS(アクセス)ランプが点滅する。

② ■ボタンを押して、クリップの再生一時停止を解除する(インデックス画面に戻る)。



ご注意

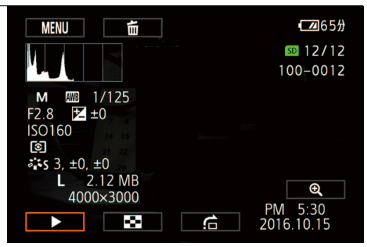
- ACCESS(アクセス)ランプが点灯／点滅中は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - カードカバーを開けない。

静止画を拡大して見る

静止画は、ピンチアウト(34)や、画面で操作して拡大することができます。

1 静止画再生中 画面をタッチ ➤ 🔍をタッチする

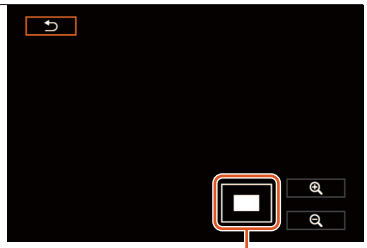
- 中央が約2倍に拡大する。



2 拡大する位置を決める

① 拡大する位置にドラッグする。
② さらに拡大するときは🔍をタッチする。

縮小するとき
🔍をタッチする。



拡大された位置の目安

3 ⮌をタッチする

- 拡大前の1枚再生画面に戻る。
- 🔍を何度かタッチしても戻る。

クリップや静止画を消去する カメラ 再生

不要なクリップや静止画を複数選んでまとめて消去できます。表示しているメモリーカード内のすべてのクリップや静止画を消したりすることもできます。

クリップや静止画を選んで消す

クリップや静止画を複数選んでまとめて消すことができます。

1 インデックス画面を表示する（128）

- 消去するクリップまたは静止画を含むインデックス画面を表示する。

2 をタッチする

3 いずれかの消去方法をタッチする

- 静止画では、「101_0501」のような日付ごとに作成されたフォルダー名が表示される。フォルダー名の下4桁はフォルダーが作成された日付を表す。特定の日の静止画を消去するときに選ぶ。

「選択」を選んだとき

① 消去するクリップまたは静止画をタッチする。
- ✔が表示される。もう一度タッチすると選択が解除される。
- 最大100のクリップまたは静止画を選択できる。

選択をすべて解除するとき

「全解除」➤「はい」をタッチする。

② 実行をタッチする。

4 消去する

① 「はい」をタッチする。
- インデックス画面内の消去対象のクリップまたは静止画が消去される。

中止するとき

「中止」をタッチする。一部のクリップまたは静止画は消去される。

② OKをタッチする。

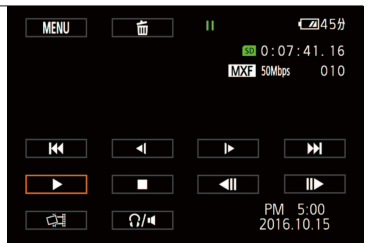
再生

再生一時停止中のクリップを消去する

⏸

1 クリップ再生中 画面をタッチ ➤ ⏸をタッチする

● 再生が一時停止する。



🗑

2 消去する

🗑 ➤「はい」➤ OK をタッチする。

● インデックス画面が表示される。

再生中の静止画を消す

1 静止画再生中 画面をタッチする

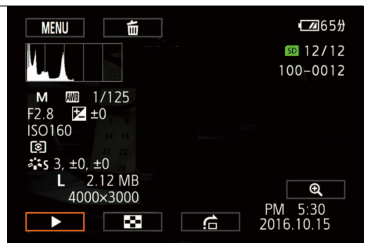
● 操作ボタンが出る。

🗑

2 消去する

● 🗑 ➤「🗑 実行」➤「はい」をタッチする。

● 左右にドラッグして別の静止画を選ぶこともできる。



✕

3 ✕をタッチする

ご注意

● 一度消去したクリップや静止画は元に戻りませんので、消去する前にクリップや静止画を確認してください。

● 大切なデータはあらかじめバックアップしてください。

MEMO

- 他機でプロテクトされている静止画は消せません。
- メモリーカードに記録されているすべてのクリップや静止画を消して容量を元に戻す場合はメモリーカードを初期化します(📖 45)。

6 接　続

出力信号形式 142
音声出力を選択する 144
外部モニターを接続する 145
クリップをパソコンに保存する..... 146

出力信号形式

HDMI™ OUT端子からの出力は、記録・再生の映像信号形式とメニューの設定によって切り換わります*。

* 接続したモニターの能力によって変わります。

動画カメラモード時の記録信号形式と出力信号形式

カメラ | 再生 | 4K | HD

記録信号形式			HDMI OUT端子
	録画モード（フレームレート／ビットレート）	解像度	
4K	29.97P 29.97P / 305 Mbps 29.97P 29.97P / 205 Mbps	3840 × 2160	3840 × 2160 / 29.97P 1920 × 1080 / 59.94P 1920 × 1080 / 59.94i 720 × 480 / 59.94P
	23.98P 23.98P / 305 Mbps 23.98P 23.98P / 205 Mbps		3840 × 2160 / 23.98P 1920 × 1080 / 59.94P 1920 × 1080 / 59.94i 720 × 480 / 59.94P
	24.00P 24.00P / 305 Mbps 24.00P 24.00P / 205 Mbps		3840 X 2160 / 24.00P 1920 X 1080 / 60.00P
HD	59.94P 59.94P / 50 Mbps	1920 × 1080	1920 × 1080 / 59.94P 1920 × 1080 / 59.94i 720 × 480 / 59.94P
	59.94i 59.94i / 35 Mbps 29.97P 29.97P / 35 Mbps 23.98P 23.98P / 35 Mbps		
	24.00P 24.00P / 35 Mbps		1920 X 1080 / 60.00P

再生モードの出力信号形式 カメラ 再生

再生信号形式		HDMI OUT端子
	フレームレート	
4K*	29.97P	3840 x 2160 / 29.97P 1920 x 1080 / 59.94P 1920 x 1080 / 59.94i 720 x 480 / 59.94P
	23.98P	3840 x 2160 / 23.98P 1920 x 1080 / 59.94P 1920 x 1080 / 59.94i 720 x 480 / 59.94P
	24.00P	3840 x 2160 / 24.00P 1920 x 1080 / 60.00P
HD*	59.94P、29.97P、23.98P	1920 x 1080 / 59.94P 1920 x 1080 / 59.94i 720 x 480 / 59.94P
	24.00P	1920 x 1080 / 60.00P

* 4K動画からHD動画の切り出し再生時は、HD 動画再生と同じ。

再生信号形式		HDMI OUT端子
	システム周波数	
静止画	59.94 Hz	3840 x 2160 / 29.97P 1920 x 1080 / 59.94P 1920 x 1080 / 59.94i 720 x 480 / 59.94P
	24.00 Hz	3840 x 2160 / 24.00P 1920 x 1080 / 60.00P

音声出力を選択する

カメラ 再生 4K HD

(ヘッドホン)端子から出力される音声はチャンネルを選択できます。
カメラモードのときは、マイクロホンアダプター MA-400を装着、メニューの「INPUT 1/2」を「入」にしているときのみ操作できます。

1 MENUボタンを押す

2 ♪))3 オーディオ設定* ➤「モニターチャンネル」をタッチする

* 再生モードのときは♪))1 オーディオ設定

3 いずれかをタッチする

設定値	出力音声	
	L	R
CH1/2 CH1/CH2	CH1	CH2
CH1/1 CH1/CH1	CH1	CH1
CH2/2 CH/2/CH2	CH2	CH2
CH1+2/1+2 CH1+2/CH1+2	CH1 + CH2 (ミックス)	CH1 + CH2 (ミックス)

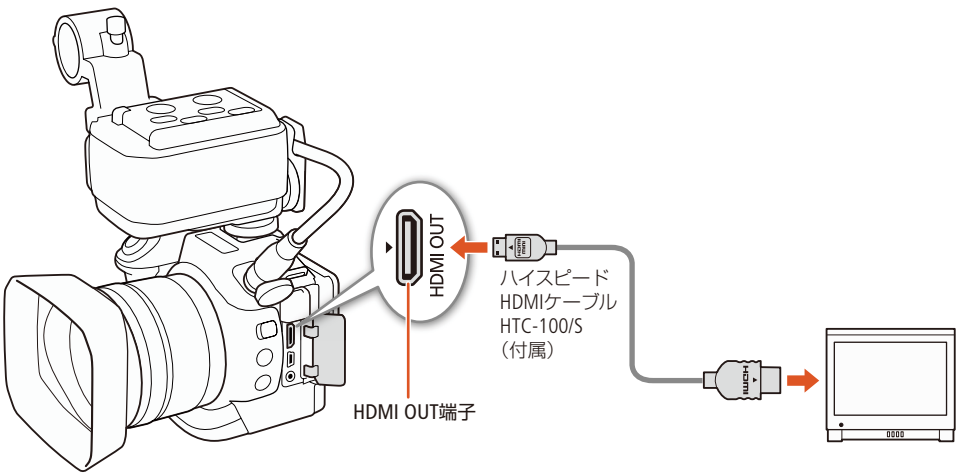
外部モニターを接続する

カメラ | 再生 | 4K | HD

外部モニターを接続します。（参考 ▸▸「出力信号形式」（142））。

接続のしかた

本機と外部モニターを接続します。



MEMO

- ACアダプターを使って、コンセントにつないで使うことをおすすめします。
- HDMI OUT端子は出力専用です。他の出力端子と接続しないでください。故障の原因となります。
- Wi-Fiによるネットワーク機能（148）使用中は、HDMI OUT端子から映像や音声は出力されません。
- DVI対応モニターとの接続は保証していません。
- モニターによっては正しく表示されないことがあります。
- 3　カメラ設定 ▸「Rolling Shutterひずみ軽減」を「入」にして撮影を開始すると、HDMI出力は停止します（172）。

クリップをパソコンに保存する

記録したクリップをパソコンに取り込む場合、Canon XF UtilityまたはCanon XF Plugin*を使用します。Canon XF UtilityまたはCanon XF Pluginを使って、クリップをパソコンに取り込むときは、カードリーダーを使用します。

* Avid社またはApple社のノンリニア編集ソフトウェア用のプラグインです。

■ クリップをパソコンに保存する

Canon XF Utilityの概要は次のとおりです。これらのソフトウェアは、以下のキヤノンのホームページからダウンロードしてインストールします。ソフトウェアの動作環境および最新の情報については、キヤノンのホームページをご覧ください。

canon.jp/prodv

Canon XF Utility

クリップをパソコンへ保存・確認・再生・管理、クリップから静止画の切り出しを行うソフトウェア。

Avid社のノンリニア編集ソフトウェア用プラグイン

- Canon XF Plugin for Avid Media Access（Windows用／ Mac OS用）
  Avid Media Accessに対応したノンリニア編集ソフトウェアAvid Media Composer（Windows / Mac OS）から、記録したクリップを直接読み込むことができる。

Apple社のノンリニア編集ソフトウェア用プラグイン

- Canon XF Plugin for Final Cut Pro X（ Mac OS用）
  ノンリニア編集ソフトウェアFinal Cut Pro Xから、記録したクリップを直接読み込むことができる。

7 ネットワーク

ネットワークの接続設定をする..... 148

ネットワーク機器でリモート
撮影する（ブラウザーリモート）..... 158

Webブラウザーで再生／保存する
（ブラウザープレビュー）..... 164

パソコンなどで見る
（メディアサーバー）..... 166

ネットワークの接続設定をする

カメラ 再生 4K HD

本機にはインフラストラクチャーとカメラアクセスポイントの2つの接続方式があります。お使いになる機能によってWi-Fi接続方式が異なります。ここでは、接続設定のしかたについて説明します。接続設定の詳細は、「Wi-Fiで接続する」(149)で説明します。

ネットワーク機能と接続方式

機能名	概要	Wi-Fi		
		インフラストラクチャー *1	カメラアクセスポイント*2	
ブラウザーリモート	ネットワーク機器のブラウザーから本機をリモート操作して撮影する。	–	●	158
ブラウザープレビュー	撮影した静止画を、ネットワーク機器のブラウザーで再生／保存する。	–	●	164
メディアサーバー	撮影した静止画を、パソコンなどで再生する。	●		166

*1 アクセスポイントを介してWi-Fiに接続する通信方式。
*2 本機がアクセスポイントの働きをして、スマートフォンなどのWi-Fi機器と直接接続する方式。

ネットワーク機能を使用する前に

本書は、ネットワーク機器およびWi-Fiのアクセスポイントの設定が完了し、正しく動作していることを前提に説明しています。アクセスポイントの設定方法については、お使いの機器のメーカーにお問い合わせください。

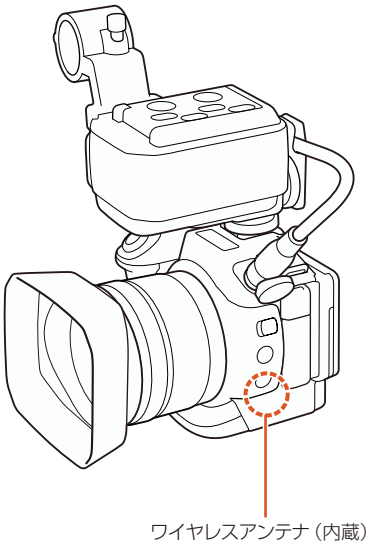
- ネットワークの接続の設定を行うには、ネットワークおよびWi-Fiの設定方法に関する十分な知識が必要です。ネットワークの設定方法については、弊社ではサポートできませんので、あらかじめご了承ください。

ご注意

- ネットワーク機能を使用するためにネットワークに対して誤った設定を行った結果生じた損害、および本ネットワーク機能を使用した結果生じた損害については、弊社ではその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- セキュリティで保護されていない無線LANやネットワーク環境に接続することは避けてください。お客様の個人情報などのデータが第三者に漏洩する危険性があります。

MEMO

- Wi-Fi接続するときや接続中は、内蔵ワイヤレスアンテナ付近を手などで覆わないでください。通信電波がさえぎられ、Wi-Fiの通信状態が悪くなります。
- ネットワーク機能を使用中は、カードカバーを開けないでください。



Wi-Fiで接続する

無線ネットワーク接続について

本機は、Wi-Fi認証を受け（右のロゴマークがある）、無線LAN規格IEEE802.11a / b / g / nに対応するアクセスポイント*1に接続できます。Wi-Fiへの接続方法については、お使いのWi-Fiネットワーク環境によって仕様や制限事項が異なります。また、セキュリティで保護されていないWi-Fiネットワーク環境に接続すると、お客様の個人情報などのデータが第三者に漏洩する恐れがあります。十分、ご注意ください。
Wi-Fiネットワークに接続するには次の5つの方法があります。

WPS（プッシュボタン方式）*2：
パスワードなどの入力が不要な最も簡単な接続方法です。この方法で接続するときは、お使いのアクセスポイントがWPS用のボタンを備えていることを、あらかじめご確認ください。

WPS（PINコード方式）*2：
WPS用のボタンを備えていないアクセスポイントでも、PINコードを使って接続できるものがあります。接続は自動的に行われますが、アクセスポイントの設定画面を操作して、WPS機能を動作させるための一定の知識が必要です。詳しくはアクセスポイントの説明書をご覧ください。

アクセスポイント検索：
WPS*2に対応していないアクセスポイントに接続するときなどに、周囲のアクセスポイントを検索して接続できます。

手動設定：
ステルス機能を有効にしているアクセスポイントに接続するときや、さまざまな設定を手動で行うときに使用します。手動設定には、Wi-Fiやネットワークに関する知識が必要です。

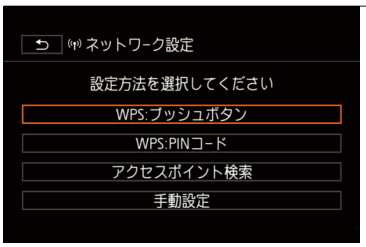
カメラアクセスポイント：
屋外などアクセスポイントのない環境で、ビデオカメラとWi-Fi対応機器を直接接続します。ビデオカメラがアクセスポイントの働き*3をするので、Wi-Fi対応機器側はアクセスポイントに接続するのと同じ操作で接続できます。

*1「無線親機」、「無線LAN親機」、「無線LANルーター」など、メーカーによって名称が異なることがあります。
*2 WPSは、Wi-Fi Protected Setupの略で、アクセスポイントへの接続とセキュリティの設定を簡単に行うための規格です。
*3 ビデオカメラと無線LAN対応機器間の通信を行うのみで、市販のアクセスポイントの機能とは異なります。

WPSで接続する

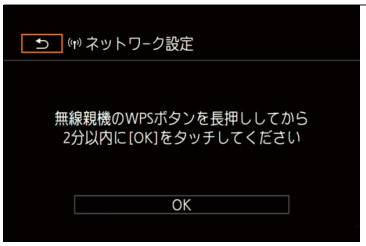
WPSのプッシュボタン方式またはPINコード方式で接続します。プッシュボタン方式では、アクセスポイントのWPS用ボタンを押すことで、ビデオカメラとアクセスポイントを簡単に接続することができます。PINコード方式では、ビデオカメラの画面に表示される8桁の識別番号（PINコード）を、アクセスポイントの設定画面に設定して接続します。周囲に複数のアクセスポイントが稼動している状況でも、比較的接続しやすい方式です。

プッシュボタン方式の場合



1 本機　「WPS：プッシュボタン」を選ぶ

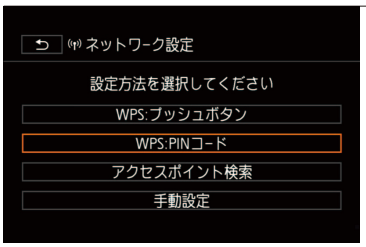
① MENUボタンを押す。
② 1　Wi-Fi設定 ➤「アクセスポイント接続設定」をタッチする。
③「未設定」をタッチする。
④「WPS：プッシュボタン」をタッチする。



2 アクセスポイント　WPS用のボタンを長押ししてWPSを起動する

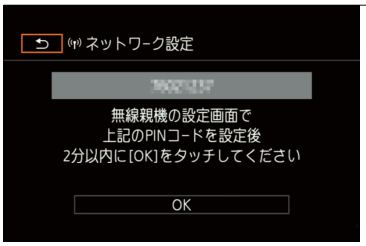
- 長押しの時間はアクセスポイントによって異なります。必ず、アクセスポイントの説明書をご覧になってから操作を行い、アクセスポイントがWPS起動状態になったことを確認してください。
- 操作3に進む。

PINコード方式の場合



1 本機　「WPS：PINコード」を選ぶ

① MENUボタンを押す。
② 1　Wi-Fi設定 ➤「アクセスポイント接続設定」をタッチする。
③「未設定」をタッチする。
④「WPS：PINコード」をタッチする。
- 7 ～ 8秒すると画面にPINコードが表示される。



2 アクセスポイント　WPS（PINコード方式）の設定画面*に、操作1で表示されたPINコードを入力してWPSを起動する

* 多くのアクセスポイントは、Webブラウザーから設定します。

- アクセスポイントの操作については、アクセスポイントの説明書をご覧ください。

3 本機　無線親機へ接続する

接続を中止するとき

「中止」➤ OK をタッチする。

① 操作2から2分以内にOKを押す
- アクセスポイントへの接続を開始する。

② OK をタッチする。

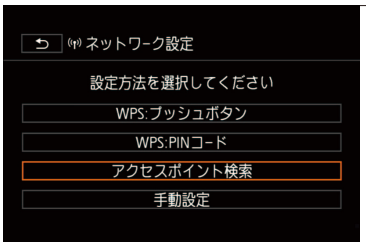
MEMO

- 周囲に複数のアクセスポイントが稼働していると、WPS（プッシュボタン方式）でうまく接続できないことがあります。このときは、WPS（PINコード方式）またはアクセスポイント検索で接続してください。

アクセスポイントを検索して接続する

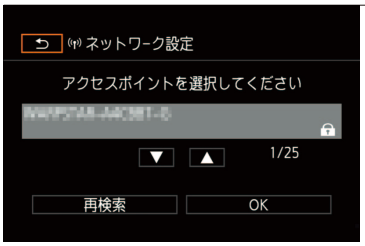
ビデオカメラが周囲のアクセスポイントを自動的に検出します。検出されたアクセスポイントの一覧から接続するアクセスポイントを選び、暗号化キーを入力して接続します。

アクセスポイントを選ぶ



1 アクセスポイント検索を選ぶ

① MENUボタンを押す。
② 1　Wi-Fi設定 ➤「アクセスポイント接続設定」をタッチする。
③「未設定」をタッチする。
④「アクセスポイント検索」をタッチする。
- 周囲のアクセスポイントが検索され、見つかったアクセスポイントのSSID（Wi-Fiネットワーク名）と暗号化状態などの情報が表示される。

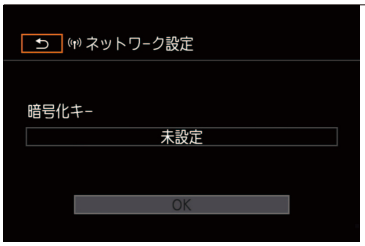


2 アクセスポイントを選ぶ

① ▲ / ▼をタッチして、接続するアクセスポイントのSSIDを選ぶ。
② OKをタッチする。

暗号化キーを入力する

アクセスポイントに設定されている暗号化キーを設定します。設定されている暗号化キーについては、アクセスポイントの説明書をご覧いただくか、ネットワークの管理者にお問い合わせください。なお、アクセスポイントの認証方式／暗号化方式が「オープン／暗号化なし」のときは、暗号化キーの入力は不要です。



3 暗号化方式が「WEP」または「WPA」のとき 暗号化キーを入力する

① 暗号化キー入力エリアをタッチする
- 液晶画面にキーボード画面が表示される。

② 暗号化キーを入力 ➤ OKをタッチする。
参考 ▸▸「文字入力のしかた」(157)
③ OKをタッチする。

MEMO

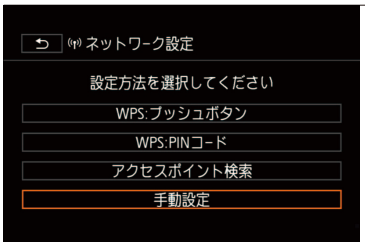
暗号化キーに使用可能な文字と文字数

暗号化キー	ASCII文字列*1	16進数*2
64ビットWEP	5文字	10文字
128ビットWEP	13文字	26文字
AES / TKIP	8 ～ 63文字	64文字

*1 0 ～ 9、a ～ z、A ～ Zおよび記号。
*2 0 ～ 9、a ～ f、A ～ F。

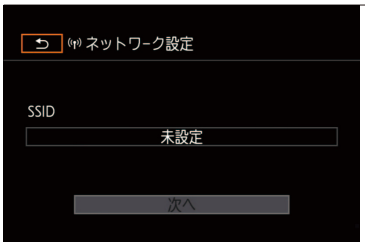
手動設定で接続する

手動設定でアクセスポイントへの接続設定をします。画面の案内に従って、ウィザード形式で操作します。



1 手動設定を選ぶ

① MENUボタンを押す。
② 1 Wi-Fi設定 ➤「アクセスポイント接続設定」をタッチする。
③「未設定」をタッチする。
④「手動設定」をタッチする。

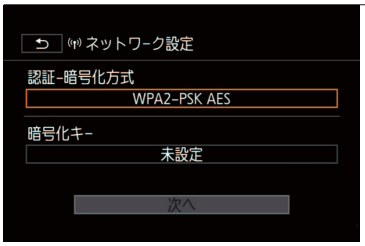


2 SSIDを入力する

① SSID入力エリアをタッチする。
② SSIDを入力 ➤ OK ➤「次へ」をタッチする。
参考 ▸▸「文字入力のしかた」(157)

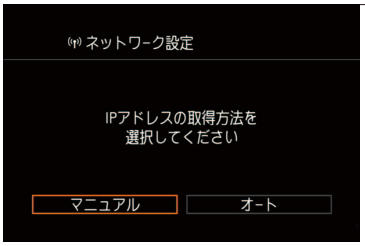
3 認証-暗号化方式を選択する

①「認証-暗号化方式」エリアをタッチする。
② いずれかの認証・暗号化方式をタッチする。
- 「OPEN WEP」選択時、WEPインデックスは1となる。
- 「OPEN NONE」を選んだときは、「次へ」をタッチして操作5へ進む。



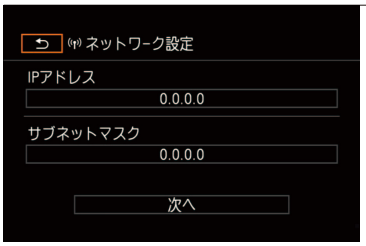
4 暗号化キーを入力する

① 暗号化キー入力エリアをタッチする。
② 暗号化キーを入力 ➤ OK をタッチする。
参考 ▸▸「文字入力のしかた」(157)
③「次へ」をタッチする



5 IPアドレスの取得方法を選ぶ

①「マニュアル」または「オート」をタッチする。
- 「オート」を選んだときは、操作7へ進む。



6 IPアドレスなどをマニュアルで設定する

① IPアドレスの入力エリアをタッチする。
② ▲ ／ ▼をタッチして、IPアドレスの各値を入力 ➤ OK をタッチする。
③ ①～②と同じ要領でサブネットマスクを入力 ➤「次へ」をタッチする。
④ ③と同じ要領で、デフォルトゲートウェイ、各DNSサーバーを入力する。

OK

7 OK をタッチする。

● 設定が保存される。

✕

8 ✕をタッチする

■ ネットワーク接続設定を表示／変更する

登録された接続設定の内容を変更することができます。設定変更は手動で行いますので、Wi-Fiやネットワークに関する知識が必要です。ブラウザーリモートが「入」のときは、「切」にしてから操作してください。

1 設定を確認、変更する

① MENUボタンを押す。
② 1 Wi-Fi設定をタッチする。

「スマートフォン接続設定」の場合

2 「スマートフォン接続設定」をタッチする

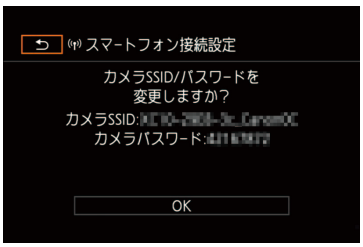
● ビデオカメラの「カメラSSID」、「カメラパスワード」、「周波数」が表示される。

3 カメラSSID、カメラパスワードや周波数を変更する

カメラSSIDやカメラパスワードを変更するとき

① 「カメラパスワード」横の⇄をタッチする。
- 新しいカメラSSIDとカメラパスワードが表示される。任意のカメラSSIDやカメラパスワードを設定することはできない。

② OKを2回タッチする。



周波数を変更するとき

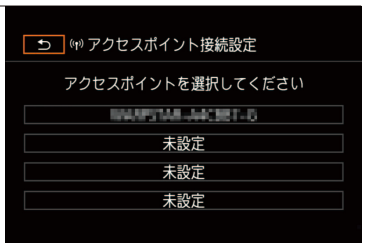
① 「周波数」横の⇄をタッチする。
② 「2.4 GHz」または「5 GHz」をタッチする。
③ ⮌を2回タッチする。

4 ✕をタッチする

「アクセスポイント接続設定」の場合

2 「アクセスポイント接続設定」をタッチする

- 本機に記憶されているSSIDが表示される。
- 「未設定」をタッチすると、「Wi-Fiで接続する」(149)の操作に進み、接続が終わるとWi-Fi設定メニューに戻る。



▲▼

3 アクセスポイント接続設定の内容を表示する

変更するSSIDをタッチする。
- 設定内容が表示される。
- ▲ ／ ▼で表示内容を切り換えることができる。

アクセスポイントの設定を消去するとき

いずれかの画面で「編集」➤「消去」➤「はい」をタッチする。

設定を変更するとき

いずれかの画面で「編集」➤「手動設定」をタッチする。

● 「手動設定で接続する」(152)の操作に進む。

4 ⮌を2回タッチ ➤ ✕をタッチする。

「MACアドレス表示」の場合

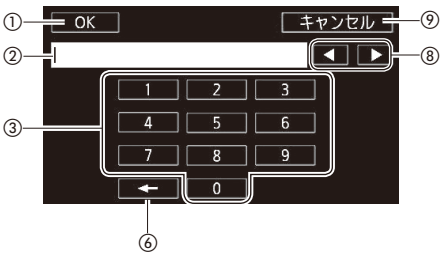
2 「MACアドレス表示」をタッチする

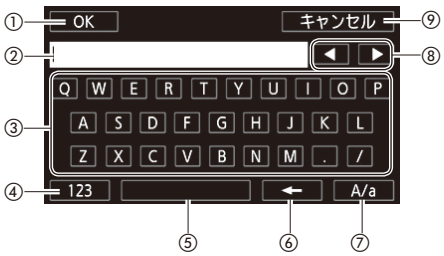
● 本機のMACアドレスが表示される。MACアドレスを設定したり、編集したりすることはできない。

3 ⮌ ➤ ✕をタッチする。

■ 文字入力のしかた

手動で文字入力が必要なとき、キーボードが表示されます。キーボードを操作するときは、タッチパネルで操作してください。





①	OK	入力を決定したあと、キーボードを終了
②	—	入力エリア
③	—	文字入力キー
④	123 / ABC	アルファベット／数字の切替
⑤	—	スペースキー
⑥	←	バックスペースキー（カーソルの左の文字を削除）
⑦	A/a / #%? / *&+	アルファベット入力設定時：大文字／小文字の切替 数字入力設定時：記号入力
⑧	◀▶	カーソル移動キー
⑨	キャンセル	入力を中止

ネットワーク機器でリモート撮影する（ブラウザーリモート）

カメラ 再生 4K HD

本機をアクセスポイントにして、スマートフォンなどを接続することで、ネットワークに接続した機器*1のWebブラウザーから本機をリモートで操作して、動画や静止画を撮影することができます（ブラウザーリモート）。
撮影時は、ライブビューによる画角の確認、さまざまな撮影設定*2が可能なほか、記録メディアやバッテリーの残量、タイムコードの確認を行うことができます。

*1 OS、Webブラウザーなどの情報については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。
*2 ホワイトバランス、ISO / ゲイン、シャッター、F値、フォーカス。

リモート設定を行う

ネットワーク機器からブラウザーリモートにアクセスするために必要な設定を行います。

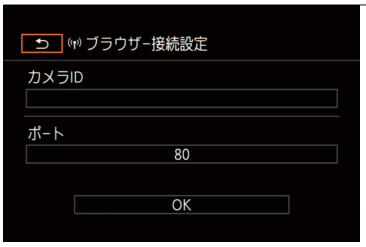
カメラ設定を行う

ネットワークに接続した機器のWebブラウザーからブラウザーリモートにアクセスするときに使用するポート番号とカメラIDを設定します。カメラ設定の設定操作中は、本機にWi-Fiで接続できません。

ポート番号：HTTPプロトコルのポート番号。通常は80を使用し、必要に応じて変更します。
カメラID：　ビデオカメラ固有の文字列を設定しておくと、ブラウザーリモートの画面にカメラIDが表示されるので、制御対象のビデオカメラを識別することができます。

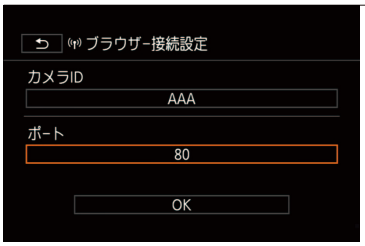
1 「ブラウザー接続設定」を選ぶ

① MENUボタンを押す。
② 1 Wi-Fi設定 ➤「ブラウザー接続設定」をタッチする。



2 カメラIDを入力する

① カメラID入力エリアをタッチして、カメラIDを8文字まで入力する。
参考 ▸▸「文字入力のしかた」（157）
② OK をタッチする。



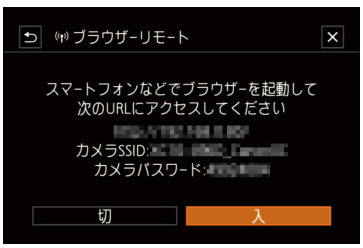
3 ポート番号を入力する

① ポート番号入力エリアをタッチして、ポート番号を入力する。
② OKをタッチする。
③ OKを2回タッチ ➤ ✕をタッチする。

■ ブラウザーリモートを起動する

パソコンや携帯端末などネットワークに接続した機器*1のWebブラウザー *2からブラウザーリモートを起動します。

*1 カメラアクセスポイントで接続した機器を含む。OS、Webブラウザーなどの情報については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。
*2 JavaScript（ジャバスクリプト）に対応し、Cookie（クッキー）が有効になっている必要があります。



1 本機 ブラウザーリモートを選ぶ

① MENUボタンを押す。
② 1 Wi-Fi設定 ➤「ブラウザーリモート」をタッチする。
③「入」をタッチする。
- 画面に、Webブラウザーに入力するURL、カメラSSID、カメラパスワードが表示され、パソコンなどからの接続待ち状態になる。

2 パソコンなど Wi-Fiで本機に接続する

① 設定画面でWi-Fiを有効にする。
- 見つかったWi-Fiネットワークが一覧表示される。

② 操作1で本機の画面に表示されたSSIDと同じWi-Fiネットワーク名をタッチする。
③ 本機に表示されたカメラパスワードを入力して接続する。
- 2回目からは、③の操作なしで自動的に接続される。

3 パソコンなど Webブラウザーを起動する

4 パソコンなど URLを入力する

① 本機の画面に表示されているURLをWebブラウザーに入力して、アクセスする。

- ブラウザーリモートの画面が表示される。
- ブラウザーリモートに接続中は、ブラウザーリモート画面の●●●●が、順に点灯 ➤ 消灯を繰り返す。
- ポートを変更しない限り、URLは固定のため、Webブラウザーでブックマークしておけば、2回目からは入力不要。

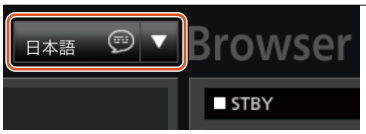
5 本機 ✕をタッチして画面を閉じる

- アクセスポイントとして動作中は、画面に Remote が白色で表示され、ブラウザーリモート起動中、終了中はアイコンが黄色になる。

6 パソコンなど カメラIDを確認する

- 画面中央にカメラIDが表示される。

① 表示されたカメラID がリモート撮影に使用するカメラのIDであることを確認する。



7 パソコンなど 言語を変更する

- ▼を押して表示されるリストから、ブラウザーリモートの表示言語を選ぶ。

8 本機 撮影後、ブラウザーリモートを終了する

① MENUボタンを押す。
② 1 Wi-Fi設定 ➤「ブラウザーリモート」をタッチする。
③「切」をタッチする。
- 画面のRemoteが消え、ブラウザーリモートが無効になる。

④ ✕をタッチする。

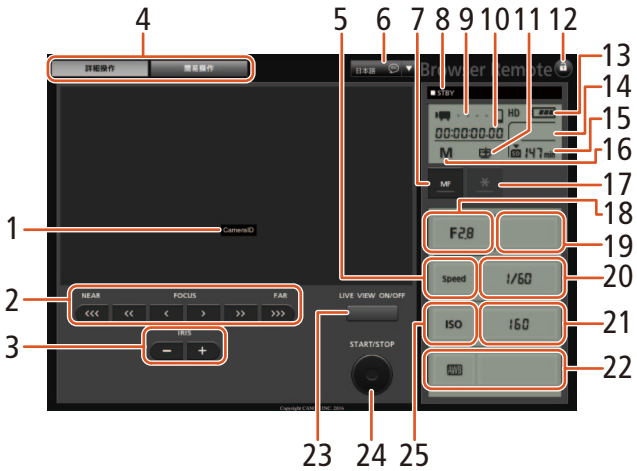
MEMO

- ビデオカメラに「カメラID」を設定していない場合、カメラIDはブラウザーリモート画面に表示されません。
- ネットワーク環境や通信状態によっては、ライブビューの表示や各種設定などに遅延が発生することがあります。
- カラーバーの表示中は、ライブビュー表示がOFFになります。

詳細操作画面

パソコンやタブレットなど画面が比較的大きい機器を使ってリモート撮影するときは、「詳細操作」画面を使えば、ブラウザーリモートで制御可能なすべての操作を行うことができます。撮影時の各設定項目の詳細については、各機能のページも合わせてご覧ください。

動画撮影時



静止画撮影時

1 ライブビュー映像表示エリア
2 FOCUS（フォーカス調整）ボタン ▶▶ 📖 89
3 IRIS（アイリス調整）ボタン ▶▶ 📖 68
4 画面切り換えタブ
- 「詳細操作」、「簡易操作」の各画面を切り換える。

5 シャッターモード ▶▶ 📖 65
6 言語選択
7 MF（フォーカスモード切り換え）ボタン ▶▶ 📖 87
8 撮影状態 ▶▶ 📖 57
9 ブラウザーリモート接続状態表示*
10 タイムコード* ▶▶ 📖 98
11 高輝度優先* ▶▶ 📖 83
12 🔒（キーロック）ボタン ▶▶ 📖 57
- ブラウザーリモートの操作ボタンをロックする。

13 バッテリー残量の目安*
14 CFastカード状態／動画撮影可能時間（分）
15 SDカード状態／動画撮影可能時間（分）
16 撮影モード* ▶▶ 📖 65
17 EXPロック ▶▶ 📖 76
18 F値 ▶▶ 📖 68
19 EXPロック時の露出調整値 ▶▶ 📖 76
20 シャッター ▶▶ 📖 65
21 ISO/ゲイン値ボタン ▶▶ 📖 65
22 ホワイトバランス ▶▶ 📖 80
23 LIVE VIEW ON/OFF（ライブビュー）ボタン
24 START/STOP（スタート/ストップ）ボタン ▶▶ 📖 14
25 ISO/ゲイン切り換えボタン
26 SDカード状態／静止画撮影可能枚数
27 PHOTOボタン ▶▶ 📖 14

* 現在の設定を表示する。ブラウザーリモートで変更することはできない。

簡易操作画面

スマートフォンなど画面が小さい機器を使ってリモート撮影するときは、「簡易操作」画面を使用します。簡易操作画面では、フォーカスの調整、START/STOP（スタート/ストップ）、PHOTO（フォト）、LIVE VIEW（ライブビュー）のON/OFF、🔒（キーロック）のみ行うことができます。

1 「簡易操作」タブを選ぶ

- 簡易操作画面が表示される。

動画撮影時

静止画撮影時

Webブラウザーで再生／保存する（ブラウザープレビュー） カメラ 再生 *

* 静止画のみ

静止画を、スマートフォンやタブレット、パソコンなどのWebブラウザーで再生したり保存したりすることができます*。

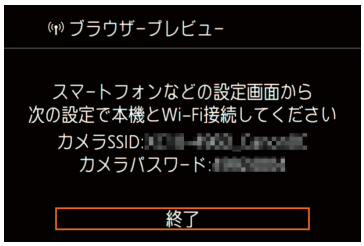
* 動作を確認したOS、ブラウザーなどの詳細情報については、キヤノンのホームページをご覧ください。

1 本機 静止画インデックス画面に切り換える（128）

MENU

2 本機 ブラウザープレビューを選ぶ

① MENUボタンを押す。
② 1 Wi-Fi設定 ➤「ブラウザープレビュー」をタッチする。
- 画面に「カメラSSID」と「カメラパスワード」が表示され、ネットワーク機器からの接続待ち状態になる。



3 ネットワーク機器 Wi-Fiで本機に接続する

① 設定画面でWi-Fiを有効にする。
- 見つかったWi-Fiネットワークが一覧表示される。

② 本機の画面に表示されたSSIDと同じWi-Fiネットワーク名をタッチする。
③ パスワードを入力して接続する。
- 本機の画面に「動作中」が出たら接続完了。
- 2回目からは、③の操作なしで自動的に接続される。

4 ネットワーク機器 Webブラウザーを起動し、URLを入力する

① 本機の画面に表示されているURLを入力する。
- 「Browser Preview」の画面が表示される。
- URLは固定されているため、Webブラウザーでブックマークしておけば、2回目からは入力不要。

ネットワーク

5 ネットワーク機器 静止画を選んで再生する

① 一覧から再生する画像をタッチする。
② 選択した静止画が再生される。
③ ▦をタッチすると、一覧画面に戻る。

ネットワーク機器に保存するとき（iOS機器以外）

①のあと、⬇をタッチする。

6 本機 ブラウザープレビューを終了する

① 「終了」➤ OK をタッチする。
- ブラウザープレビューモードが終了する。

MEMO

- 本機と同時に接続できる機器は1台のみです。

パソコンなどで見る（メディアサーバー）

カメラ 再生 *

* 静止画のみ

本機のメディアサーバー機能を使うと、本機に記録した静止画を、パソコンなどで再生できます。この機能を使用するには、ネットワークに接続されたアクセスポイント（無線親機）と、メディアサーバーの静止画を再生できるソフトウェアが必要です。

1 本機 静止画インデックス画面に切り換える（128）

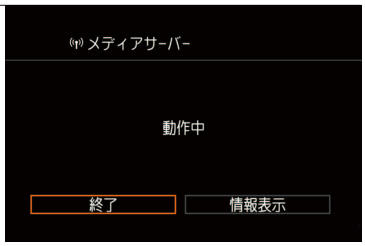
2 本機 メディアサーバーを選ぶ

MENU

① MENUボタンを押す。
② 1 Wi-Fi設定 ➤「メディアサーバー」をタッチする。

3 本機 アクセスポイントに接続する

OK



- アクセスポイントが登録済のときは、自動的に接続する。
- アクセスポイントが未登録のときは、「アクセスポイントを登録します」が出る。

① OKをタッチする。
② 「Wi-Fiで接続する」（149）の手順に沿って、アクセスポイントに接続する。

- 画面に「動作中」が出たら、接続完了。
- 「情報表示」をタッチすると、アクセスポイントのSSID、接続規格、本機のIPアドレス、本機のMACアドレスを確認できる。接続先を変更するときは「接続先変更」をタッチする。本機に記憶されているSSIDから、どれを使うかを変更できる。

4 パソコンなど 本機の静止画を再生する

① パソコンでメディア再生ソフトウェアを起動し、サーバーの一覧から本機の名前「Canon XC15」を選ぶ。
② 表示されるフォルダー内の静止画を選んで再生する。

参考 ▸▸ お使いのソフトウェアの説明書

5 本機 「終了」➤ OKをタッチする。

OK

- メディアサーバーを終了する。

8 メニュー

FUNC. メニュー一覧 168

メニュー一覧..... 171

FUNC. メニュー一覧

カメラ 再生 4K HD

カメラモード時の設定に使用するFUNC.メニューについて説明します。初期設定は太字で記載しています。FUNC.メニューは、撮影モードやカメラモード、メニュー（171）の設定状態などによって表示が異なります。

各撮影モードで使える機能一覧

左FUNC.メニュー

設定項目	撮影モード														
	M	Av	Tv	P	AUTO	SCN									
シーンモード						●	●	●	●	●	●	●	●	●	
ルック	●	●	●	●											
ドライブモード*1	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
測光方式		●	●	●											
フォーカス優先*1	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●		
セルフタイマー	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
手ブレ補正	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
プレREC*2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	

右FUNC.メニュー

設定項目	撮影モード														
	M	Av	Tv	P	AUTO	SCN									
絞り	●	●													
シャッター	●		●												
ISO	●														
ゲイン*3	●														
ホワイトバランス	●	●	●	●											
マイクレベル*3	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
EXPロック		●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●		
AEシフト		●	●	●											
ゼブラ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
ピーキング	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
パワードIS*3	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
デジタルテレコン*3*4	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	
フォーカス*4	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
拡大表示*4	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	

メニュー

設定項目	撮影モード													
	M	Av	Tv	P	AUTO	SCN								
Waveform Monitor*3*4	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

*1 静止画カメラモード時のみ
*2 HD動画撮影のみ
*3 動画カメラモード時のみ
*4 動画カメラモードの初期設定では画面に表示されない。MENU ➤ 2 システム設定 ➤「FUNC.カスタマイズ」で割り当てる（123）。

FUNC. メニューの設定項目

左FUNC. メニュー

設定項目	設定値	
シーンモード	**ポートレート**、スポーツ、夜景、スノー、ビーチ、夕焼け、ローライト、スポットライト、打上げ花火	72
ルック	動画カメラモード時 **1スタンダード**、2Cinema EOS Std.、3ニュートラル、4Production Camera、5Color Matrix Off、6Canon Log、7EOS Std.、8Wide DR、9 高輝度優先、ユーザー設定1、ユーザー設定2 静止画カメラモード時 **Sスタンダード**、Pポートレート、L風景、Nニュートラル、F忠実設定、Mモノクロ、Seセピア、Clクリア、Au紅葉、ユーザー設定1、ユーザー設定2	83
ドライブモード*1	**1枚撮影**、連続撮影、AF連続撮影	56
測光方式	動画カメラモード時 **スタンダード**、スポットライト、バックライト 静止画カメラモード時 **評価**、中央部重点平均、スポット	79
フォーカス優先*1	切、AiAF、**中央固定**	87
セルフタイマー	**切**、2秒、10秒	117
手ブレ補正	動画カメラモード時 切、**スタンダード**、ダイナミック*2 静止画カメラモード時 **入**、切	94
プレREC*2	入、**切**	115

右FUNC.メニュー

設定項目	設定値	🕮
絞り	F2.8 ～ F11	67 69
シャッター	動画カメラモード時 シャッタースピード ：1/2 ～ 1/2000（**1/60**） シャッターアングル ：360.00° ～ 11.25°（**180.00°**） 静止画カメラモード時 0'' 5 ～ 1/2000（**1/125**）	67 70
ISO	ISO160 ～ ISO20000（**ISO160**）	67
ゲイン*3	0.0dB ～ 42.0dB（**0.0dB**）	67
ホワイト バランス	AWB**オート**、太陽光、日陰、くもり、蛍光灯、蛍光灯H、電球、K色温度、 セット1、セット2	80
マイクレベル*3	A**オート**、M マニュアル	107
EXPロック	**オート**／マニュアル　（−3 ～ +3）（動画：1/4 段刻み、静止画：1/3 段刻み）	76
AEシフト	−2 ～ +2　（**±0**）（動画：1/4 段刻み、静止画：1/3 段刻み）	78
ゼブラ	OFF**切**、70 70%、100 100%	95
ピーキング	PEAK 入、PEAK OFF **切**	90
パワードIS*3	入、OFF **切**	94
デジタル テレコン*3*4	20x 入、20x OFF **切**	85
フォーカス*4		89
拡大表示*4	実行	91
Waveform Monitor*3*4	実行	97

*1 静止画カメラモード時のみ。
*2 HD動画撮影のみ。
*3 動画カメラモード時のみ。
*4 動画カメラモードの初期設定では画面に表示されない。2　システム設定 ➤「FUNC.カスタマイズ」で割り当てる（🕮 123）。

メニュー一覧 カメラ 再生

本機のさまざまな機能をメニューによって設定することができます。設定できる機能は表中に●で示しています。ここではメニューの設定項目の詳細について説明します。メニュー設定の基本操作については「FUNC.メニュー／メニューの設定を変える」(🕮 37)をご覧ください。

メニューの設定項目

各メニューで設定できる項目の機能と設定値について説明します。初期設定は太字で記載しています。メニューの項目は、他の機能の設定状態によっては表示されなかったり、使用できなかったりすることがあります。

動画カメラモード時 カメラ 再生

カメラ設定

設定項目	設定値			
フェイスキャッチ＆追尾	**ON 入**、OFF 切	●	●	92
オートスローシャッター	ON 入、**OFF 切**	●		—
NDフィルター	ON 入、**OFF 切**	●	●	—
フリッカー低減	**A オート**、**OFF 切**	●		—
タッチ露出	N **ノーマル**、H ハイライト	●	●	77
オートISOリミット AGCリミット	**A**、ISO、GAIN	●	●	74
ショックレスWB	ON 入、**OFF 切**	●		—
マーカー表示	**OFF 切**、Ew 水平 (白)、Eg 水平 (グレー)、Bw グリッド (白)、Bg グリッド (グレー)	●	●	95
フォーカスリング操作方向	**NORM ノーマル**、REV リバース	●	●	—
フォーカスリング敏感度	ハイ、**ミドル**、ロー	●	●	—
AFスピード	**ハイ**、ミドル、ロー	●		87
ISO / ゲイン	**ISO ISO**、GAIN ゲイン	●		—
ゲインステップ	**NORM ノーマル**、FINE ファイン	●		—
シャッターモード	**Speed スピード**、Angle アングル	●		66
Rolling Shutterひずみ軽減	**ON** 入、**OFF 切**	●		—

オートスローシャッター

明るさが不足する場所（暗めの室内など）で撮影する場合、シャッタースピードを自動的に遅くして、より明るい映像を記録します。

- 1/30秒までのスローシャッターに設定されます。「録画モード」が「29.97P」のときは1/15秒までのスローシャッターに、「23.98P」や「24.00P」のときは1/12 秒までのスローシャッターに設定されます。
- 動きのある被写体を撮るとき、尾を引いたような残像が出る場合は、「切」を選びます。
- 撮影モードが**P**または AUTO のときに設定できます。
- 「EXPロック」が「**M**」のときは設定できません。

NDフィルター

NDフィルター制御の切り換えを設定します。 ON 入にすると、NDフィルターが挿入され、3段分（1/8）の光量となります。

NDフィルターの警告表示について

NDフィルターの警告表示が出たときは、NDフィルターの設定を切り換えてください。
ND（点滅）：露出オーバー。NDフィルターを「入」にする。
ND CLR：（点滅）：露出アンダー（露出不足）。NDフィルターを「切」にする。

フリッカー低減

「オート」にすると、蛍光灯のフリッカーを自動的に検知して補正します。

人工光源の照明下でフリッカーが気になるとき

蛍光灯、水銀灯、ハロゲンライトなどの人工光源の照明下で撮影する場合、設定したシャッタースピードによっては、原理上フリッカーが出ることがあります。フリッカーは、電源の周波数に応じたシャッタースピードを設定すると抑制できることがあります。電源周波数が50Hzのときは1/25秒、1/50秒、1/100秒を、60Hzのときは1/30秒、1/60秒、1/120秒を選んでください。

ショックレスWB

「ON 入」にすると、ホワイトバランスを切り換えたときに値をなめらかに変化させます。

フォーカスリング操作方向

フォーカスリングの操作方向を設定します。

フォーカスリング敏感度

フォーカスリングの敏感度を設定します。

ISO / ゲイン

ISOまたはゲインのどちらかを設定するかを選択します。

ゲインステップ

ゲイン設定時の刻み幅を選びます。

Rolling shutterひずみ軽減

「入」にすると、ローリングシャッターひずみを軽減します。「4K動画」時のみ設定できます。

「入」に設定したとき

- HDMI出力中に、撮影を開始すると、HDMI出力は停止します。
- 静止画同時記録はできません。
- メニューの「フェイスキャッチ＆追尾」、「フリッカー低減」は設定できません。

▶1　再生設定

設定項目	設定値			
MXF データコード表示	OFF 切、日付、時刻、**日付＆時刻**、カメラデータ	●		—
データコード表示	OFF 切、日付、時刻、**日付＆時刻**		●	—
縦横自動回転	ON **入**、OFF 切		●	121

データコード表示

日付や時刻を表示します。「カメラデータ」を設定すると、クリップ再生時に、絞り値やシャッター値を表示します。

記録設定

設定項目	設定値					
4K / HD	4K 4K動画、**HD HD動画**	●				63
4K録画モード	29.97P **29.97P / 305 Mbps**、29.97P 29.97P / 205 Mbps、23.98P 23.98P / 305 Mbps、23.98P 23.98P / 205 Mbps、24.00P 24.00P / 305 Mbps、24.00P 24.00P / 205 Mbps システム周波数の設定によって選択できる値が異なる。	●				63
HD録画モード	59.94P **59.94P / 50 Mbps**、59.94i 59.94i / 35 Mbps、29.97P 29.97P / 35 Mbps、23.98P 23.98P / 35 Mbps	●				63
Slow & Fastモーション	**OFF通常記録**、x1/4、x1/2、x2、x4、x10、x20、x60、x120、x1200	●				113
静止画サイズ	L **4:3 4000x3000**、L 3:2 4000x2664、L 16:9 3840x2160、S 4:3 640x480、		●			55
インターバル記録	OFF **切**、5sec 5秒、10sec 10秒、30sec 30秒、1min 1分、10min 10分		●			116
静止画確認時間	OFF OFF、2sec 2秒、**4sec 4秒**、6sec 6秒、8sec 8秒、10sec 10秒		●			—
ポジション検出	ON **入**、OFF 切		●			120
メモリー残量表示	—	●	●			—
メモリー使用量表示	—			●	●	—
初期化 CFast/SD	CFast カード、SD カード	●	●	●	●	45
タイムコードモード	PRESET **Preset**、REGEN. Regen.	●				98
タイムコードラン	REC RUN **Rec Run**、FREE RUN Free Run	●				98
DF/NDF	DF **DF**、NDF NDF	●				99
タイムコードスタート値	00:00:00.00 ～ 23:59:59.29　リセット	●				98
ユーザービット出力モード	FIXED **固定値**、PULLDOWN プルダウン	●				100
ユーザービットタイプ	SET **設定**、TIME 時刻、DATE 日付	●				100
カメラインデックス	**A** ～ Z	●				53
リール番号	**001** ～ 999　リセット	●				54

設定項目	設定値					
クリップ番号	**001** ～ 999　リセット	●				54
ユーザー定義	A ～ Z、0 ～ 9からなる5文字の文字列（**CANON**）	●				54
カラーバー	**OFF 切**、 SMPTE SMPTE、 EBU EBU、 ARIB ARIB	●				112
1 kHzトーン	-12dB －12 dB、-18dB －18 dB、-20dB －20 dB、 **OFF 切**	●				112
ファイル番号	オートリセット、**通し番号**	●	●	●	●	—

静止画確認時間

静止画を記録した直後に、静止画を確認する時間を設定します。

メモリー残量表示

カードの総容量/残量、動画の記録可能時間*1、静止画の記録可能枚数*1を確認できます。カードのSDスピードクラスも確認できます。

例：メモリー残量表示／ CFastカードを選択した場合を載せています。

*1 現在設定している動画の録画モードや、静止画のサイズなどをもとに算出します。

メモリー使用量表示

動画の記録済み時間、静止画の記録済み枚数などを確認できます。

カメラインデックス

クリップファイル名を構成する「カメラインデックス」を設定する。カメラごとに異なる文字を設定する。

リール番号

クリップファイル名を構成する「リール番号」の初期値を設定する。メモリーカードごとに異なる番号を設定する。

クリップ番号

クリップファイル名を構成する「クリップ番号」の初期値を設定する。

ユーザー定義

クリップファイル名を構成する「ユーザー定義」を設定する。

ファイル番号

静止画のファイル番号の付けかたを選びます。静止画には連続した番号が自動的に付けられ、SDカード内のフォルダーに保存されます。

オートリセット：初期化されたSDカードに記録する場合、常に100-0001から始まる。SDカード内にすでに静止画が記録されているときは、その続きの番号になる。

通し番号：　最後に記録した静止画の続き番号から始まる。ただし、SDカード内に記録されているファイル番号のほうが大きいときは、その続き番号になる。パソコンで管理するときなどに便利。

フォルダー名

フォルダー名の上3桁は100 ～ 999の番号、”_”以下の下4桁は記録した月日を表します。

ファイル名

ファイル名の上4文字は"IMG_"の固定文字列、下4桁は静止画固有の番号（0001 ～ 9999）になります。

ファイル番号

- ファイル番号の上3桁はファイルが格納されているフォルダー名の上3桁（100 ～ 999）、下4桁は静止画固有の番号（0001 ～ 9999）になります。
- ファイル番号は、パソコンで見るときのSDカード内のファイルの場所も表します。6月1日に記録したファイル番号が「100-0007」の静止画は、「DCIM ￥100_0601」というフォルダーの中に「IMG_0007.JPG」というファイル名で表示されます。

- 通常は「通し番号」に設定しておくことをおすすめします。
- 1つのフォルダーには500ファイルまで保存でき、それを超えると自動的にフォルダーが作成されます。「連続撮影」、「AF連続撮影」のときは、500ファイルを超えることがあります。

♪)) オーディオ設定

設定項目	設定値	🎥	📷	🎥	📷	📖
INPUT 1/2	INPUT1/2 **入**、 INPUT OFF 切	●				103
CH2入力	INPUT2 **INPUT 2**、 INPUT1 INPUT 1	●				104
INPUT 1 マイクトリミング	+12dB +12 dB、 +6dB + 6dB、 0dB **0 dB**、 -6dB -6 dB、 -12dB -12 dB	●				106
INPUT 1 マイクアッテネーター	ON 入、 OFF **切**	●				106
INPUT 2 マイクトリミング	+12dB +12 dB、 +6dB + 6dB、 0dB **0 dB**、 -6dB -6 dB、 -12dB -12 dB	●				106
INPUT 2 マイクアッテネーター	ON 入、 OFF **切**	●				106
INPUT 1/2 ALCリンク	LINK 連動、 SEP **独立**	●				105
INPUT 1/2リミッター	ON 入、 OFF **切**	●				105
MICアッテネーター	ON 入、 OFF **切**	●				108
MICローカット	ON 入、 OFF **切**	●				109
内蔵マイクアッテネーター	ON 入、 OFF **切**	●				109
内蔵マイクローカット	LC2 Low Cut 2、 LC1 Low Cut 1、 OFF **切**	●				110

設定項目	設定値					
内蔵マイク感度	NORM **ノーマル**、HIGH ハイ	●				110
モニターチャンネル	CH1/2 **CH1/CH2**、CH1/1 CH1/CH1、CH2/2 CH2/CH2、CH1+2/1+2 CH1+2/CH1+2	●		●	●	144
ヘッドホン音量	🎧 ▬ 🎧、🎧OFF 0 ～ 15(**8**)	●		●	●	133
スピーカー音量	🔊 ▬ 🔊、🔊OFF 0 ～ 15(**8**)			●	●	133
おしらせ音	**大**、小、OFF **切**	●	●	●	●	—

おしらせ音

電源を入れたり、セルフタイマーを使うときなどに音が鳴ります。

- 音を鳴らしたくないときは「切」を選びます。
- プレREC(📖 115)を「入」にしているとき、一部のおしらせ音は鳴りません。

Wi-Fi設定

設定項目	設定値					
ブラウザーリモート	**切**、入	●	●			158
ブラウザープレビュー	—				●	164
メディアサーバー	—				●	166
ブラウザー接続設定	—	●	●	●	●	158
スマートフォン接続設定	—	●	●	●	●	154
アクセスポイント接続設定	—	●	●	●	●	155
MACアドレス表示	—	●	●	●	●	156

システム設定

設定項目	設定値					
言語	**日本語**、ENGLISH	●	●	●	●	—
エリア／サマータイム	エリア：🏠(自宅)、✈(旅行先) ☀サマータイム：ON、**OFF**	●	●	●	●	—
日付／時刻	日付/時刻：— 日時スタイル：**Y.M.D**、M.D.Y、D.M.Y 24H表示：ON、**OFF**	●	●	●	●	36
液晶明るさ調整	☀ ▬ ☀	●	●	●	●	—
液晶バックライト	H 高輝度、M **通常**、L 低輝度	●	●	●	●	—
ビューアシスト	ON **入**、OFF 切	●		●		—
オートパワーオフ	ON 入、OFF **切**	●	●	●	●	—

設定項目	設定値					
アサインボタン1 ～ 3	DISP. 表示切り換え、PUSH AF プッシュ AF、MAGN 拡大表示、ゼブラ、PEAK ピーキング、20x デジタルテレコン、パワードIS、ND NDフィルター、START STOP Start / Stop、PHOTO Photo、WFM Waveform Monitor 初期設定： アサインボタン1　DISP. 表示切り換え アサインボタン2　PUSH AF プッシュ AF アサインボタン3　MAGN 拡大表示	●	●	●	●	124
電子ダイヤル	IRIS**絞り**、SHTR シャッター、ISO GAIN ISO/ゲイン	●	●			65
FUNC. カスタマイズ	IRIS絞り、SHTRシャッター、ISO ISO/GAIN ゲイン、AWB ホワイトバランス、M マイクレベル、EXP ロック、AEシフト、ゼブラ、PEAK ピーキング、パワードIS、20x デジタルテレコン、フォーカス、MAGN 拡大表示、WFM Waveform Monitor	●				123
FUNC. カスタマイズ	IRIS絞り、SHTRシャッター、ISO ISO、AWB ホワイトバランス、EXPロック、AEシフト、ゼブラ、PEAK ピーキング、フォーカス、MAGN 拡大表示		●			123
ファン	A オート、ON **入**	●				61
リモコンセンサー	ON 入、OFF **切**	●	●			47
タリーランプ	ON **入**、OFF 切	●	●	●	●	—
バッテリー情報	—	●	●	●	●	—
HDMIタイムコード	ON 入、OFF **切**	●				—
HDMI記録コマンド	ON 入、OFF **切**	●				—
HDMI出力状態	—	●		●	●	—
距離単位	m **メートル**、ft フィート	●	●			—
メニュー設定保存 SD	保存、読み込み	●	●	●	●	126
システム周波数	59.94 Hz **59.94 Hz**、24.00Hz 24.00 Hz	●		●		63
GPS自動時刻設定	**切**、自動更新	●	●			118
GPS情報表示	—	●	●			118
撮影時タッチ操作	ON **入**、OFF 切	●	●			—
オンスクリーン表示	ON 入、OFF **切**	●				—
認証マーク表示	—	●	●	●	●	—
Firmware	—	●				—
設定初期化	—	●	●	●	●	—

言語

画面に表示される言語を変えます。

エリア/サマータイム

住んでいる地域と旅先の地域をそれぞれ設定して、切り換えて使えます。

- 🏠または✈を選んだあと、◀または▶をタッチして地域を選びます。
- 選んだ地域がサマータイムを導入しているときは☀(サマータイム)をタッチします。

液晶明るさ調整

液晶画面の明るさを調整します。

- ✵または✵をタッチして、調整します。
- 記録される映像や、テレビで再生する映像の明るさは変わりません。

液晶バックライト

画面の明るさを3段階で切り換えます。

- 記録される映像や、テレビで再生する映像の明るさは変わりません。
- 画面を明るくすると、バッテリーの使用時間が短くなります。

オートパワーオフ

バッテリー使用時、約5分間何も操作しないと、節電のために電源が切れます。

- 電源が切れる30秒前に、「❗オートパワーオフ」が表示されます。表示中に何らかの操作をすると解除されます。

タリーランプ

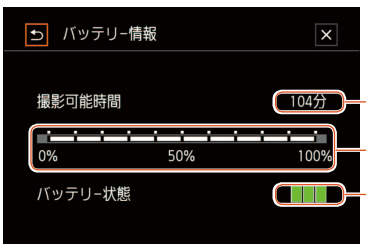
「ON 入」にすると、以下のときにタリーランプが点灯および点滅します。

点灯：動画撮影時

点滅：セルフタイマー(📖 117)のカウントダウン中。残り2秒以下になると高速点滅します。

バッテリー情報

バッテリーの残量(%)と撮影／再生可能時間(分単位まで)を確認できます。



- 撮影／再生可能時間
- バッテリー残量の目安
- バッテリーの劣化状態が3段階で表示されます。
  - (緑)：劣化していません
  - (緑)：少し劣化しています
  - (赤)：バッテリーの買い換えをおすすめします

- バッテリーが消耗していると表示されないことがあります。

HDMIタイムコード

「ON 入」にすると、HDMI信号にタイムコードを重畳します。

HDMI記録コマンド

「ON 入」にして、本機とHDMI記録コマンド対応機器をHDMI端子でつなぐと、本機の撮影／撮影一時停止操作(START/STOPボタンの操作)と連動して、他機の記録／記録一時停止を行うことができます。「HDMIタイムコード」が「OFF 切」のときは設定できません。

HDMI出力状態
現在のHDMI OUT出力端子の出力状態を確認できます。

距離単位
以下のときに表示される単位を選びます。
- マニュアルフォーカス時、ピントを合わせたときの被写体までの距離。
- GP-E2使用時の標高表示

撮影時タッチ操作
撮影時タッチ操作で「OFF 切」を選んだあと「OK」をタッチすると、タッチパネルでの操作が無効となり、タッチパネルでの誤操作を防止できます。タッチパネルでの操作を有効にするときは、ジョイスティックを使って、「ON 入」のあとに「OK」を選んでジョイスティックを押します。

オンスクリーン表示
画面に表示される情報を、本機に接続した画面に表示します。「4K動画」撮影時は表示されません。

認証マーク表示
本機が対応している認証マークの一部を表示します。

Firmware
ビデオカメラの現在のバージョンを確認できます。
- 通常は灰色で表示されます。

設定初期化
すべての設定を解除して、ご購入時の設定に戻します。

9 その他

トラブルシューティング.....181
エラーメッセージ.....188
安全上のご注意.....192
取り扱い上のご注意.....194
日常のお手入れ.....198
アクセサリー紹介.....199
主な仕様.....200
索引.....205
保証書と修理対応.....208
修理について.....209

トラブルシューティング

修理に出す前にこの「トラブルシューティング」で説明する内容をもう一度確認してください。それでも直らないときは、カメラ修理受付センター（209）またはご購入になった販売店にご相談ください。

電源

こんなときは	どうするの？	📖
電源が入らない。 途中で電源が切れる。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ● バッテリーを正しく取り付け直す。	19
バッテリーが充電できない。	● 電源を切ってから充電する。 ● バッテリーの温度が使用温度（約0 ℃ ～ 40 ℃）の範囲外になったため充電を停止した。バッテリーを取り外し、温めるかまたは放置して使用温度の範囲内になってから、充電を行う。 ● 周囲の温度が約0 ℃ ～ 40 ℃のときに充電する。 ● バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。 ● 本機と通信できないバッテリー（キヤノン純正以外）が取り付けられているため、充電できない。 ● キヤノン純正のバッテリーを使用している場合は、ビデオカメラまたはバッテリーの故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。 ● バッテリーパックLP-E6は充電できない。バッテリーパックの底面に記載されている型番を確認して、LP-E6Nを使用する。 型番	19 209
ACアダプターから音がする。	● ACアダプターを使用中に小さな音がすることがある。故障ではない。	—
常温でバッテリーの消耗が極端に早い。	● バッテリーの寿命と考えられる。新しいバッテリーを購入する。	—

撮影中

こんなときは	どうするの？	📖
START/STOPボタンを押しても録画しない。	● 撮影した映像を本機に書き込んでいる間は録画できない。書き込み終了まで待つ。 ● メモリーカードに空き容量がない。または999クリップ記録されている。不要なクリップや静止画を消すか、初期化する。	— 45 138
START/STOPボタンを押した時点と、記録されたクリップの始めと終わりの時点が異なる。	● START/STOPボタンを押してから、録画の開始・終了までに、多少時間がかかることがある。故障ではない。	—

こんなときは	どうするの？	🕮
ピントが合わない。	● 被写体によってはピントが自動で合いにくいことがある。手動でピントを調整する。 ● ファインダーユニットの視度が合っていない。視度調整レバーで画面がはっきり見えるように調整する。 ● レンズが汚れているのでお手入れする。	86 24 198
被写体が横切るとき、被写体がゆがんで見える。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、本機の前を被写体が素早く横切ると、少しゆがんで見えることがある。故障ではない。	—
動画の「●撮影／ ■撮影停止／ ▶再生」の切り換えに時間がかかる。	● クリップ数が多いとこのようになることがある。別のメモリーカードと入れ換えるか、クリップと静止画をバックアップしてカードを初期化する。	41 45 146
動画や静止画を正しく記録できない。	● 記録や消去を繰り返すと、このようになることがある。クリップと静止画をバックアップしてカードを初期化（CFastカードは初期化、SDカードは完全初期化）する。	45 146
長時間使うと熱くなる。	● 長時間使いつづけると熱くなることがあるが、そのまま使用しても問題ない。本機の温度が急激に上昇したり、持てないほど熱くなったときは故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	209

再生中

こんなときは	どうするの？	🕮
クリップの消去に時間がかかる。	● クリップ数が多いとこのようになることがある。クリップと静止画をバックアップしてメモリーカードを初期化する。	45 146
クリップや静止画が消去できない。	● SDカードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、ロックを解除する。 ● 他機でプロテクトされた静止画は、本機では消去できない。	140
クリップまたは静止画を選択できない。	● クリップや静止画は、100個を超えて選択できない。「選択」ではなく、「全クリップ」または「すべての静止画」を使う。	—

表示やランプ

こんなときは	どうするの？	🕮
画面で が赤く点灯する。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。	19
画面に が出る。	● 本機と通信できないバッテリーが取り付けられているため、使用可能時間を表示できない。	—

こんなときは	どうするの？	🕮
タリーランプが点灯しない。	● システム設定 > 「タリーランプ」を「入」にする。	178
CFastや SDが赤く点灯する。	● CFastカードまたはSDカードに空き容量がない。別のメモリーカードと入れ換えるか、不要なクリップや静止画を消す。 ● フォルダー番号やファイル番号が最大になった。クリップと静止画をバックアップしてから、「オートリセット」してSDカードを初期化するか、クリップと静止画をすべて消す。	41 138 175
CFastや SDが赤く点灯する。	● CFastカードまたはSDカードエラー。電源を切り、メモリーカードを出し入れする。それでも赤く点灯しているときは、メモリーカードを初期化する。	—
撮影を中断してもACCESSランプが点滅している。	● 撮影したクリップをメモリーカードに書き込んでいる。故障ではない。	—
充電中にCHGランプが速く点滅する。 (0.5秒に1回の点滅)	● バッテリーの温度が使用温度（約0 ℃ ～ 40 ℃）の範囲外になったため充電を停止した。バッテリーを取り外し、温めるかまたは放置して使用温度の範囲内になってから、充電を行う。 ● 周囲の温度が約0 ℃ ～ 40 ℃のときに充電する。 ● バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。 ● バッテリーパックLP-E6は充電できない。バッテリーパックの底面に記載されている型番を確認して、LP-E6Nを使用する。 型番 ● ACアダプター、バッテリーに異常があるため、充電が中止される。カメラ修理受付センターにご相談ください。	21 209
画面で⇢が点滅し続ける。	● 再生モードでGPSレシーバー GP-E2（別売）を接続した。GP-E2を取り外し、カメラモードで接続する。	118
画面に（黄色）が出る	● 本機内部の温度が高くなり一定の温度に達した。そのまま使用しても問題ない。	–
画面に（赤色）が出る	● 画面に（黄色）が出ている状態から、さらに内部温度が高くなった。そのまま使用しても問題ない。	–

画面や音

こんなときは	どうするの？	🕮
液晶画面が暗い。	● バックライトが低輝度設定になっている。明るくするときは、 システム設定 ➤「液晶バックライト」を選び、「通常」または「高輝度」に設定する。	178
画面がついたり消えたりを繰り返す。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ● バッテリーを正しく取り付け直す。	19
画面に通常出ない文字が出たり、正常に動作しない。	● 電源を取り外し、しばらくしてから取り付ける。	21
画面にノイズが出る。	● プラズマテレビや携帯電話などから離して本機を使用する。	194
画面に横帯が出る。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、撮影時の照明によっては横帯が見えることがある。故障ではない。 カメラ設定 ➤「フリッカー低減」を「オート」にするか、電源の周波数に応じたシャッタースピードを設定すると軽減することがある。電源周波数が50Hzのときは1/25秒、1/50秒、1/100秒を、60Hzのときは1/30秒、1/60秒、1/120秒を設定する。	172
ファインダーユニットの画像がはっきりしない。	● 画像がはっきり見えるように視度調整レバーを動かす。	24
音声が記録されない	● MIC端子に接続している外部音源の電源が入っていないか、または電池が切れている。 ● INPUT端子入力の場合、本体とマイクロホンアダプター MA-400のAUDIO端子をユニットケーブル（付属）で正しく接続する。 ● INPUT端子にファンタム電源が必要な外部マイクを取り付けたときに、INPUT1／INPUT 2端子切り換えスイッチを「MIC＋48V」に切り換えていない。	—
音がひずんだり、実際より小さく記録される。	● 大きな音の近く（打上げ花火やコンサートなど）で撮影すると、このようになることがある。マイクレベルを手動で調整する。	107
映像は出るが、内蔵スピーカーから音が出ない。	● スピーカーの音量が「切」になっているので、音量を調整する。 ● ハイスピードHDMIケーブル（付属）やヘッドホンをはずす。	133

アクセサリー

こんなときは	どうするの？	🕮
メモリーカードが入らない。	● CFastカードはCFastカードスロットに、SDカードはSDカードスロットにそれぞれ正しい向きで入れる。	42 44
CFastカードに4K動画を記録できない。	● 対応しているCFastカードを確認する。 ● はじめて使用するときは、CFastカードを本機で初期化する。 ● CFastカードに空き容量がないか、または記録可能なクリップ数（999個）を超えた。CFastカードの不要なクリップを消すか、別のCFastカードと入れ換える。	41 45 138

こんなときは	どうするの？	📖
SDカードにHD動画／静止画を記録できない。	● はじめて使用するときは、SDカードを本機で完全初期化する。 ● SDカードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、ロックを解除する。 ● SDカードに空き容量がないか、または記録可能なクリップ数（999個）を超えた。SDカードの不要なクリップ/静止画を消すか、別のSDカードと入れ換える。 ● ファイル番号が最大になったため、静止画をSDカードに記録できない。 記録設定 ➤「ファイル番号」を「オートリセット」にして新しいSDカードを入れる。 ● 以下のときは、動画撮影中の静止画同時記録はできません。 ・HDMI接続中。 ・x1/4、x1/2のスロー記録設定中。 ・「ルック」の「高輝度優先」を設定しているとき。 ・「Rolling Shutterひずみ軽減」を「入」にしているとき。 ● 推奨のSDカードかを確認する。	44 45 55 138 175
リモートコントローラー RC-6（別売）が動作しない。	● システム設定 ➤「リモコンセンサー」を「入」にする。 ● リモコンの電池を交換する。	47

他機

こんなときは	どうするの？	📖
テレビの放送画面にノイズが出る。	● テレビの近くで使用するときは、テレビやアンテナケーブルからACアダプターを離す。	—
再生しても、外部モニターに映像が出ない。	● 本機と外部モニターの接続が正しく行われていない。ケーブルの接続を確認する。 ● 外部モニターの設定を、接続した端子に切り換える。	145
ハイスピードHDMIケーブルで接続しているとき、テレビに映像や音が出ない。	● ハイスピードHDMIケーブル（付属）を抜き差しするか、本機の電源を入れ直す。 ● カメラ設定 ➤「Rolling Shutterひずみ軽減」を「入」にして撮影を開始すると、HDMI出力は停止する。	145 172

ネットワーク接続

ネットワーク接続に関するトラブルについては、ここで説明する内容をご確認ください。お使いのネットワーク機器の説明書も合わせてご覧ください。

はじめに確認してください

□ アクセスポイントやパソコンなどのネットワーク機器と本機の電源は入っていますか？
□ ネットワークの設定が完了し、正しく動作していますか？
□ パソコンなどのネットワーク機器は、本機と同じネットワークに正しく接続していますか？
□ 本機をアクセスポイントまたはパソコンなどWi-Fi対応機器から見通しの良い場所に置いていますか？

こんなときは	どうするの？	🕮
アクセスポイントに接続できない。	● Wi-Fi接続をするとき、アクセスポイントでステルス機能を有効にしていると、本機からアクセスポイントを検出できない。「手動設定」で接続するか、アクセスポイントのステルス機能を無効にする。 ● 保存しておいたメニュー設定を本機に読み込むと、暗号化キーとパスワードが解除される。再度、ネットワーク設定を行う。 ● 電波状況が悪いか、周囲の電子機器と電波が干渉している可能性がある。「Wi-Fi接続の注意点とトラブル対処方法」を参考に対応する。	— 148 187
本機にWi-Fi接続できない。	● MENU システム設定メニューの「設定初期化」を行うと、本機のSSIDが初期設定になり、パスワードが変更される。Wi-Fi機器で以前のネットワーク設定を削除したあと、本機に接続する。 ● 電波状況が悪いか、周囲の電子機器と電波が干渉している可能性がある。「Wi-Fi接続の注意点とトラブル対処方法」を参考に対応する。	148 187
ブラウザープレビューが起動できない。	● Wi-Fi設定 ➤「ブラウザープレビュー」でブラウザープレビューを有効にする。 ● ネットワーク機器のWebブラウザーに入力したURLが間違っている。本機の画面に表示されているURLを入力する。 ● カードカバーが開いているか、SDカードが入っていない。静止画が記録されたSDカードを入れ、カバーを閉める。	164
ブラウザーリモートが起動できない。	● Wi-Fi設定 ➤「ブラウザーリモート」でブラウザーリモートを有効にする。 ● ネットワーク機器のWebブラウザーに入力したURLが間違っている。本機の画面に表示されているURLを入力する。 ● 撮影中はブラウザーリモートを起動できない。あらかじめブラウザーリモートを起動してから撮影を行う。	159
ネットワーク機器のWebブラウザーで、ブラウザーリモートまたはブラウザープレビューの画面が正しく表示されない。	● ブラウザーリモート／ブラウザープレビューが対応していないOSやWebブラウザーを使用した。キヤノンのホームページで動作環境を確認する。 ● Webブラウザーの設定で、CookieとJavaScriptが無効になっているときは、有効にする。	— —

Wi-Fi接続の注意点とトラブル対処方法

ここでは、Wi-Fi接続に関する注意点と、トラブル発生時の一般的な対応方法を説明します。Wi-Fiを使用しているときに「通信速度が遅くなる」、「接続が途切れる」などの現象が起きたときには、以下の例を参考に対応してください。

アクセスポイントの設置場所について

- Wi-Fiを室内で使用するときは、本機を使用する部屋に設置してください。
- 本機との間に人や遮蔽物が入らない、見通しの良い場所に設置してください。
- 本機にできるだけ近付けて設置してください。特に、雨天の屋外で使用すると、電波が雨に吸収されて接続が途切れることがあります。

周囲の電子機器について

- 周囲にある電子機器の影響（電波の干渉）で通信速度が遅くなるときは、5 GHz帯の電波を使用するか、チャンネルを変更すると、問題を解消できることがあります。
- IEEE 802.11b/g/nの無線LANでは、電子レンジやコードレス電話機、ワイヤレスマイク、Bluetooth機器などと同じ2.4 GHz帯の電波を使用します。このため、周囲にこれらの機器があると通信速度が遅くなります。
- 本機と同じ周波数帯を使用するアクセスポイントが近くで稼動していると、通信速度が遅くなります。

本機やアクセスポイントを複数台使用するとき

- 同一ネットワーク内の機器のIPアドレスが重複しないようにしてください。
- 同じアクセスポイントにXC15を2台以上接続すると、通信速度が遅くなります。
- IEEE 802.11b/gまたはIEEE 802.11n（2.4 GHz帯）のアクセスポイントを複数台使用するときは、電波干渉を少なくするため、無線LAN のチャンネルの間隔を、「1、6、11」、「2、7、12」、「3、8、13」のように4チャンネル分空けてください。5 GHz帯の電波を使用するIEEE 802.11a/nが使用可能なときは、IEEE 802.11a/nに切り換え、異なるチャンネルを設定してください。

エラーメッセージ

本機の画面にメッセージが出たときは、次のような対処をしてください。ネットワーク機能使用時のメッセージについては190ページをご覧ください。なお、メッセージの冒頭に、「CFast」、「SD」などが表示されることがあります。これは、エラーが発生した記録メディアを表わします。

メッセージ	原因と対処	🕮
カードがありません	● メモリーカードを本機に入れる。 ● カチッと音がするまでメモリーカードを入れ直す。	42 44
カードがいっぱいです	● メモリーカードに空き容量がない。別のメモリーカードと入れ換えるか、不要なクリップや静止画を消す。	42 44 138
カードの誤消去防止ツマミを確認してください	● SDカードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているため、SDカードに書き込めない。誤消去防止ツマミを反対側にする。	44
カードへの書き込みが間に合わないため記録を中止しました	● メモリーカードの書き込み速度が遅いため、記録を中止した。SDカードは、SDスピードクラス10のカードを使用する。 ● 撮影や編集を繰り返しているメモリーカードでは、データの書き込み速度が低下して、記録が停止することがある。本機でメモリーカードを初期化（CFastカードは初期化、SDカードは完全初期化）してから使用する。	41 45
カードを確認してください	● メモリーカードにアクセスできない。メモリーカードが正しく入っているか、メモリーカードに不具合がないか確認する。 ● メモリーカードにエラーがあり、記録や再生ができない。メモリーカードを出し入れするか、別のメモリーカードと入れ換える。 ● マルチメディアカードを入れた。推奨のSDカードを入れる。 ● 「カードを確認してください」が4秒後に消えてCFまたはSDが赤く点灯するときは、電源を切り、カードを出し入れする。CFastまたはSDが緑色に点灯すれば、そのまま記録や再生ができる。それでも赤く点灯しているときは、動画と静止画をバックアップして初期化する。	42 44 — 41 45 138
記録を中止しました	● 管理情報が壊れた*1か、またはエンコーダーにエラーが発生したため、MXFクリップを記録できない。電源を入れなおしてメモリーカードを出し入れするか、別のメモリーカードと入れ換える。それでも解決しないときは、カメラ修理受付センターにご相談ください。	209
クリップ数がいっぱいです	● 記録中のCFastカードまたはSDカードがクリップ数の上限（999個）に達した。別のメモリーカードと入れ換える。	42 43 44
このカードでは動画記録できないことがあります	● SDスピードクラスに対応していないカードまたはClass2/Class4のカードを入れた。Class6またはClass10のカードを使用する。	—
このカードは記録できません	● 256MB未満のSDカードを入れた。256MB以上のSDカードを入れる。 ● 1GB未満のCFastカードを入れた。1GB以上のCFastカードを入れる。 ● 他の機器で初期化されたメモリーカードを入れた。データをバックアップして初期化する。 ● 本機とファームウェアが異なるカメラで初期化されている。このカードに記録するときは、カードに記録されているクリップをバックアップしたあと、本機でこのカードを初期化する。	41
再生できません	● 他機で記録したり、パソコンで作成や加工したりしたクリップは再生できないことがある。 ● メモリーカードに異常があるため、再生できない。頻繁に発生する場合は、カメラ修理受付センターにご相談ください。	— 209

メッセージ	原因と対処	🕮
再生できません カードを確認してください	● メモリーカードに異常があるため、再生できない。 ● SDカードを完全初期化する。それでも解決しない場合は、別のSDカードと入れ換える。	— 45
修復が必要なクリップがあります	● 記録中に停電したなどクリップの情報に不具合があるため、修復を行う必要がある。修復を行うときは、再生インデックス画面で修復を行う。	46
処理が正常に終了しませんでした	● SDカードの完全初期化中にカードカバーを開けた。 ● CFastカードの初期化中、SDカードの初期化／完全初期化中にメモリーカードにエラーが発生した。メモリーカードを再度初期化する。それでも解決しない場合は、別のメモリーカードと入れ換える。	45
処理中です 電源をはずさないでください	● メモリーカードに書き込んでいる。書き込みが終わるまで待つ。	—
静止画像が多すぎます USBケーブルを抜いてください	● SDカードに記録されている静止画が多すぎる。USBケーブルを抜き、カードリーダーなどを使用してパソコンに移動する。または静止画が以下になるように消す（Windows：2500未満。Mac：1000未満）。その後、USBケーブルを接続し直す。 ● OSの設定によってはパソコンのモニターにメッセージが出ることがある。メッセージを閉じてからUSBケーブルを接続し直す。	—
データを修復できませんでした	● クリップを修復できなかった。メモリーカードに記録されているクリップをバックアップしたあと、メモリーカードを初期化する。 ● メモリーカードの空き容量がないと修復できないことがある。不要なクリップを消去する。	46 138
動画／静止画データのバックアップは定期的に行ってください	● 万一の故障やデータ破損に備えて、撮影したデータを定期的にバックアップする。	146
バックライトが低輝度に設定されています メニューの「液晶バックライト」で変更できます	● 明るくするときは、 システム設定 ➤「液晶バックライト」を選び、「通常」または「高輝度」に設定する。	178
バッテリー通信エラー ご使用のバッテリーにCanonロゴはありますか？	● キヤノンの純正以外のバッテリーを取り付けて、電源を入れた。 ● キヤノン純正のバッテリーを使用している場合は、ビデオカメラまたはバッテリーの故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	209
バッテリーパックを充電してください	● バッテリーが消耗している。バッテリーを充電する。	19
ファイル名が作成できません	● フォルダー番号やファイル番号が最大になった。静止画をバックアップしてから、「オートリセット」してカードを初期化するか、静止画をすべて消す。	175
本機で初期化してお使いください	● メモリーカードに異常があるためアクセスできない。メモリーカードを本機で初期化する。 ● 他の機器で初期化されたカードを入れた。データをバックアップして初期化する。	45
59.94 Hz(24.00)で記録されています データの確認と初期化をお勧めします	● メモリーカード内のクリップが異なるシステム周波数で記録されている。このカードに記録するときは、カードに記録されているクリップをバックアップしたあと、カードを初期化する。このカードを再生するときは、本機のシステム周波数を、記録されているクリップと同じにする。	63

*1 破損した管理情報は修復できません。また、管理情報が破損したメモリーカードやクリップを、ソフトウェア（Canon XF Utility）で読み込むことはできません。

Wi-Fi 機能使用時

お使いのアクセスポイント（無線親機）の説明書も合わせてご覧ください。

メッセージ	どうするの？	📖
アクセスポイントが見つかりませんでした	● 本機に記憶されているアクセスポイントが見つからなかった。 ● コードレス電話機、電子レンジ、冷蔵庫などからの電波と干渉することがある。これらの機器から離れた場所で本機を操作する。 ● アクセスポイントのSSID を確認して、同じSSID を本機に設定する。 ● MACアドレスでフィルタリングしているときは、同じMACアドレスをアクセスポイントに登録する。	— 194 151 156
カードカバーがあいています	● メモリーカードにアクセス中にカードカバーが開けられた。ネットワーク機能を中止し、ネットワーク接続を切断する。	—
このインデックス画面ではWi-Fi機能が使用できません	● 動画再生インデックスでWi-Fi機能を開始しようとした。静止画再生インデックスでWi-Fi機能を開始する。	164 166
接続できませんでした	● アクセスポイントなどのネットワーク機器に接続できなかった。 ● コードレス電話機、電子レンジ、冷蔵庫などからの電波と干渉することがある。これらの機器から離れた場所で本機を操作する。	194
設定情報にアクセスできませんでした	● 本機の電源を入れ直す。それでも解決しない場合は、お客様相談センターにご相談ください。	—
設定できません	● ブラウザーリモート動作中にWi-Fi設定を変えようとした。 ブラウザーリモートを「切」にしてから、設定する。	159
複数のアクセスポイントが検出されました もう一度操作してください	● 他のWi-Fi機器がWPS のプッシュボタン方式で接続を行っている。しばらくしてから操作するか、「WPS：PINコード」または「アクセスポイント検索」で接続する。	150 151
無線機能が正しく動作していません	● コードレス電話機、電子レンジ、冷蔵庫などからの電波と干渉することがある。これらの機器から離れた場所で本機を操作する。 ● 本機とアクセスポイントの電源を入れ直して、再度、Wi-Fi 設定を行う。それでも解決しない場合は、お客様相談センターにご相談ください。	194 209
IP アドレスが重複しています	● 本機と同じIPアドレスの機器が、同一ネットワークにあった。同じネットワークに接続している機器とIP アドレスが重複しないよう、本機または他の機器のIP アドレスを変更する。	152
IP アドレスを取得できませんでした	● DHCP サーバーを使用していないときは、Wi-Fi接続を「手動設定」で行い、IP アドレスを「マニュアル」で設定する。 ● DHCP サーバーについて確認する。 ・ 電源が入っていて正常に動作しているか。 ・ 割り当てられるアドレスに余裕はあるか。 ● DNS サーバーを使用していないときは、DNS アドレスを「0.0.0.0」に設定する。 ● 使用するDNS サーバーと同じIP アドレスを本機に設定する。 ● DNS サーバーについて確認する。 ・ 電源が入っていて正常に動作しているか。 ・ IP アドレスと、そのアドレスに対応する名前が正しく設定されているか。 ● ゲートウェイ機能を持つアクセスポイントを使用しているときは、本機を含むすべてのネットワーク機器に、正しいゲートウェイアドレスを設定する。	152 — 152 152 — 154

メッセージ	どうするの？	🕮
Wi-Fi の暗号化キーが違います	● アルファベットの大文字／小文字を確認して、正しい暗号化キー（パスワード）を入力する。	152
Wi-Fiの暗号化方式が違います	● 本機とアクセスポイントは同じ認証／暗号化方式で設定する。 ● MAC アドレスでフィルタリングしているときは、同じMAC アドレスをアクセスポイントに登録する。	152 149
Wi-Fiの接続が切れました	● コードレス電話機、電子レンジ、冷蔵庫などからの電波と干渉することがある。これらの機器から離れた場所で本機を操作する。 ● Wi-Fi 機器にほかからのアクセスが集中している場合など、接続できない状態になっている。しばらくしてから接続する。	194 —
Wi-Fi の認証ができませんでした	● 本機とアクセスポイントは同じ認証／暗号化方式、暗号化キー（パスワード）で設定する。 ● MAC アドレスでフィルタリングしているときは、同じMAC アドレスをアクセスポイントに登録する。	152 149
Wi-Fi の認証方式が違います	● 本機とアクセスポイントの設定を確認する。 ● 本機とアクセスポイントは同じ認証／暗号化方式、暗号化キー（パスワード）で設定する。 ● MAC アドレスでフィルタリングしているときは、同じMAC アドレスをアクセスポイントに登録する。	154 152 149
WPS で接続できませんでした	● 本機と無線親機（アクセスポイント）の電源を入れ直して、設定し直す。それでも解決しないときは、「アクセスポイント検索」で接続する。	151
WPS で接続できませんでした もう一度操作してください	● 無線親機（アクセスポイント）の説明書で指示されている時間、WPS ボタンを押し続ける。 ● 無線親機（アクセスポイント）のWPS ボタンを長押ししてから2分以内に本機の「OK」をタッチする。 ● 無線親機（アクセスポイント）の設定画面でPIN コードを入力してから2分以内に本機の「OK」をタッチする。	— — —
[Wi-Fi機器の画面] A User is already accessing the server. Try again later.　[Retry]	● 複数のWi-Fi機器が本機に接続しようとした。本機に接続するWi-Fi機器を1台だけにして、「Retry」をタッチする。	—

安全上のご注意

お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。

こんなときは

- 煙が出ている
- へんなにおいがする
- 落として壊した
- 内部に水や異物が入った

▶▶

バッテリーを外して、電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると火災や感電の原因になりますので、カメラ修理受付センター（209）にお問い合わせください。

⚠警告 死亡や重傷を負うおそれがある内容です。

禁止

内部に異物を入れたり、端子部に金属類をショートさせない。➤ 火災 感電 けが

雷が鳴っているときには電源プラグに触れない。➤ 感電

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。
➤ 感電

ぬらさない。➤ 火災 感電 やけど
降雨降雪時、海岸、水辺、湿度の高い場所などでの使用は特に気をつける。

液漏れしたバッテリーは使用しない。
➤ 皮膚の損傷 失明 発火
液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す。目に入ったときは、きれいな水で十分洗った後、すぐに医師に相談。

分解や改造をしない。
➤ 発熱 感電 火災 けが

強い衝撃や振動を与えない。
➤ 火災 やけど けが
ストラップ使用時は特に注意する。液晶画面やレンズは割れるとけがの原因。

禁止

電源コードについて次のことを守る。
➤ 火災 感電
- 傷つけない
- 加工しない
- 無理に曲げない
- 引っ張らない
- 熱器具に近付けない
- 加熱しない
- 重いものを載せない

バッテリーやボタン型リチウム電池を熱しない、火中投入しない。➤ やけど けが

バッテリー端子部に金属のキーホルダーやヘアピンなどを接触させない。
➤ やけど けが
ショートして、高熱や液漏れのおそれあり。

充電中、長時間にわたる接触をしない。
➤ 低温やけど

海外旅行者用の電子式変圧器や、航空機・船舶・DC/ACコンバーターなどの電源につながない。表示された電源電圧や周波数以外では使用しない。➤ 火災 感電 けが

油煙・ほこり・砂などの多い場所や、風呂場など湿度の高い場所で使用・保管しない。
➤ 火災 感電 やけど
内部にほこりや水などが入るおそれあり。

禁止

直射日光下、ストーブ・照明器具のそばなど60℃以上になる高温の場所や、炎天下の密閉された車中に置かない。
➤ 火災 やけど けが
発熱や破裂のおそれあり。

運転中に使用しない。➤ 交通事故

不安定な場所に置かない。➤ けが
落下、転倒のおそれあり。

乳幼児の手の届くところに置かない。
➤ 感電 けが

ふとんやクッションなどをかけたまま使用しない。➤ 火災
内部に熱がこもるおそれあり。

病院などの医療機関内、および医療用電気機器の近くで使用しない。➤ 事故
電波の影響で機器類が誤動作し、事故の原因となるおそれあり。

ファインダーユニットで強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）を見ない。
➤ 失明

強制

指定された機器を使う。➤ 火災 感電 けが

電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。➤ 火災

電源プラグは根元まで確実に差し込む。
➤ 火災 感電

コンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜く。➤ 火災 感電

使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。➤ 火災

撮影しているときは、周囲の状況に注意する。➤ けが 交通事故

⚠ 注意　傷害、物的損害を負うおそれがある内容です。

禁止

ボタン型リチウム電池を金属ピンセットなどでつかまない。➤ やけど
発熱の恐れあり。

使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は使用しない。➤ 事故
電波の影響で機器類が誤動作し、事故の原因となることがある。

強制

コード類は、つまずかないように配置する。➤ けが
足を引っ掛けて転倒したり、製品が落下するおそれあり。

強制

バッテリー、ストラップなどは脱落しないように確実に取り付ける。➤ けが

バッテリーを取り外すときは、落とさないように気をつける。➤ けが

心臓ペースメーカーを装着している場合は、装着部位より22cm程度以上離して使用する。
電波により機器類の動作に影響をあたえるおそれあり。

取り扱い上のご注意

ここでは本機やバッテリーとメモリーカードなどを取り扱うときに注意していただきたいことを説明しています。

ビデオカメラ本体

ホコリなどの多い場所で使わない

ホコリ・砂・水・泥・塩分の多い場所で使用・保管しないでください。本機は防水・防じん構造になっていませんので、これらが内部に入ると故障の原因となります。レンズにホコリや砂が付くのを防ぐため、使用後は、ホコリなどの少ない場所でレンズフードを外してレンズキャップを取り付けてください。また、水滴が付いたときは乾いたきれいな布で、潮風にあたったときは固くしぼったきれいな布で、よくふき取ってください。万一、本機が水に濡れてしまったときは、早めにカメラ修理受付センター（209）にご相談ください。

強い磁気の発生する場所では使わない

磁石、モーターの近くや電波塔の近くなど、強い磁気や電波が発生する場所での使用は避けてください。映像や音声が乱れたり、ノイズが入ったりすることがあります。

強い光源にレンズやファインダーユニットを向けない

ビデオカメラやファインダーユニットを強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）に向けないでください。撮像素子などの内部の部品が損傷する恐れがあります。特に三脚を使用しているときやストラップを使って持ち運ぶときは、本体またはファインダーユニットの角度を変えて直射日光などが入らないようにしてください。本機を使用しないときは、レンズフードを外してレンズキャップを取り付けてください。ファインダーユニットを使用しないときはファインダーユニットカバーを取り付けてください。

液晶画面を...

つかんでもちあげない → 液晶画面の接合部が破損することがあります。
無理に閉じない → 正しい位置に戻してから閉じないと破損することがあります。

Wi-Fi機能について

電波に関するご注意

- 本製品のうち、外国為替、および外国貿易法の規定により、戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

電波干渉に関するご注意

- 航空機内で使用する場合は、乗務員の指示に従ってください。

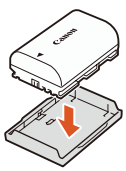
■ バッテリー

端子はいつもきれいに

バッテリーと本体端子（充電器の端子）の間に異物が入り込まないようにしてください。接触不良、ショート、破損の原因となります。

保管するときは保護カバーを使う

バッテリーを持ち運ぶときや保管するときは、必ず保護カバーを取り付けてください（図A）。金属などでショートすると高熱や液漏れ、破損の原因となります（図B）。


（図A）

（図B）

正しく残量表示されないときは

バッテリーをフル充電してください。ただしバッテリーを高温下で長時間使ったり、フル充電後に放置したりすると、正しく表示されないことがあります。使用回数が多いバッテリーも正しく表示されないことがあります。なお、表示は目安としてご使用ください。

使用時間を長くするコツ

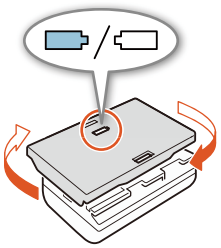
こまめに電源を切り、10℃～30℃のところで使用すると、長く使えます。スキー場などでバッテリーが冷たくなると、一時的に使用時間が短くなりますので、ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。

長い間保管するとき

- バッテリーの消耗を防ぐため本体から取り外し、乾燥した30℃以下のところで保管してください。
- バッテリーの劣化を防ぐため、画面に「バッテリーパックを充電してください」が表示されるまで使い切ってから、保管してください。
- 1年に1回程度、充電完了まで充電してから使い切ってください。

充電済みバッテリーパックの見分けかた

充電済みのバッテリーに付属の保護カバーを取り付けるときは、バッテリーの青いシールに保護カバーの窓▭が重なるようにします。使用済みのバッテリーのときは、180度回して取り付けます。これを利用して保護カバーを取り付ければ、充電済みバッテリーを見分けることができます。



海外で充電するときは

海外でも付属のACアダプター（AC100 ～ 240 V 50/60 Hzまでの電源に対応）を使ってそのまま充電できます。お使いになる国のコンセント形状にあった変換プラグを使用してください。

- ACアダプターを変圧器に接続しないでください。故障するおそれがあります。

■ メモリーカード

データはバックアップする

ビデオカメラ本体／メモリーカードの故障や静電気などによるデータの損傷・消失に備えて、データはパソコンなどにバックアップしてください。なお、データ損傷および消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

端子に触れない

汚れが付着し、接触不良の原因となります。

磁気に注意する

強い磁気が発生する場所で使わないでください。

高温・多湿の場所に放置しない

シールを貼らない

メモリーカード表面にシールなどを貼ると、シールが差し込み口につまるおそれがあります。

ていねいに扱う

落とす、ぬらす、強い衝撃を与えるなどしないでください。分解は絶対にしないでください。

■ 充電式内蔵電池

本機には充電式のリチウム電池が内蔵されており、日付などの設定を保持しています。この電池は本機を使用中、自動的に充電されますが、約3か月間使わないと完全に放電してしまいます。このときは次のようにして充電してください。

充電のしかた（所要時間：24時間）

① 電源を切る
② ACアダプターを使って、本機をコンセントにつなぐ

その他のご注意

情報漏洩に注意（譲渡・廃棄するときは）

メモリーカードに記録されたデータは、消去や初期化をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、完全には消えません。譲渡･廃棄するときは、データを復元できないように、一度メモリーカードの完全初期化／初期化（📖 45）を行った後、本機にレンズキャップを取り付けて最後まで撮影し、再度完全初期化／初期化を行います。これによって、情報漏洩を防いでください。

結露について

室温が高いとき、冷水の入ったコップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。本機が結露した場合、そのままの状態で使うと故障の原因になりますので注意してください。なお、次のような条件のときに結露が発生しやすくなります。

- 寒い所から急に暖かい所に移動したとき
- 湿度の高い部屋の中
- 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき

結露したらどうする？

周囲の環境によって多少異なりますが、水滴が消えるまで約2時間程度放置してください。

温度差のある場所へ移動するときは

バッテリーを取り外し、メモリーカードを取り出して、本機をビニール袋に空気がはいらないように入れて密閉します。移動先の温度になじんだら袋から取り出します。

ボタン型リチウム電池（CR2032）

ボタン型リチウム電池はリモコンに使用されます。捨てるときは、燃えないゴミとして処理してください（地域によって異なりますので指示に従ってください）。

日常のお手入れ

大切なビデオカメラをより長くお使いいただくために、日常のお手入れには十分注意してください。

ビデオカメラ本体を清掃する

お手入れ

製品の汚れは乾いたやわらかい布で軽くふいてください。化学ぞうきんやシンナーなどの使用は、製品を傷めることがあるのでおやめください。

レンズはいつもきれいに

レンズにホコリや汚れが付いていると、オートフォーカスがうまく動作しないことがあります。レンズは常にきれいに保つようにしてください。レンズにホコリや汚れがついたときは、最初にブロアーで表面のゴミ、ホコリを取り除き、それから汚れをふき取るようにしてください。

液晶画面ついて

- 汚れたときは市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭いてください。
- 温度差の激しいところでは、液晶画面に水滴がつくことがあります。柔らかい乾いた布で拭いてください。

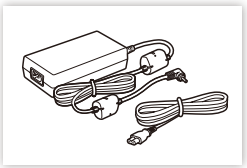
ファインダーユニットについて

ほこりが付いたときは市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭いてください。

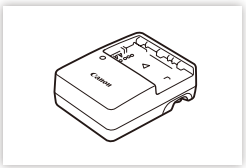
アクセサリー紹介

アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。
このカメラでキヤノン純正以外のバッテリーをお使いになると、「バッテリー通信エラー」のメッセージが表示され、所定の操作が必要となります。なお、純正以外のバッテリーに起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。

バッテリーパック
LP-E6N



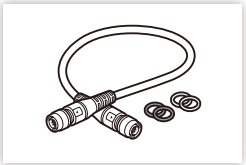
ACアダプター
CA-946



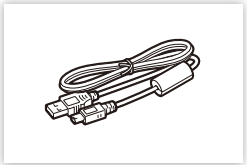
バッテリーチャージャー
LC-E6

GPSレシーバー
GP-E2

マイクロホンアダプター
MA-400

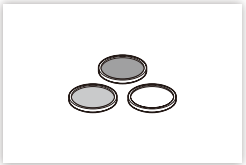


ユニットケーブル
UN-5



USBケーブル（インターフェースケーブル）
IFC-400PCU

リモートコントローラー
RC-6



PROTECTフィルター 58mm、
ND4Lフィルター 58mm、
ND8L フィルター 58mm

このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。

その他

主な仕様

XC15本体

システム		
記録方式	動画：	映像圧縮方法：MPEG-4 AVC/H.264 音声記録方式：リニアPCM、16 bit、48kHz、2ch ファイルフォーマット：MXF
	静止画：	DCF準拠、Exif Ver2.3準拠、静止画圧縮方法：JPEG
記録／再生信号形式	4K動画：	3840×2160：305 Mbps (29.97P / 23.98P / 24.00P)、205 Mbps (29.97P / 23.98P / 24.00P)
	HD動画：	1920×1080：50 Mbps (59.94P)、35 Mbps (59.94i / 29.97P / 23.98P / 24.00P)
記録メディア	4K動画：	CFastカード
	HD動画／静止画：	SD / SDHC / SDXCメモリーカード* * 設定データの保存／読み込みにも使用。
記録時間（連続記録時の目安）	4K動画：	
	64 GB	CFastカード（305 Mbps、205 Mbps）：約25分、約40分
	128 GB	CFastカード（305 Mbps、205 Mbps）：約55分、約80分
	HD動画：	
	16 GB	SDカード（50 Mbps、35 Mbps）：約40分、約60分
	32 GB	SDカード（50 Mbps、35 Mbps）：約80分、約120分
撮像素子	1.0型CMOSセンサー、有効画素　動画：約829 万画素（3840×2160）/ 静止画：約1200万画素（4000×3000）、約1066 万画素（4000 x 2664）、約 829 万画素（3840 x 2160）	
液晶画面	3.0 型、約103 万ドット、視野率100%、静電容量方式タッチパネル	
レンズ	F=2.8 - 5.6　光学10倍ズーム　8枚羽根虹彩絞り 35mmフィルム換算時の焦点距離 動画：27.3 - 273 mm、静止画（4：3）：24.1 - 241 mm	
レンズ構成	12 群14 枚、非球面3 面2 枚使用	
フィルター径	58 mm	
最短撮影距離	レンズ前面より50 cm（ワイド端時は8 cm）	
フォーカス（焦点調整）	調整方法：マニュアルフォーカス、オートフォーカス AF方式：　TTL自動焦点（TTL方式）	
手ブレ補正	光学式+電子補正（スタンダードIS、ダイナミックIS、パワードIS）	
被写体照度	最低被写体照度：約 0.05 ルクス 被写体照度範囲：約0.05 ～ 10万ルクス （マニュアル露出：ゲイン42dB、シャッタースピード1/2秒）	
NDフィルター	内蔵	
アイリス	オート、マニュアル	
ISO感度/ゲイン	ISO160 – 20000、ゲイン0.0dB – 42.0dB（オートISO リミット/AGC リミット機能あり）	
露出	オート、マニュアル、その他	
ホワイトバランス	オート、太陽光、日陰、くもり、蛍光灯、蛍光灯H、電球、色温度、 セット1 ／セット2（白取り込み）	
マイク	ステレオエレクトレットコンデンサーマイク	

システム		
Wi-Fi	無線LAN規格：	IEEE802.11b / g / n（2.4 GHz帯） IEEE802.11a / n（5 GHz帯）
	接続方法：	WPS（プッシュボタン方式、PINコード方式）、アクセスポイント検索、手動設定、カメラアクセスポイント
	認証方式：	オープン、WPA-PSK、WPA2-PSK
	暗号化方式：	WEP-64、WEP-128、TKIP、AES
静止画サイズ	4000×3000、4000×2664、3840×2160、640×480、 4K撮影中：3840×2160、HD撮影中：1920×1080（動画カメラモード時のみ） 動画から静止画を切り取ったとき 4Kクリップ再生時（4K フレームキャプチャー）：　3840 × 2160 HDクリップ再生時（あとからフォト）：　1920 × 1080 1/4スロー記録クリップ再生時：　1280 × 720	

入・出力端子	
HDMI OUT端子	HDMIミニコネクター、出力のみ。1080 / 59.94P、2160 / 29.97P出力可能。
MIC（マイク）端子	φ3.5mmステレオミニジャック、 −65 dBV（マニュアルボリュームセンター、フルスケール−12 dB）／ 5 kΩ以上 Att.：20 dB
∩（ヘッドホン）端子	φ3.5 mmステレオミニジャック −29 dBV（16Ω 負荷時、ボリューム最大にて）／ 100Ω
USB端子	mini-B、Hi-Speed USB（ 出力のみ）
AUDIO端子	マイクロホンアダプター MA-400の接続専用。入力のみ。

電源その他	
電源電圧	公称 DC 7.2 V（バッテリーパック）、DC 8.4 V（DC IN）
消費電力	4K録画モード　29.97P / 305 Mbps : 6.2 W HD録画モード　59.94P / 50 Mbps : 5.7 W いずれも液晶画面の明るさ標準
動作温度	0 ℃ ～ +40 ℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	本体：約 128 × 106 × 122 mm 約 131 × 115 × 238 mm（ファインダーユニット、レンズフード含む） 約 132 × 221 × 238 mm（ファインダーユニット、レンズフード、マイクロホンアダプター MA-400含み、ユニットケーブル UN-5含まず）
撮影時総重量	約1590 g（レンズフード、マイクロホンアダプター MA-400、ファインダーユニット、ケーブルクランプ、ユニットケーブル UN-5、バッテリーパック LP-E6N、SDカード、CFastカード含む）
本体質量	約955 g

付属ユニット

マイクロホンアダプター MA-400	
INPUT 1端子／ INPUT 2端子	XLR（バランス）（シールド、ホット、コールド）、2系統
感度（MIC時） 感度（LINE時）	−60 dBu* ／ 600 Ω ＋4 dBu* ／ 10 kΩ * マニュアルボリュームセンター、フルスケール−18 dB
AUDIO端子	カメラ本体との接続専用。出力のみ。
使用温度	0 ℃～＋40 ℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約128 × 117 × 115 mm
質量	約340 g

付属品

ACアダプター CA-946	
定格入力	AC 100 V – 240 V (50/60 Hz)、65VA（100V）～ 85VA（240V）
定格出力	公称DC8.4V、3.7A
使用温度	0℃～ +40℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約73×40×139 mm
質量	約465 g

バッテリーパック LP-E6N	
使用電池	充電式リチウムイオン電池
使用温度	0 ℃ ～ +40 ℃
公称電圧	DC 7.2 V
公称容量	1865 mAh
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約38.4×21.0×56.8 mm
質量	約80g（保護カバーを除く）

■ 静止画の記録可能枚数の目安

撮影条件や被写体により、記録できる静止画の枚数は異なります。

静止画カメラモード時の静止画記録

静止画サイズ	記録可能枚数	
	16 GB	32 GB
L 4：3 4000×3000	2150枚	4300枚
L 3：2 4000×2664	2450枚	4900枚
L 16：9 3840×2160	3150枚	6300枚
S 4：3 640×480	75000枚	150000枚

動画カメラモード時の静止画記録

静止画サイズ	記録可能枚数	
	16 GB	32 GB
3840×2160	3150枚	6300枚
1920×1080	12000枚	24000枚

4Kフレームキャプチャー／あとからフォト

静止画サイズ	記録可能枚数	
	16 GB	32 GB
3840×2160	3150枚	6300枚
1920×1080	12000枚	24000枚
1280×720	25000枚	50000枚

■ バッテリーの充電時間／使用時間の目安

充電時間の目安

バッテリーの充電時間の目安
付属のバッテリーパックLP-E6Nの充電時間の目安は次のとおりです。
充電時間は周囲の温度や充電状態によって異なります。

	ACアダプター CA-946	バッテリーチャージャー LC-E6
充電時間	約4時間	約2時間30分

* 周囲の温度や充電状態によって異なります。

使用時間の目安

付属のバッテリー LP-E6Nをフル充電したときの使用時間の目安は、次のとおりです。

	録画モード	連続撮影時間	実撮影時間	再生時間
4K	29.97P / 305 Mbps	約1時間50分	約1時間10分	約2時間30分
	29.97P / 205 Mbps	約1時間50分	約1時間10分	約2時間35分
	23.98P / 305 Mbps	約1時間55分	約1時間15分	約2時間40分
	23.98P / 205 Mbps	約2時間	約1時間15分	約2時間45分
	24.00P / 305 Mbps	約1時間55分	約1時間15分	約2時間40分
	24.00P / 205 Mbps	約2時間	約1時間15分	約2時間45分
HD	59.94P / 50 Mbps	約2時間	約1時間15分	約3時間5分
	59.94i / 35 Mbps	約2時間5分	約1時間20分	約3時間5分
	29.97P / 35 Mbps	約2時間15分	約1時間25分	約3時間10分
	23.98P / 35 Mbps	約2時間15分	約1時間25分	約3時間10分
	24.00P / 35 Mbps	約2時間15分	約1時間25分	約3時間10分

* 実撮影時間とは撮影、撮影一時停止、電源の入／切などの操作を繰り返したときの撮影時間です。
* 液晶画面を明るくしていると、バッテリー使用時間が少し短くなることがあります。
* 低温下で使用すると、使用時間が短くなります。

MEMO

バッテリーパックは予定撮影時間の2 ～ 3倍分を用意

ビデオカメラの消費電力は、撮影のしかたによって変化します。そのため、バッテリーパックの実際の使用時間は、表記の時間より短くなることがあります。撮影時には、予定撮影時間の2 ～ 3倍のバッテリーパックを用意することをおすすめします。

索引

ア

アクセサリー……199
アサインボタン……124
あとからフォト……135
インターバル記録……116
エラーメッセージ……188
オートISOリミット……74
オートフォーカス……86
音声を記録する……101
音声をモニターする……111

カ

解像度……63
回転グリップ……29
カウントアップ方式……98
拡大表示……91
画面表示……58、131
カラーバー……112
吸気口……61
記録信号形式……63
記録メディア
：使用可能なメモリーカード……41
：初期化する……45
：CFastカードを入れる……42
：CFastカードを取り出す……43
：SDカードを入れる／出す……44
クリップ
：消去する……138
グリップ……29
ゲイン……74
結露……197

サ

撮影
：動画や静止画を撮影する……50
撮影モード……65
三脚に取り付ける……30
シーンモード……72
絞り優先AE……69
シャッター優先AE……70
修理対応……208
修理について……209
出力信号形式……142
ジョイスティック……35
仕様……200
ショルダーストラップ……30
ズーム
：ズームリングで操作する……85
スピーカー……133
スロー＆ファストモーション記録……113
接続
：外部モニターを接続する……145
：パソコンに保存する……146
：ヘッドホンでモニターする……111
設定データ……126
ゼブラパターン……96
セルフタイマー……117
測光方式……79

タ

タイムコード……98
タッチ露出……77
縦横自動回転……121
タリーランプ……51
デジタルテレコン……85
テストトーン……112
手ブレ補正……94
ドロップフレーム……99

ナ

内蔵マイクアッテネーター……109
ノンドロップフレーム……99

ハ

排気口……61
バッテリー
：充電時間／使用時間……203
パワードIS……94
ピーキング……90
日付・時刻……36
ビットレート……63
ファイル番号……175

ファインダーユニット ・・・

商標について

- SD、SDHC、SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- キヤノンは、様々な国/地域で登録されている CFast 2.0™ 商標の公認ライセンシーです。
- Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Apple、Mac OS、Final Cut Pro、App Storeは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
- iOSは、米国およびその他の国におけるCisco社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Avid、Media Composer、米国および／またはその他の国におけるAvid Technology, Inc.またはその子会社の商標または登録商標です。
- Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。Wi-Fi CERTIFIED、WPA、WPA2とWi-Fi CERTIFIEDロゴは、Wi-Fi Allianceの商標です。
- 本書で使用している「WPS」は、Wi-Fi Protected Setupを意味します。
- JavaScriptは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- DCFロゴマークは、(社)電子情報技術産業協会 (JEITA)の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、キヤノンはこれら商標を使用する許可を受けています。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

MPEG-4使用許諾について

This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and noncommercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.

XC15は、DCFに準拠しています。DCFは、(社)電子情報技術産業協会 (JEITA)で主として、デジタルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

本機器は、Microsoftからライセンスされたexfat技術を搭載しています。

保証書と修理対応

本機の保証は日本国内を対象としています。万一、海外で故障した場合の現地での修理対応はご容赦ください。

保証書

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保管してください。

修理対応

製品の保証について

- 使用説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間中に本製品が万一故障した場合は、保証書を製品に添付のうえ当該保証期間内に弊社修理受付窓口までご持参あるいはお送りいただければ、無料で修理いたします。この場合の交通費、送料および諸掛かりはお客様のご負担となります。修理受付窓口については、カメラ修理受付センター（209）にお問い合わせいただくか、弊社ホームページでご確認ください。
- 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容をご覧ください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。
- 保証期間経過後の修理は有料となります。
- 本製品の故障または本製品の使用によって生じた直接、間接の損害および付随的損害（録画再生に要した諸費用および録画再生による得べかりし利益の喪失、記録されたデータが正常に保存・読み出しができないことによって発生した損害等）については、弊社ではその責任を負いかねますのでご了承願います。

修理を依頼されるときは

故障内容を明確にご指示ください。また、修理品を送付される場合は十分な梱包でお送りください。

修理対応期間について

ビデオカメラの修理対応期間は、製造打ち切り後8年です。なお、弊社の判断により保守サービスとして同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。その場合、旧製品でご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応OSが変更になることがあります。

修理料金について

- 故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。
- 窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。

修理について

■ 修理に出すまえに

- 不具合症状の再現・確認のために、記録メディアをお預かりすることがあります。その場合、修理の前に必ずデータをバックアップしてください。なお、修理によってデータが消去された場合の補償についてはご容赦ください。
- 修理の際、必要最小限の範囲で記録メディア内のデータを確認させていただくことがあります。ただし、データを弊社が複製・保存することはありません。

■ 修理のお問い合わせは

カメラ修理受付センター

050-555-99077（全国共通）

9:00～18:00（1月1日～1月3日を除く）

電話番号はよくご確認の上、おかけ間違いのないようにお願いいたします。

上記電話番号をご利用になれない場合は、
043-211-9316をご利用ください。

- 購入年月日、型名「XC15」、故障内容を明確にお伝えください。不具合内容を確認の上、修理方法をご案内いたします。
- 修理を承る窓口をご案内いたします。
- 修理品の引き渡し方法（宅配便発送／弊社によるお引き取り）やお届けについてご案内いたします。
- ご自宅にいながら修理申込みができる「らくらく修理便（引取修理サービス）」をご利用いただけます。キヤノンサポートページの「修理のお問い合わせ·お申込み」→「キヤノン製品を、快適に、安心してお使いいただくために。」→「らくらく修理便」をご覧ください。

使用方法に関するご相談窓口は

キヤノンお客様相談センター

050-555-90004（全国共通）

平日 9:00～17:00

※土・日・祝日と年末年始、弊社休業日は休ませていただきます。

※上記番号をご利用になれない方は043-211-9790をご利用ください。

※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってつながらないことがあります。

キヤノン業務用デジタルビデオカメラ ホームページ

キヤノンデジタルビデオカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されておりますので、インターネットをご利用の方はぜひお立ち寄りください。

デジタルビデオカメラ製品情報
canon.jp/prodv

キヤノン サポートページ
canon.jp/support

■保証書は製品の箱に添付されています

保証書は必ず「購入店・購入日」等の記入を確かめて、購入店よりお受け取りください。

■本書の記載内容は2017年2月現在のものです

製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。ご了承ください。最新の使用説明書については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

PUB. DIJ-0455-000C

© CANON INC. 2017